Panasonic

VL-V571L
VL-MWD700KL
VL-WD608

取扱説明書

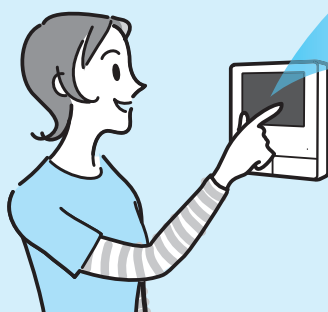
ワイヤレスモニター付
テレビドアホン 電源コード式

品番 VL-SWD700KL（ブイエル エスダブリューディー ケイエル）

（VL-V571L
VL-MWD700KL
VL-WD608 のセット）

はじめに、必ず お読みください

ドアホン親機編

ドアホン親機にタッチパネルを搭載

VL-MWD700KL
（本体表示：VL-MWD700）

黒画面をタッチするとトップメニューが表示され、録画の再生や機能設定などができます。（タッチパネルについては ☞ 18ページ）

確認と準備
通話／モニター
録画／再生
くらしモード
電話/ファクスとの連携
他機器との連携
こんなとき
お好み設定
必要なとき
困ったとき

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（8、9ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事説明書別添付　保証書別添付

こんなことができます

カメラ玄関子機
（本書の表記：**ドアホン**）

付属のドアホンはLEDライト付きで、夜など暗いときも来客をカラーで映します。また、広角レンズにより、広範囲の映像を撮影できます。（画角について☞ 113ページ）

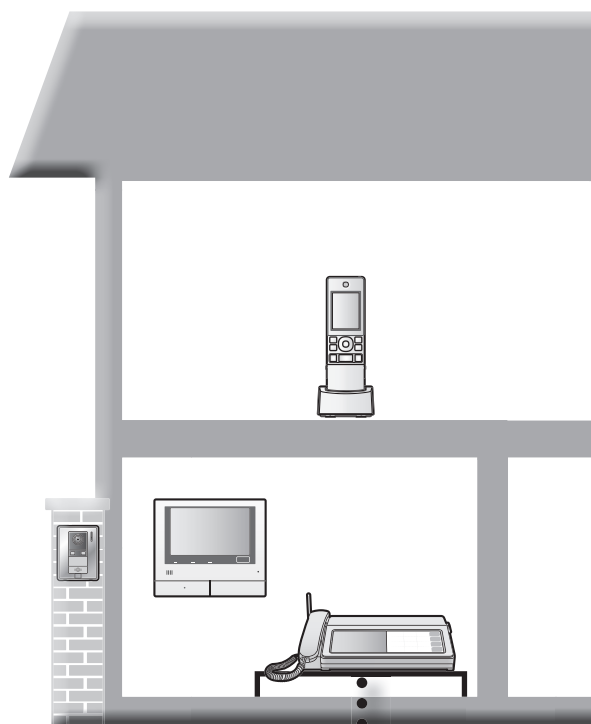
増設もできます 付属と合わせて **3 台まで**
（別売品☞ 114ページ）

モニター親機
（本書の表記：**ドアホン親機**）

画面は指でタッチして操作するタッチパネルです。
ドアホンの映像表示中は、画面にタッチしてズームやパン・チルトができます。（☞ 29ページ）

ワイヤレスモニター子機
（本書の表記：**子機**）

付属の子機はドアホン/電話両用です。
パナソニック製の電話/ファクス（☞ 4ページ）に子機登録すると、電話ができるようになります。（☞ 46ページ）

付属と合わせて **6 台まで**
（別売品☞ 114ページ）

◆さらに便利に…

電話/ファクスと連携する※
（☞ 45ページ）

付属の子機（☞ 左記）を登録して電話として使ったり、電話/ファクスでドアホン通話ができます。

● 対応機種は
（☞ 4ページ）

1 台のみ

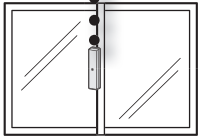
※電話/ファクスの代わりに、インターホンを接続することもできます。（☞ 4ページ）

こんな機器にもつながります（対応機種は☞ 4、5ページ）

■ 警報器（火災・地震）やコール機器

警報器の反応や、コール機器からの呼び出しにドアホン親機や子機を連動させることができます。（☞ 80ページ）

■ 電気錠やエアコンなど

ドアホン親機や子機で、電気錠やエアコンなどの操作ができます。（☞ 78ページ）

窓センサーと連携する（☞ 68ページ）

ドアホン親機や子機で、窓の開閉状態を確認したり、窓が開いてセンサーが反応したときにドアホン親機や子機にお知らせします。

● 対応機種は（☞ 4ページ）

20台まで

カメラ（センサーカメラ）と連携する（☞ 50ページ）

ドアホン親機や子機で、カメラの映像を見たり、録画ができます。

● 対応機種は（☞ 4ページ）

4台まで

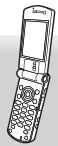
テレビ（ビエラ）やレコーダー（ディーガ）と連携する（☞ 63ページ）

ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画できます。

● 対応機種は（☞ 4ページ）

テレビ	レコーダー
2台まで	1台のみ

「みえますねっとLite」サービス（有料）で

携帯電話と連携する（☞ 74ページ）

来客時に自動録画されたドアホン画像（静止画）が専用サーバーに転送されるので、携帯電話からその画像を見ることができます。

● 対応機種は（☞ 4ページ）

● ドアホン親機をインターネットに接続する必要があります。

1契約で4台まで

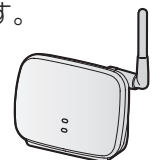
■光るチャイムやメロディサインなど

来客時に光や音でお知らせします。
（☞ 81ページ）

光るチャイム

ピンポン

■中継アンテナ「KX-FKD1」

子機の設置場所が離れていたり、障害物などで電波が届きにくいときに設置すると、電波状態を改善できます。
（☞ 102ページ）

連携できる機器一覧

記載した情報は2012年2月現在のものです。最新情報は、パナソニックサポートウェブサイト（http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/）を参照してください。

● 下表のうち、携帯電話以外の機器はすべてパナソニック製品です。

機器名	品番など
電話/ファクス 電話/ファクスの代わりに	〈ワイヤレスアダプター機能（内蔵）対応機種〉 電話機　：VE-GD21、VE-GD51、VE-GDS01 シリーズ ファクス：KX-PD301、KX-PD701 シリーズ ● 連携方法などは（☞ 45ページ） **網掛け部の機種は、パナソニック製のドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」にも接続できます。** **インターホンも接続できます。** VL-A467LAK、VL-A467LAX、VL-A468LA、VL-F411X-W ● 接続時は、「拡張機器」の設定を「インターホン」にしてください。（☞ 96ページ）
窓センサー	1個用：KX-FSD10 2個用：KX-FSD10W ● 連携方法などは（☞ 68ページ）
カメラ（センサーカメラ）	屋内用：VL-CM210 屋外用：VL-CM240、VL-CM260（ライト付き） ● 連携方法などは（☞ 50ページ）
テレビ/レコーダー（ビエラ/ディーガ） ● 連携方法などは（☞ 63ページ）	デジタルハイビジョンテレビ VT2/VT3/DT3/GT3/ST3/RT2B/V1/V2/D2/G1/G2/G3/S2/S3/R1/R2/R3/R2B/RB3/X1/X2/X3/X5/Z1/C1/C2/C10/C21/F1/PZR900/PZ800/PZ85/PZ80/PX80/LZ85/LZ80/LX80/LX8/PZ750SK シリーズ • **ポータブルタイプ**：DMP-BV300/DMP-HV200/DMP-HV150 ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダー BZT9000/BZT920/BZT820/BZT720/BZT910/BZT810/BZT710/BZT900/BZT800/BZT700/BZT600/BWT3100/BWT2100/BWT1100/BWT3000/BWT2000/BWT1000/BWT620/BWT520/BWT510/BWT500/BW890/BW690/BW880/BW780/BW680/BW970/BW870/BW770/BW950/BW850/BW750/BW930/BW830/BW730/BW900/BW800/BW700/XW320/XW120/XW300/XW100/XW200V **網掛け部の機種はカメラと接続（連携）できません。カメラも、テレビ/レコーダーと連携させるときは、網掛け部以外の機種をご使用ください。**
携帯電話 「みえますねっとLite」サービス利用	NTTドコモ、au（KDDI）、SoftBank 製の携帯（各社スマートフォンを除く）で、ウェブブラウザを搭載し、JPEGに対応している機種 ● 連携方法などは（☞ 74ページ）

■火災警報器/地震警報器/コール機器〈いずれか1種類のみ〉

●連携方法などは(☞ 80ページ)

機器名			品番など
火災警報器	単独型 住宅用 火災警報器※1 (移報接点付き)	パナソニック(株)製	けむり当番:SH28413、SH28453K、SH38453 ねつ当番　:SH28113、SH28153K、SH38153
		能美防災(株)製	煙検知式　:FSKJ219-S 熱検知式　:FSLJ009-S
	移報接点 アダプタ※2	パナソニック(株)製	連動型用　　　　　:SH2890 ワイヤレス連動型用:SH3290
地震警報器 (緊急地震速報受信装置 デジタルなまず)		(株)3Soft ジャパン製	SH200-J
コール機器 (コール用押釦)		パナソニック(株)製	WS65771、WS65311

※1 単独型の火災警報器は並列接続できます。(**15台まで**)

※2 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタです。

ドアホン親機 ― 移報接点アダプタ ― 連動型の火災警報器(**14台まで**)

接続できる機種は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください。

■電気錠やエアコンなど(JEM-A対応機器※3)

●連携方法などは(☞ 78ページ)

機器名		品番など
JEM-Aアダプタ※4	パナソニック(株)製	CZ-TA2
電気錠操作器		WQN4503W

※3 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

※4 電気錠やエアコンなどの接続に必要なアダプタです。(**接続は2台まで**)

■光るチャイム/メロディサイン/回転灯〈いずれか1台のみ〉

●連携方法などは(☞ 81ページ)

機器名		品番など
光るチャイム	パナソニック(株)製	EC170(P)
メロディサイン※5		乾電池式　　:EC5227W(P)、EC5117WKP、EC5347 AC100 V式:EC710K、EC721K、EC730W
回転灯	(株)パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110

※5 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。
(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

もくじ

確認と準備

通話／モニター

録画／再生

録画／再生

くらしモード

電話/ファクスとの連携

他機器との連携

他機器との連携

こんなとき

お好み設定

必要なとき

困ったとき

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる　など）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理は販売店にご相談ください。

■ケーブルを引っ張ったり、ぶらさがったり、コネクター部に無理な力を加えない

禁止

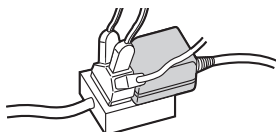
機器の破損、または落下によるけがの原因になります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になります。

⚠警告

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ 機器内部に金属物を入れない

禁止

火災・感電の原因になります。

●金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電・けがの原因になります。

●ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ 電源コードに水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電・けがの原因になります。

●ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■ 医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ 雷が鳴ったらドアホン親機・電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■ SD カードは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

■ 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■ スピーカーに耳を近づけて使用しない

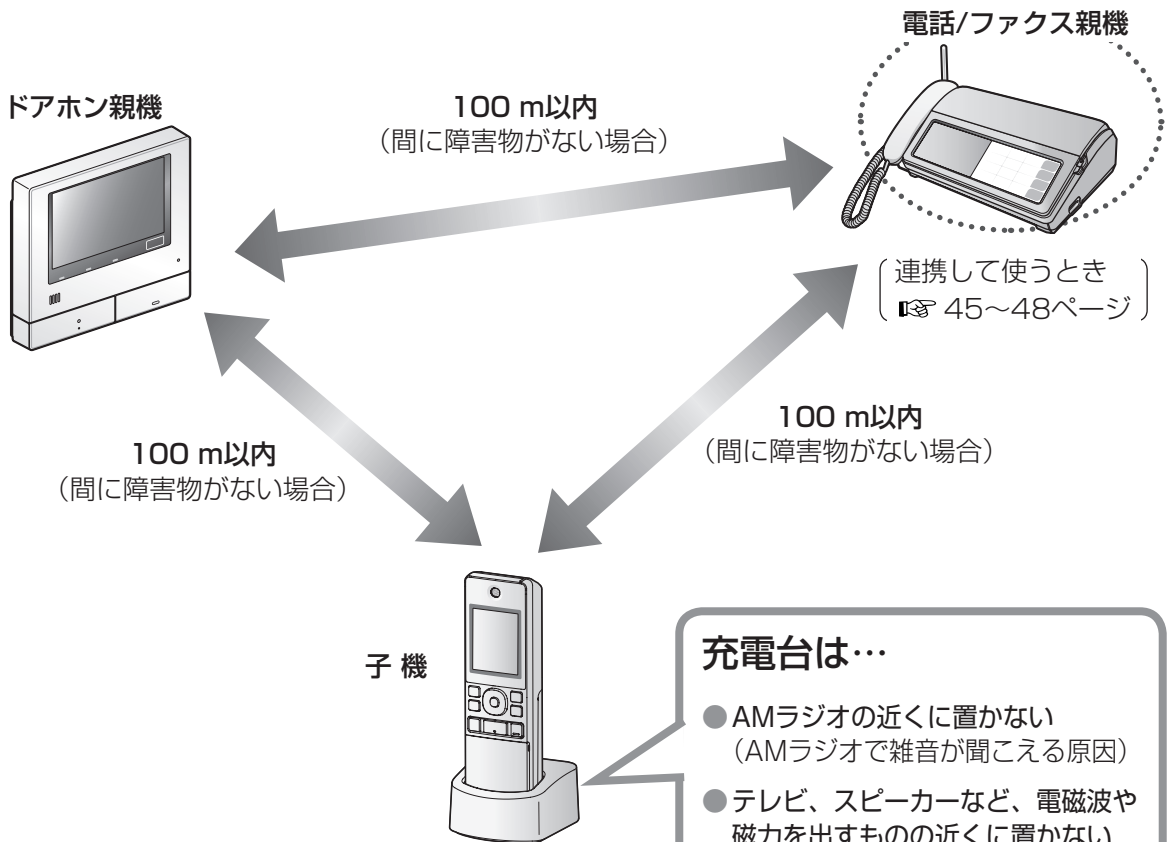
禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

使用上のお願い

こんなところには設置しない（ドアホン親機・子機）

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、工事説明書をよくお読みください

- 火気・熱器具の近く（変形や故障の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- 直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）

充電台は…

- AMラジオの近くに置かない（AMラジオで雑音が聞こえる原因）
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かない（充電できないことがあります）

〈子機での通話について〉

- デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な通話は親機で！

電源プラグは、各機器の設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機間の通信について

- 距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり※1、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。

• 金属製のドアや雨戸	• 複層ガラスの窓
• アルミはく入りの断熱材が入った壁	• 壁を何枚もへだてたところ
• コンクリートやトタン製の壁	• 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

- 上記のような場合、子機とドアホン親機(または電話/ファクス親機)の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。(☞ 102、114ページ)
  ただし、**ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**※1

中継アンテナ

※1 **親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。**親機同士をワイヤレスアダプター機能で接続している場合は、ドアホン親機の情報表示画面で電波状態を確認できます。(☞ 86、87ページ Ⓓ)

電波について

- **本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です**
  本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。
  (一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9ーD

- **本機は、Digital Enhanced Cordless Telecommunications に準拠した日本国内向けの通信方式です**

Digital Enhanced Cordless Telecommunications
次世代デジタルコードレス通信方式

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
  本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
  1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(☞ 134ページ、裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
  2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(☞ 134ページ、裏表紙)へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

- ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
  ※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

使用上のお願い（つづき）

個人情報について

本機には、右記のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- **ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）やSDカード**
  ➔ 来客映像などの録画・録音データ
- **ドアホン/電話両用子機（付属品/別売品）の本体メモリー**
  ➔ お客様自身で登録した電話番号や氏名など、電話帳データ

免責事項

● 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

● ドアホン親機の録画データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から必ず取り出して保管ください。また、子機の電話帳データはメモを取るなどして保管ください。

● データの保管後、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「設定の初期化」をしてください。※1
（初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

> 初期化をせずに修理依頼された場合でも、修理の際、本体メモリー（記録情報や設定内容）がお買い上げの状態に戻る場合があります。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

● ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出してください。
- SDカードも廃棄・譲渡するときは（☞ 21ページ）

● ドアホン親機や子機でそれぞれ、「設定の初期化」をしてください。※1
（初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）

※1 ドアホン親機の場合 ➔ 99ページ「設定の初期化」で「設定の初期化＋本体メモリー画像消去」を行う
子機の場合 ➔ 「子機編」70ページ「設定の初期化」を行う

「ソフトウェアの更新通知」（☞ 99ページ）機能について

本機をインターネットに接続して使う場合に利用できる機能です。
この機能を使うと、ドアホン親機のソフトウェアの更新が必要かどうかを定期的にチェックし、更新が必要なときに、お知らせ画面で通知することができます。

〈お知らせ画面〉

● このお知らせが出たときは、画面表示に従ってソフトウェアを更新してください。
（更新時間は、接続環境によって異なりますが、約10分以上かかることがあります）

● この機能を使う場合、ソフトウェアの更新が必要かどうかを確認するため、ソフトウェアを管理している専用サーバーに対して、ドアホン親機のMACアドレスとバージョン情報を定期的に送信します。
更新通知が不要な方は、「ソフトウェアの更新通知」の設定を「しない」にしてください。

セキュリティに関するお願い

LANケーブル(市販品)を使って、本機を他機器(カメラ・テレビ・レコーダー)と接続したり、本機をインターネットに接続して「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用するときは下記の注意が必要です。

- **イーサネット上で送受信される映像などのデータは、暗号化されていません。※1 本機をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。**
  - 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい(ドアホン映像データなどの通信内容)
  - 悪意の第三者による本機の不正操作
  - 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- **本機をインターネットに接続してご使用になる場合は、十分なセキュリティ対策を行ってください。※2 セキュリティ対策は下記のとおりです。**
  - ルーターの取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定(ファイアウォール設定など)を行う
  - 無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行う
- **セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。**
- **以下のような場合は、本機を初期化してください。(☞ 99ページ)**
  - 当社が関与できない外部業者に、修理を依頼されるとき
  - 他人に譲渡するとき
  - 本機を廃棄するとき

※1 「みえますねっとLite」サービスのような家の外へ送信するデータについては暗号化されています。

※2 セキュリティに関する設定を行わずに使用した場合に生じる問題を、十分理解されたうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、ルーターや無線LAN製品を使用されることをお勧めします。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
  (故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 停電すると本機は使えません。
- 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

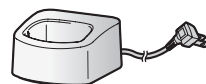
付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

〈ドアホン用〉※1
□ 壁掛け用木ねじ・小ねじ 各2個

〈ドアホン親機用〉※1
□ 壁掛け金具 1個
□ 壁掛け用木ねじ・小ねじ 各2個

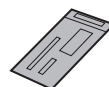
〈子機用〉
□ 充電台 1台
□ 電池パック※2 .... 1個
□ 充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー 各2個

※1 ドアホンとドアホン親機の付属品は設置時に使用します。詳しくは、工事説明書をお読みください。
※2 お買い上げ時、子機本体には電池パックが入っていません。充電する前に入れてください。（☞「子機編」17ページ）

添付品

取扱説明書
☑ ドアホン親機編（本書） 1冊
□ 子機編 1冊

□ 工事説明書 1部
□ 簡単ガイド 1部
□ みえますねっとLiteガイド 1部

□ QRコードシール※3 .... 1枚
（ドアホン親機の表面にはり付け）

□ 保証書 1式

※3 「みえますねっとLite」サービス（有料）の登録時に使用します。（☞ 75ページ）
ドアホン親機からはがして、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

● 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

各部のなまえとはたらき ドアホン

レンズカバー

LEDライト（照明用）

- 「ドアホン照明自動点灯」設定（☞ 95ページ）により自動で点灯させたり、通話中などドアホン親機や子機から手動でON/OFFすることもできる（☞ 28ページ、「子機編」19ページ）

パネル

呼出ボタン

- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の**「ただいまコール」**がはたらく

マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴（4か所）

- 雨水を抜くための穴です ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

①呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます

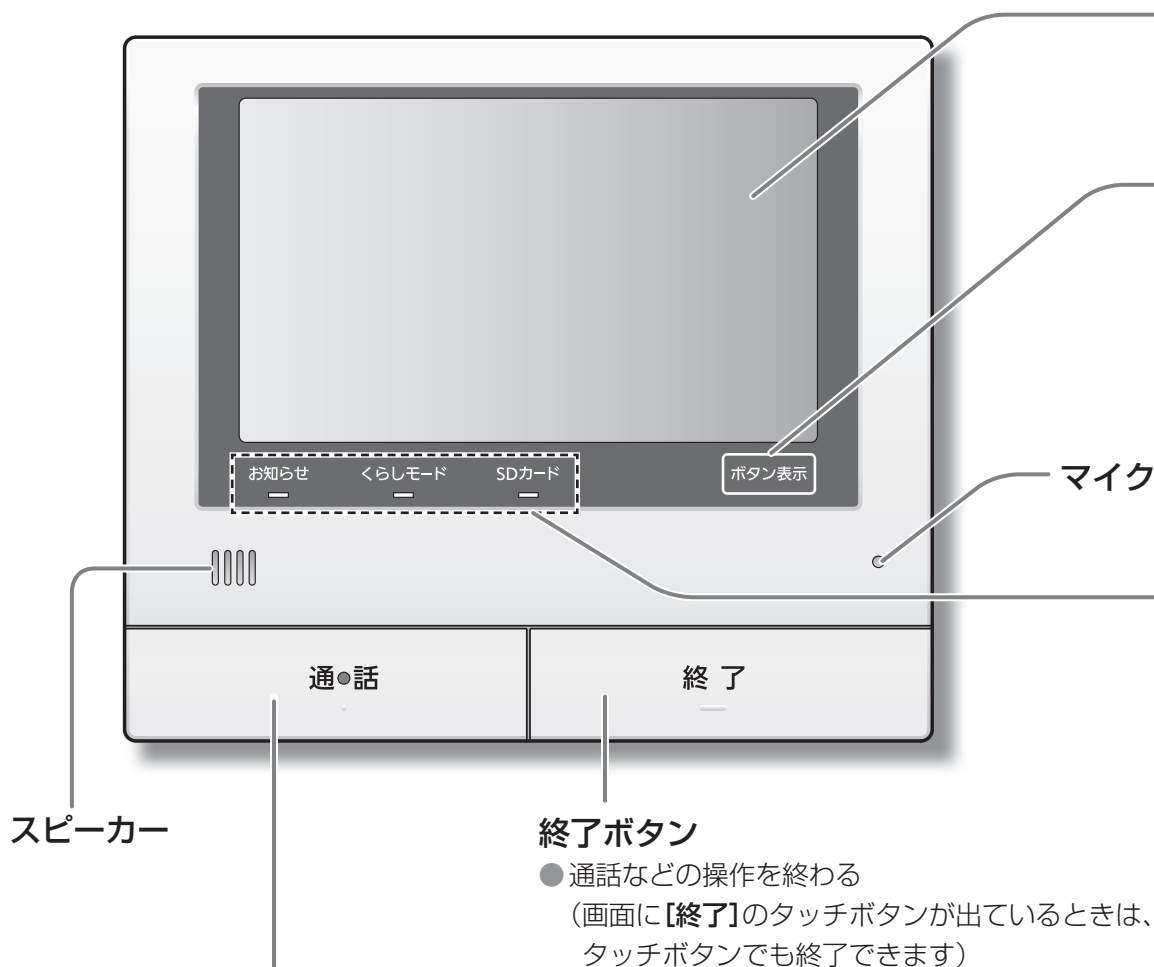
②終わったら、**指を離す**

お知らせ

- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 88ページ）に連動します。（「切」設定中は、音量「小」で聞こえます）

ドアホンの画質について

- 太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
- 夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
  - 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
  - LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近（ドアホンの真横など）はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。（補助灯などの設置をお勧めします）

各部のなまえとはたらき ドアホン親機

終了ボタン

● 通話などの操作を終わる
（画面に[**終了**]のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも終了できます）

通話ボタン

● 来客や子機と通話する
（画面に[**通話**]のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも通話できます）

通話ランプ（青：ボタン中央部）

● ドアホンや子機からの着信中（通話応答できる間）は点滅、通話中は点灯する

液晶ディスプレイ（タッチパネル）

●タッチすると、トップメニューを表示する

●使いかたや画面の見かたは（☞ 18ページ）

●映像に重なって表示されるタッチボタンやマークを消す（☞ 19ページ）

お知らせ

お知らせランプ（青）

●新しく録画した未確認画像（☞ 34ページ）や、確認してほしいお知らせがあるとき（☞ 86ページ）に点滅する

•ランプの点滅は、画面にタッチしてトップメニューを表示すると消灯します。

くらしモード

くらしモードランプ（青/赤）

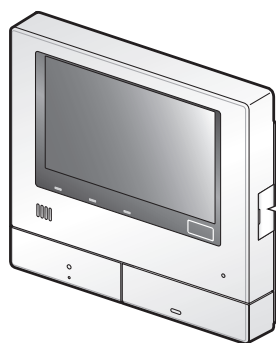
●くらしモード（☞ 41ページ）を利用するとき、現在の設定状態をランプでお知らせする

• 在宅：消灯
• 夜間：青点灯
• 外出：赤点灯

SDカード

SDカードランプ（青）

●SDカードをご使用の場合に、データの読み出し中や書き込み中に点滅する（☞ 21ページ）

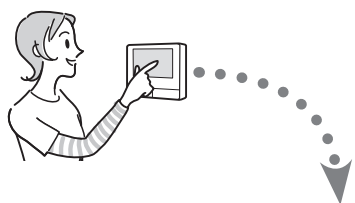
■ **ふたを開けると・・・**

SDカード挿入口

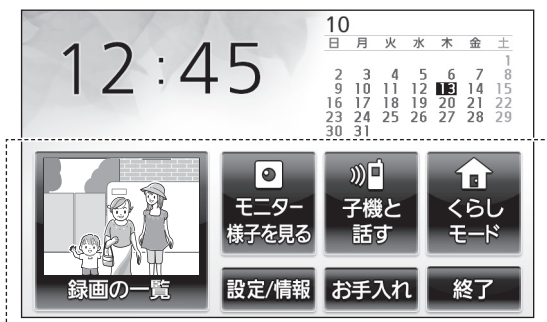
●SDカードをご使用の場合に、カードを出し入れする（☞ 22ページ）

リセットスイッチ

●動作がおかしいとき、先端の細いもので押してドアホン親機を再起動する（録画した画像、登録した設定内容などは消えません）

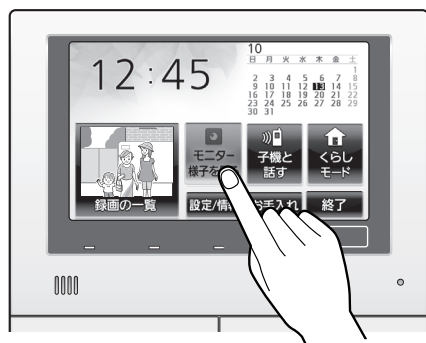
タッチパネルの使いかたと画面の見かた

指で直接タッチして操作します。

■トップメニュー

日時設定後、黒画面をタッチして表示される画面

■映像表示画面

（例：着信中）

タッチボタン（画面上は紺色で表示されます）

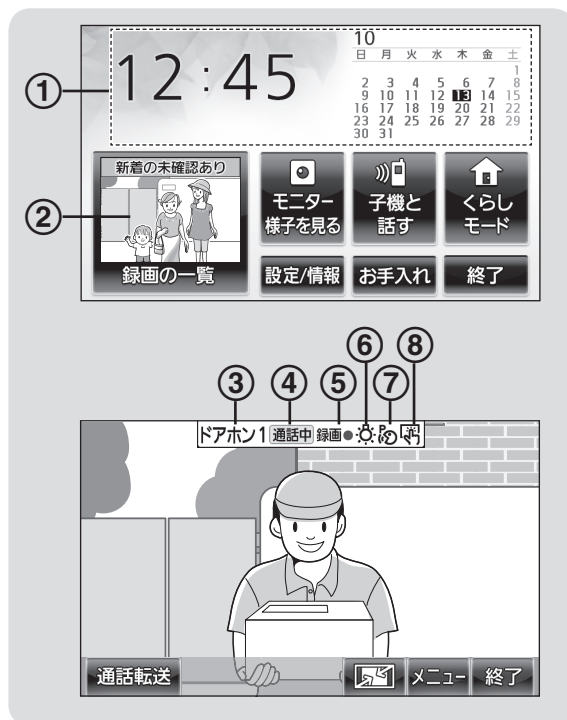
操作できるボタンのみが表示され※1、場面に応じてボタン名が変わります。
操作するときは、下図のように画面にタッチする（軽く押す）

● 「ピッ」とタッチ確認音※2が鳴り、タッチしたボタンがオレンジ色に変わります。

※1 場面によっては、使えないボタンをグレーで表示します。
※2 「タッチ確認音」の設定（☞ 98ページ）で消すこともできます。

お願い

● 液晶ディスプレイは傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
● ボールペンなど先端の硬いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。
● 液晶ディスプレイを強く押さえないでください。
● 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。（タッチパネルが正常に動作しない場合があります）
● 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、液晶ディスプレイの内側がくもったり露（水滴）が生じて、正しく動作しないことがあります。無理にご使用にならず本機を1〜2時間放置してからご使用ください。

画面の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

① 日時の設定(☞ 23ページ)に応じて、現在の日時とカレンダーを表示する

● 右記の表示が出たとき、**[確認する]**をタッチすると詳細を表示します。(☞ 86ページ Ⓐ)

② 新しく録画された未確認画像があると 新着の未確認あり を表示する

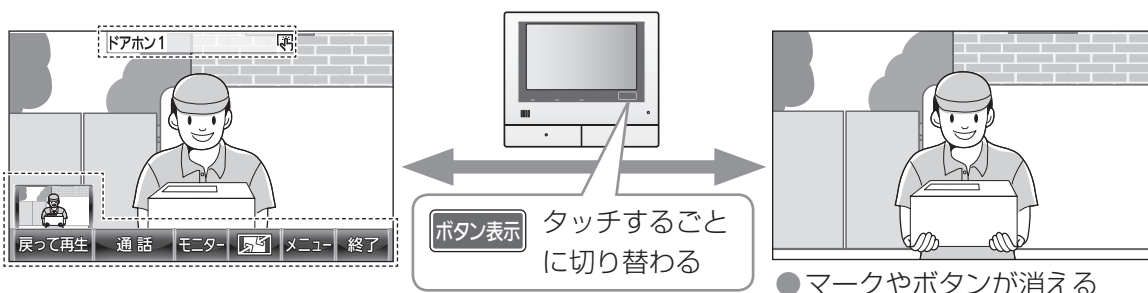
● 画像をタッチすると、録画一覧画面を表示する(☞ 36ページ)

③ 着信中・通話中・モニター中の機器名を表示する

- ドアホン1～3
- カメラ1～4(カメラとの連携時のみ)

④ 通話中	ドアホン通話中に表示する
モニター中	モニター中に表示する(☞ 31、53 ページ)
⑤ 録画●	映像を録画中に表示する
⑥ (照明アイコン)	ドアホンの照明が ON のときに表示する(☞ 28 ページ)
⑦ (プレストークアイコン)	プレストーク通話中に表示する(☞ 27 ページ)
⑧ (タッチアイコン)	映像にタッチして画面の操作ができるときに表示する(例) ● ワイドからズームへの切り替え/ズーム位置の切り替え(☞ 29ページ)

映像に重なるマークやボタンを消したいとき

着信中や通話中などの映像表示中に、画面下の**[ボタン表示]**をタッチしてください。

● マークやボタンが消える

SDカードについて

本機は、本体メモリーまたはSDカードに、ドアホンやカメラの映像を録画できます。録画できる内容や件数などは記録先（本体メモリー/SDカード）によって異なります。（☞ 下表、33ページ）

- **本機にはSDカードは付属されていません。（使えるSDカードは ☞ 下記）**
- **SDカードを挿入すると、記録先は自動的にSDカードになります。（記録先は選べません）**

着信時の自動録画	SDカードがないとき（お買い上げ時）	SDカードを使うと…	
ドアホンの場合	録画1件につき **8枚の静止画を本体メモリーに記録**	録画1件につき **最大約30秒の動画をSDカードに記録**	**録画・録音の詳細は（☞ 33ページ）**
カメラの場合	**録画できません**		

- SDカードを使うと、設定により、ドアホン通話の録音もできます。（最大約120秒）

■ **本体メモリーに記録した画像は、必要に応じてSDカードにコピーできます。**（☞ 108ページ）
■ **SDカードに記録した画像は、パソコンで再生することもできます。**
（対応のOSなどは☞ 109ページ、フォルダー構造とファイル形式は☞ 110ページ）

本機で使えるSDカード

本機はSD規格に準拠した下記の種類のSDメモリーカードに対応しています。
（本書では、これらのSDメモリーカードを総称して「SDカード」と記載しています）

2 GB　：SDメモリーカード/miniSDメモリーカード/microSDメモリーカード
4 GB ～ 32 GB：SDHCメモリーカード/miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカード
48 GB、64 GB：SDXCメモリーカード

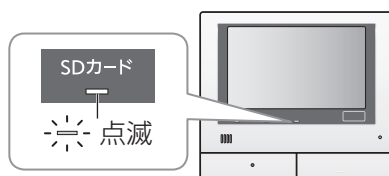
- **動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/technic/sd.html
- **ご使用の際は、パナソニック製品をお買い求めいただくことをお勧めします。**
  （カメラ映像も録画する場合は、4 GB以上のSDカードをお勧めします）

- SDカードの容量と録画件数の目安については（☞ 33ページ）
- miniSDメモリーカード/microSDメモリーカード/miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカードを本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してください。
- SDカードの種類によっては読み出しや書き込みに時間がかかることがあります。
- マルチメディアカードは使用できません。

SDカードをお使いになるとき

SDカードの入れかたや取り出しかたは(☞ 22ページ)

■ データの読み出し中や書き込み中は

ドアホン親機のSDカードランプが点滅します。
点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(☞ 17ページ)を押したりしないでください。
(データが破壊されることがあります)

大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ SDカードの取り扱いについて

- 電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などにより、SDカード内のデータが壊れたり、消失することがあります。
- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしないと使えません。大切なデータはパソコンなどに保存したあとフォーマットしてください。(☞ 107ページ)

■ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にすると、SDカードへの録画・録音、これらの保護、消去、フォーマット、データの更新ができなくなります。書き込み禁止スイッチを元に戻すと可能になります。

書き込み禁止スイッチ

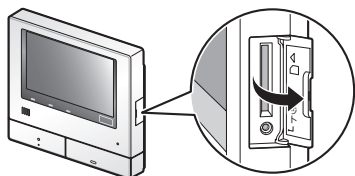
SDカードを廃棄・譲渡するとき

SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

SDカードについて（つづき）

SDカードを入れる／取り出す

SDカードは、画面が消灯している状態で挿入してください。

1 SDカード挿入口のふたを開ける

2 SDカードをまっすぐ押し込み、ふたを閉める

● SDカードランプが点滅し、録画情報の確認が始まる

SDカードを取り出さないでください。
録画情報を確認しています。
時間がかかる場合があります。

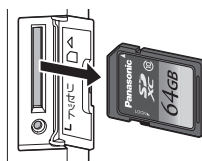
50%

3 録画情報の確認が終わると、下記の画面になり、SDカードが使えるようになる

SDカードの準備ができました。
SDカードに録画します。

● SDカードランプが消灯し、画面も自動的に消灯する

SDカードを取り出すとき

SDカードランプが消灯している状態で、**SDカード挿入口のふたを開け、SDカードの中央部を押して取り出す**

SDカードは
まっすぐ引き抜いて
ください。

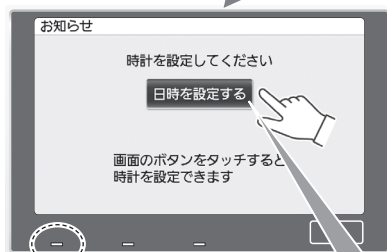
お願い

● **SDカードランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ（☞ 17ページ）を押したりしないでください。**（データが破壊されることがあります）
● 本機で使えるSDカード（☞ 20ページ）以外は入れないでください。
● SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

日時(時計)を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。必ず設定してください。(未設定時は「お知らせランプ」が点滅し、画面をタッチしたときに日時設定を促すお知らせ画面が表示されます)

1

〈お知らせ画面〉

[日時を設定する]をタッチする

2

[+]または[−]をタッチして日時を合わせる

● [+]または[−]をタッチし続けると数字が早く切り替わる

3

(例：2011年10月1日13時45分)

日時を合わせ終わったら、
[決定]をタッチする

●「ピー」と鳴って日時が設定され、画面が消灯する

日時を変更するとき

設定変更は、トップメニューから行います。

① **画面にタッチして、トップメニュー(☞ 下記)を表示させる**

② **[設定/情報]をタッチする**

③ **[設定を変更]をタッチする**

④ **[最初の設定]をタッチする**

⑤ **[日時設定]をタッチする**

⑥ **左記の手順2、3を行う**

●「ピー」と鳴り、日時が設定される

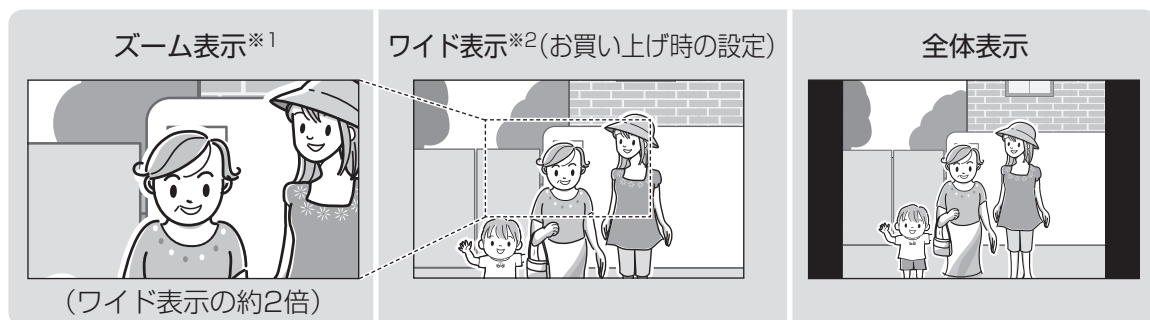
⑦ **終わったら、[終 了]を押す**

お知らせ

● 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
● 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。

映像の表示範囲を設定する

ワイド/ズーム/全体表示の設定(着信画面設定)

ドアホンから呼び出されたとき(着信画面)の映像表示のしかたを設定します。
(ワイド/ズーム対応のドアホンが2台以上あるときは、個別に設定できます)

※1 デジタルズームのため、ワイド表示や全体表示に比べて画質が粗くなります。
※2 全体表示に比べて、上下の映像が少し切れます。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

録画の一覧 / 子を見る / 話す / モード / 設定/情報 / お手入れ / 終了

2 **[設定を変更]をタッチする**

設定を変更 / 情報を見る

3 **[最初の設定]をタッチする**

最初の設定 / 呼出音の設定

4 **[着信画面設定]をタッチする**

着信画面設定

5 **設定するドアホンをタッチする**

ドアホン 1 / ドアホン 2 / ドアホン 3

6 **表示させたい設定をタッチする**

現在の設定値

ズーム / ●ワイド / 全体

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、[終 了] **を押す**

お知らせ

●「ズーム」に設定したとき
- 人物がなるべく中心に映るように、表示位置を調整してください。(☞ 25ページ)
- 録画の際は、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

●上記の設定に関わらず、モニター時の映像は常にワイド表示で開始されます。

ズーム位置の設定

着信画面設定（☞ 24ページ）を「ズーム」にしたときや、子機でドアホン映像を「ズーム」したとき、画面にどの位置をズームで映すかを設定します。人物がなるべく中心に映るように、表示位置を調整してください。（ワイド/ズーム対応のドアホンが2台以上あるときは、個別に設定できます）

1 トップメニューで
[設定/情報] をタッチする

2 **[設定を変更] をタッチする**

3 **[最初の設定] をタッチする**

4 **[ズーム位置設定] をタッチする**

5 **設定するドアホンをタッチする**

ドアホン 1
ドアホン 2
ドアホン 3

● 現在のドアホン映像がワイドで表示される

6 **ズームで映したい位置をタッチする**

● 画面上部に 表示中は、タッチするごとにズーム位置を調整できる

ワイドに戻って調整をやり直すときは、ここをタッチする

7 表示されている位置で設定するとき、
[この位置に決定] をタッチする

● 「ピー」と鳴り、「設定しました」を表示して自動的に終了する

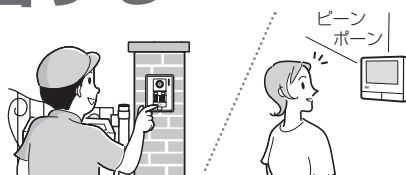
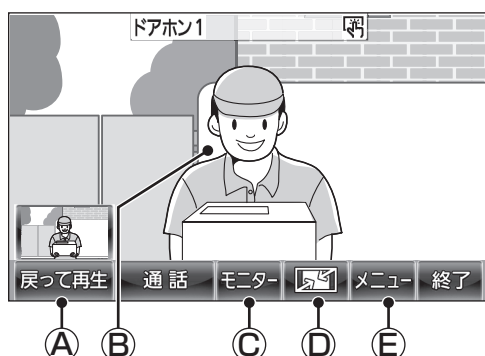
お知らせ

● ズーム位置設定中のドアホン映像は約90秒で自動的に終了します。操作途中でドアホン映像が終了した場合、設定は完了していません。（もう一度最初からやり直してください）

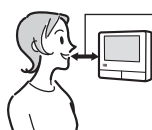
来客の呼び出しに応答する

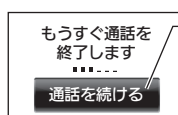
1

ドアホンの呼び出しボタンが押されると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

Ⓐ 着信時の録画確認（☞ 27ページ）
Ⓑ ズーム、パン・チルト（☞ 29ページ）
Ⓒ 通話せずに、相手側の音声を聞く
Ⓓ ワイド/全体表示（☞ 29ページ）
Ⓔ 音や表示の調整（☞ 28ページ）

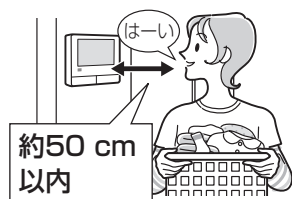
2

［通 話］を押し、相手と話す

約50 cm以内で
相手と交互に話す
● 同時に話すと声が途切れる

● 通話時間：約1分
（終了の約10秒前に表示でお知らせ）

タッチすると、
約1分延長できる
（通話延長）

3

終わったら、［終 了］**を押す**

音声応答（☞ 92ページ）の設定をすると、ボタンを押さずに声で応答できます

呼出音が鳴ったら、声で応答する（相手には聞こえない）

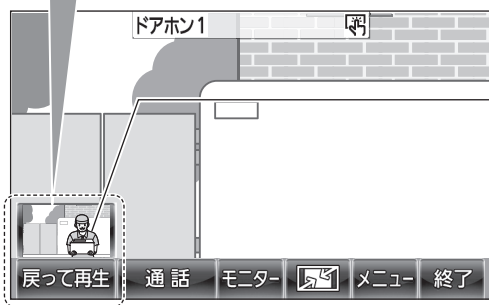
● 「ピッ」と鳴ったら、話ができます
● 周囲の音に反応して応答してしまうことがあります
- ペットの鳴き声やテレビの音など
- 子機の呼出音（子機を近くに置いているとき）

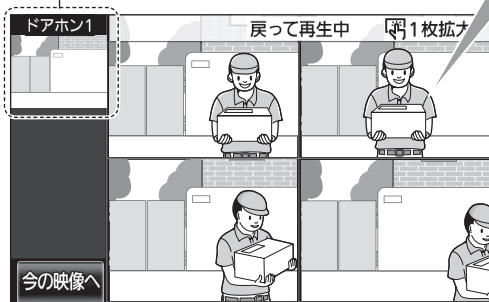
お知らせ

● 呼出音が鳴ってから約30秒以内に応答しないと、映像が消えます。
● 着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 34ページ）
● 「ただいまコール」（☞ 15ページ）の呼びかけには、音声応答はできません。
● **ドアホン着信中や通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 83ページ）**

着信画面に誰も映っていないとき（戻って再生）

ドアホン親機では、着信時の映像を一時的に録画しています。（着信の約2秒後から約1秒おきに最大4枚）
着信中の画面でこの録画画像を表示し、呼び出してきた相手を確認することができます。

着信中に[戻って再生]をタッチする

着信時の録画画像の1枚を表示

今の映像

（着信時の録画画像を一覧表示）

見たい画像にタッチすると、拡大して見ることができる

- 画像一覧に戻るには ➔ **[4枚表示]**をタッチ
- 今の映像に戻るには ➔ **[今の映像へ]**をタッチ

自分や相手の周囲が騒がしく話しにくいとき（プレストーク通話）

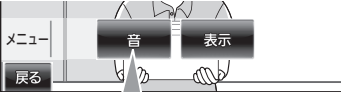
プレストーク通話では、送話と受話を手動で切り替えるので、周囲が騒がしいときでも
声が伝わりやすくなります。

通話中、「ピッ」と鳴るまで [通 話] **を約2秒間押し、プレストーク通話に切り替える**

- 画面に を表示

■話すとき（送話）

[通 話] **を押したまま話す**

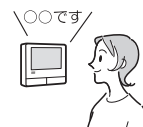
押している間は、相手の声が聞こえません

■聞くとき（受話）

[通 話] **から指を離す**

〇〇です

こちらの声は相手に聞こえません

来客の呼び出しに応答する

着信中・通話中・モニター中に 音や表示を調整する

音の調整

1

[メニュー]をタッチする

2

[音]をタッチする

3

着信中は「呼出音量」になる

受話音量を変えるとき (通話中・モニター中)	小さく または 大きく タッチして調整する
ドアホンへの送話音量を変えるとき	タッチして切り替える
自分の声を低く変えるとき (ボイスチェンジ)	タッチして切り替える
呼出音量を変えるとき (着信中のみ)	小さく または 大きく タッチして調整する **「切」(鳴らない)にするには** 呼出音量 切 となるまで **[小さく]** をタッチし続ける ●「切」の解除 ➔ **[大きく]** をタッチする

表示の調整

1

[メニュー]をタッチする

2

[表示]をタッチする

3

画面の明るさを変えるとき	暗く または 明るく タッチして調整する
ドアホンの逆光補正をするとき	− OFF + 逆光補正 タッチして切り替える 「−」：顔が明るく映るとき(暗くします) 「OFF」：逆光補正をしない 「+」：顔が暗く映るとき(明るくします)
ドアホンの照明をON/OFFするとき	タッチして切り替える ●「ON」にすると画面に ☼ を表示

お知らせ

●「送話音量」を変えると、子機からドアホンへの送話音量も変わります。

映像の表示範囲を切り替える

表示中の映像を一時的にワイド/ズーム/全体表示に切り替えたり、ズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。

● ズームやパン・チルトなど映像に直接タッチして操作ができる場面では、画面上部に [タッチ操作アイコン] が表示されます。

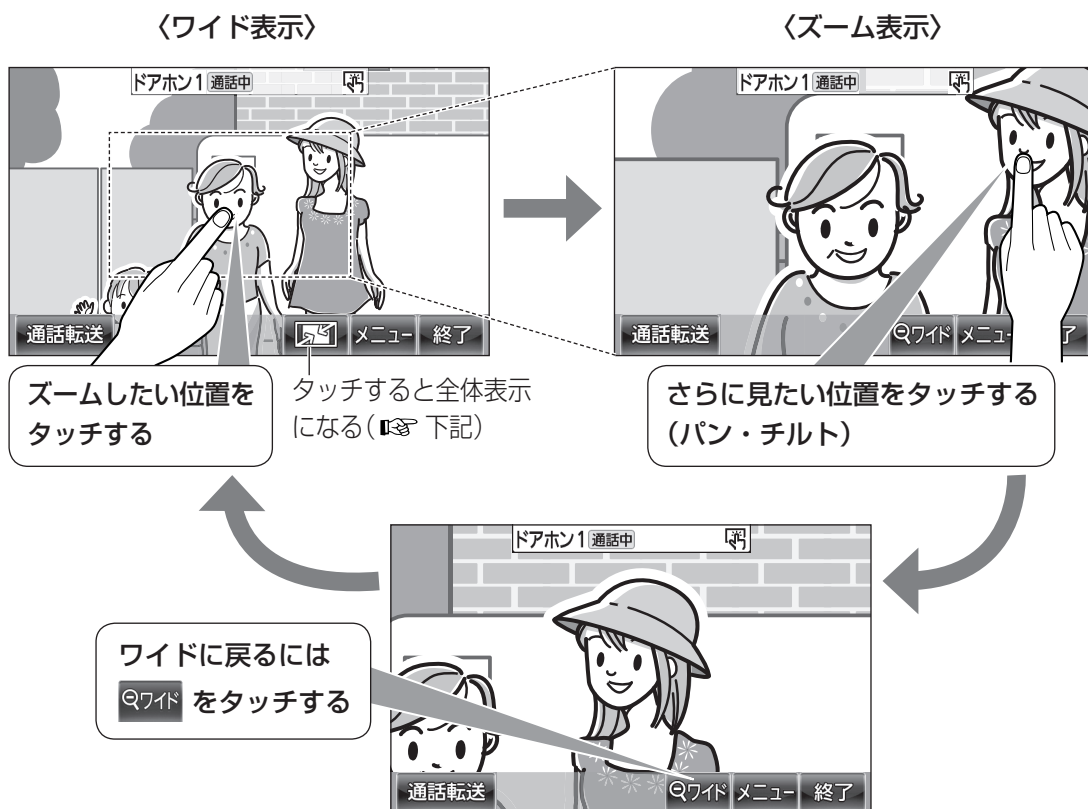
〈ワイド表示〉

〈ズーム表示〉

ズームしたい位置をタッチする

タッチすると全体表示になる(☞ 下記)

さらに見たい位置をタッチする(パン・チルト)

ワイドに戻るには [ワイド] をタッチする

〈全体表示〉

全体表示からワイド/ズームに切り替えることもできます。

● ワイドにするには ➔ [ワイドボタン] をタッチ

● ズームにするには ➔ **映像**をタッチ

お知らせ

● デジタルズームのため、ズーム表示ではワイド表示や全体表示に比べて画質が粗くなります。

● 上記の操作で表示を切り替えても、画面を終了すると元に戻ります。
ドアホンからの呼び出し映像の表示設定を変えるには、24、25ページの「着信画面設定」や「ズーム位置設定」をしてください。

● ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

ドアホン通話を転送する

転送する側 / 受ける側

1

ドアホン通話中に、

[通話転送]をタッチし、
転送先の相手に呼びかける

■ **転送先が複数あるとき**（例：子機6台）

転送先をタッチして呼びかける

通話転送 / ドアホン1 お待たせ中 / 1 子機 / 2 キッチン / 3 寝室 / 4 子供部屋 / 5 和室 / 6 書斎 / ドアホンへ戻る / 一斉呼出

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

[通 話] を押して話す

2

相手が出たら、

通話を転送することを伝え、
[子機で来客と話してもらう]を
タッチする

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手が
ドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、

ドアホン側の相手と話す

● 終わったら、

[終了] を押す

■ **子機からの転送をドアホン親機で受けるとき**

① 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通 話] を押して子機と話す

② ドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と話す（終わったら、[終 了] を押す）

お知らせ

● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
● 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ **[来客と話す]**をタッチ
● **ドアホン通話を転送中に別の呼び出しがあったとき（☞ 85ページ）**

ドアホン側の様子を見る （ドアホンモニター）

ドアホン側の様子を、映像と音で確認できます。
●こちらの声はドアホン側には聞こえません。

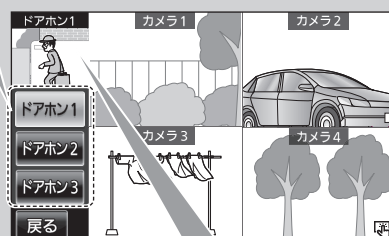
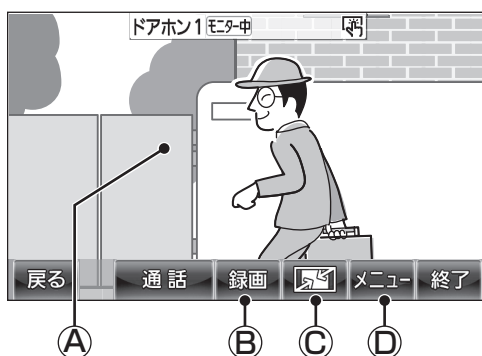
1 トップメニューで **[モニター 様子を見る]をタッチする**

■ ドアホンが2台以上あるとき

①見たい場所をタッチ

②ここをタッチ

■ カメラがあるとき

①見たい場所をタッチ

②ここをタッチ

●モニター映像が表示される（常にワイド表示）
●モニター先の相手に話しかけるには
➔ 通 話 を押す

Ⓐ ズーム、パン・チルト（☞ 29ページ）
Ⓑ モニター映像の録画（☞ 35ページ）
Ⓒ ワイド/全体表示（☞ 29ページ）
Ⓓ 音や表示の調整（☞ 28ページ）

2 終わったら、 終 了 **を押す**

お知らせ

●モニター時間は約90秒です。
ただし、モニター中に何か操作すると、最大3分まで延長されます。
●**モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 83ページ）**

子機と話す 室内通話

呼び出す側

受ける側

1

トップメニューで
**[子機と話す]をタッチし、
相手に呼びかける**

くらし
モード
終了

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

通 話 を押して話す

■呼び出し先が複数あるとき（例：子機6台）

呼び出し先をタッチして呼びかける

2

相手が出たら、**話す**

●受話音量を変えるには
[受話音量]をタッチして変更する

3

終わったら、 終 了 **を押す**

■子機からの呼び出しをドアホン親機で受けるとき

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 通 話 を押して子機と話す

お知らせ

●室内呼び出しや着信は呼出音が鳴ってから約30秒、通話は約60秒で終了します。

●**室内通話中に別の呼び出しがあったとき**（☞ 85ページ）

録画・録音機能について

記録先(本体メモリー/SDカード)によって、記録できる内容や件数などが異なります。

- SDカード挿入時は自動的に記録先がSDカードになります。(記録先を選ぶことはできません)
- 使用可能なSDカードやSDカードの取り扱いについては(☞ 20ページ)

内容 ＼ 記録先		SDカードなし	SDカードあり	
		本体メモリー	SDカード (2 GB～64 GB)	
録画対象		ドアホン映像 (☞ 34ページ)	ドアホン映像や通話 (☞ 34ページ)	カメラ映像 (☞ 58ページ)
録画件数		最大50件	合わせて最大3000件※1	
保護件数(☞ 40ページ)		最大20件	合わせて最大20件	
1件あたりの録画内容	着信時(自動録画)	静止画:最大8枚	動画:最大約30秒	
	モニター時(手動録画)	静止画:最大8枚	動画:最大約30秒	
	ドアホン通話時	録画できません	動画＋音声:最大約120秒※2	—

※1 SDカードの容量によって異なります。容量と録画件数の目安は(☞ 下記)
※2 「ドアホン通話自動記録」の設定が「する」のとき(☞ 35、93ページ)

■SDカードの容量と録画件数の目安

下表は、お買い上げ時の設定(ドアホン着信自動録画「する」、ドアホン通話自動記録「しない」、カメラ検知自動録画「する」)で使用した場合の目安です。

録画対象 ＼ 容量	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
ドアホン映像のみ	約125件	約255件	約520件	約1040件	約2090件	約3000件	約3000件
カメラ映像のみ	約150件	約300件	約610件	約1230件	約2470件	約3000件	約3000件

- **カメラをご使用の場合は、4 GB以上のSDカードをお使いいただくことをお勧めします。**
- 上記の録画件数は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
- SDカードにはファイルシステムなどの管理情報の保存領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。また、他のデータが保存されていると、録画件数は少なくなります。

ドアホンの映像や通話を録画・録音する

着信映像を自動で録画する（ドアホン着信自動録画）

来客から呼び出しがあると、応答する/しないに関わらず、相手の映像を自動で録画します。
（☞ 93ページ「ドアホン着信自動録画」：お買い上げ時の設定「する」）

応答しなかったとき…

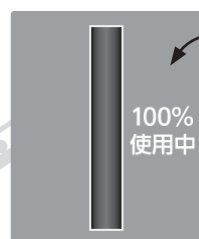
お知らせ

- 「戻って再生」（☞ 27ページ）をした場合、呼び出しに応答していなくても、録画した画像は確認済み扱いになります。
- 通話中やモニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき（☞ 83ページ）は、呼び出しに応答するなどして、着信中のドアホン映像を画面に表示しないと録画はされません。
- 次の場合は、録画枚数（8枚）や録画時間（最大約30秒）が少なくなることがあります。
  - 着信中に終了操作をしたとき
  - ドアホンが複数あり、着信中に別のドアホンから呼び出しがあったとき

本体メモリーやSDカードの録画がいっぱいになったとき（録画の自動更新）

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。このため、手動で画像を消去しなくても、録画ができなくなることはありません。

- 未確認の画像でも消去されます。
- 消したくない画像は、保護設定することができます。（☞ 40ページ）

〈録画がいっぱいのとき〉

通話の内容を自動で録画・録音する（ドアホン通話自動記録）

SDカードを使うと、通話の映像と音声（会話）を自動で録画・録音できます。
この機能を使うには、あらかじめ設定の変更が必要です。
（☞ 93ページ「ドアホン通話自動記録」：お買い上げ時の設定「しない」）

設定を「する」にして、呼び出しに「通話」応答すると…

応答してから通話が終わるまで、最大約120秒の音声付き動画をSDカードに録画します。

- 着信映像も自動録画しているとき（☞ 34ページ）は、着信から通話終了までを1件の動画として記録します。（最大約150秒）

モニター映像を手動で録画する

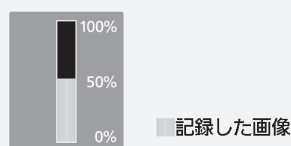
モニター時の映像を、必要に応じて手動で録画する機能です。

録画中は **録画●** が表示される

モニター映像を表示中に
[録画]をタッチする

■本体メモリーへの録画の場合
約1秒おきの静止画を8枚録画

■SDカードへの録画の場合
最大約30秒の動画を録画
（録音はされません）

- 本体メモリーやSDカードの録画状況を情報表示画面で確認できます。
（☞ 86、87ページⒺ）

録画を再生する

新しく録画された未確認画像があるときは「お知らせランプ」が点滅し、トップメニューに 新着の未確認あり が表示されます。

1

新しく録画された未確認画像が
- あるとき：未確認の最新画像を表示
- ないとき：最新画像を表示

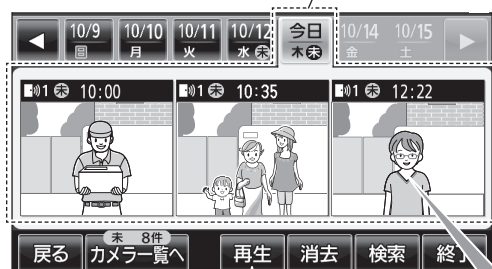
トップメニューで
[録画の一覧]をタッチする

2

日付ごとの録画一覧がカレンダーで表示される

● **別の日の録画一覧を見るには**
➔ 見たい日付のボタンをタッチする

● **カメラの録画一覧を見るには**
➔ [カメラ一覧へ]をタッチする

● **画面の見かたや再生中の機能**
(☞ 37ページ)

カメラの録画があるときのみ表示

選んだ日以降の録画をすべて見るには
[再生]をタッチする

● 音声案内が流れ、録画の古い順に最新画像までを自動再生する
● 終わったら、 終 了 を押す

表示画像の中の1件を見るには
見たい画像をタッチする

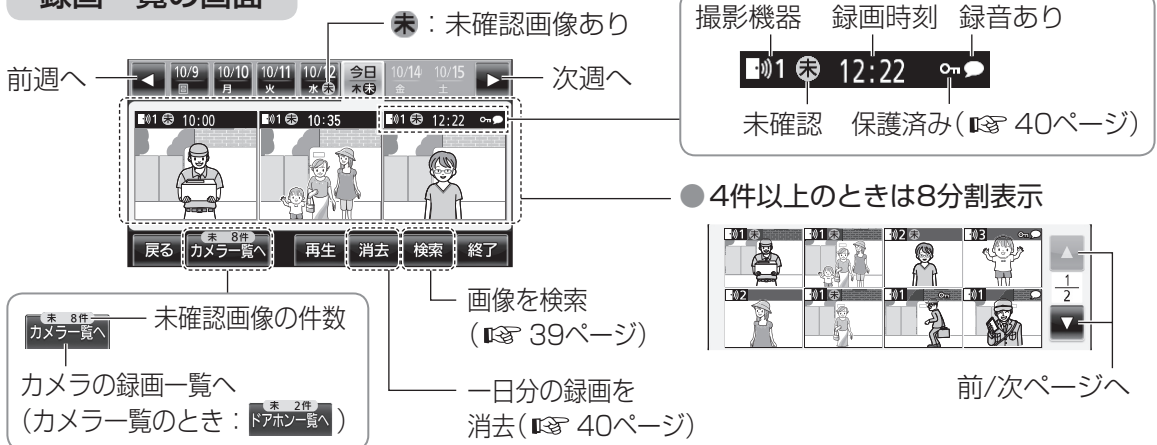
● 音声案内が流れ、選んだ1件を再生する
● 終わったら、 終 了 を押す

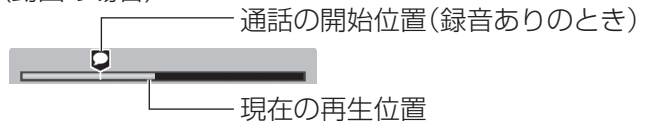
お知らせ

● 「お知らせランプ」の点滅はトップメニューを表示すると消灯し、トップメニューの 新着の未確認あり は録画一覧を表示すると消えます。

再生画面の見かたと再生中の機能

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

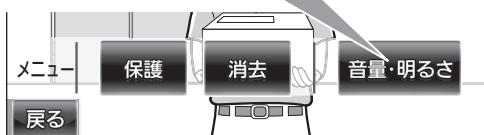
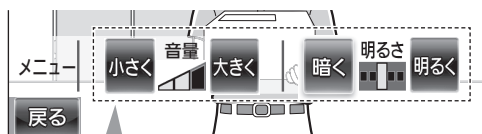
録画一覧の画面

再生中の画面

■再生の経過を表示します

	操作ボタン	機能説明
再生中	前 ／ 次	1件ずつ戻す/送る
	メニュー	保護/消去（☞ 40ページ）、音量・明るさの調整（☞ 38ページ）
	（ワイド、） または**画像をタッチ**	表示範囲の切り替え（☞ 38ページ） ●再生は一時停止になる
	通話頭出し	通話録音がある画像のとき、通話の開始位置から再生する
	II	一時停止する
	◀◀ ／ ▶▶	動画再生を早戻し/早送りする
一時停止中	▶	再生を再開する
	コマ戻し ／ コマ送り	1コマ（1枚）ずつ戻す/送る

再生中に 音や表示を調整する

音量や明るさの調整

1 [メニュー]をタッチする

2 [音量・明るさ]をタッチする

3

音声案内など、再生中の音量を変えるとき	[小さく] または [大きく] タッチして調整する **音を消す(「消音」にする)には** 音量 消音 となるまで**[小さく]**を タッチし続ける ●「消音」の解除 ➔ **[大きく]**をタッチする
画面の明るさを変えるとき	[暗く] または [明るく] タッチして調整する

再生画像の表示範囲を切り替える

通話中などと同様に、ワイド/ズーム/全体表示の切り替えや、パン・チルトができます。
- 再生画面は、常にワイド表示で始まります。
- ズームで録画した画像も、再生時にさらにズームすることができます。(ただし、画質は粗くなります)

〈ワイド表示〉

ズームしたい位置をタッチする

タッチすると全体表示になる(☞ 下記)

〈ズーム表示〉

- ワイドに戻るには ➔ [ワイド] をタッチ
- ズーム位置を切り替えるには(パン・チルト) ➔ **さらに見たい位置**をタッチ

〈全体表示〉

全体表示からワイド/ズームに切り替えることもできます。
- ワイドにするには ➔ [ ] をタッチ
- ズームにするには ➔ **画像**をタッチ

画像を検索する（探す）

カレンダーで日付を選んで画像を表示させたり（カレンダー検索）、保護画像だけを表示させたり（保護画像検索）できます。SDカード使用時など、たくさんの画像の中から必要な画像を探すときに便利です。

● 下記の説明は、SDカード使用時（ドアホンとカメラの画像あり）を例にしています。

カレンダーから探す

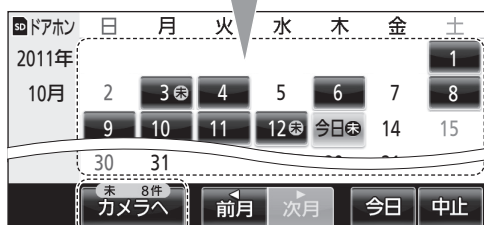
（例：ドアホンの画像を検索する場合）

1 トップメニューで
[録画の一覧]をタッチする

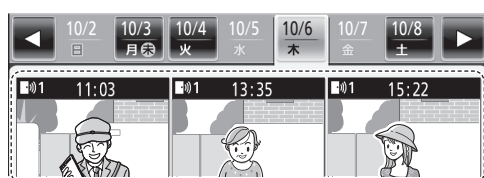
2 ドアホン録画一覧を表示中に
[検索]をタッチする

3 [カレンダー]をタッチする

● 下記のようなカレンダーが表示され、録画がある日付がボタン表示になる

4 探したい日付をタッチする

● タッチした日付の録画一覧を表示

画像にタッチすると、その画像を再生して停止する

※カレンダー（ドアホン/カメラ）切替ボタン
（カメラのカレンダーを表示中は **[ドアホンへ]** と表示されます）

保護画像から探す

1 左記の手順1、2を行う

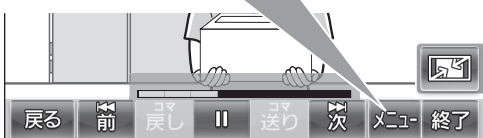
2 [保護のみ表示]をタッチする

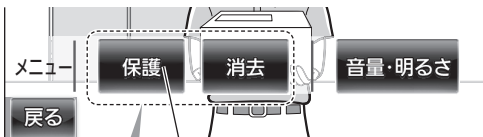
● ドアホンとカメラのすべての保護画像の一覧が表示される

画像にタッチすると、その画像を再生して停止する

お知らせ

● SDカード使用時に、本体メモリーにも画像があるときは、手順3で下記のような画面になります。

タッチすると本体メモリーの録画一覧を表示

画像を保護／消去する

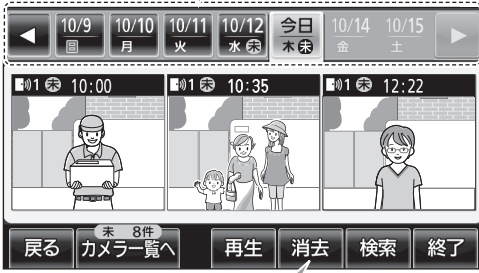
録画がいっぱいになると、古い画像から自動で消去されます。（☞ 34ページ「録画の自動更新」）
消したくない画像は保護してください。また不要な画像は、再生中に1件単位で消去したり、保護画像を残して一日分をまとめて消去することができます。

● 記録先（本体メモリー/SDカード）のすべての画像を一度に消去したいときは（☞ 93ページ「画像全消去」）

● 再生中の1件を保護／消去する ●

1 保護／消去したい画像を再生中に
[メニュー]をタッチする

2

保護済みのときは「保護解除」に変わる

画像を保護するとき	保護 **をタッチする** ● 保護されると、画面に 保護 を表示 **保護を解除するには** 保護解除 **をタッチする** ● 保護 の表示が消える
画像を消去するとき	消去 **をタッチし、** **確認画面が出たら、** はい **をタッチする**

● 一日分の画像を消去する ●

1 録画一覧画面で
消去したい日付を選ぶ

● カレンダーで検索するには（☞ 39ページ）

2 **[消去]をタッチする**

3

今日（10／13）のすべての録画画像を消去しますか？
保護画像は消去されません。
はい　いいえ

保護画像があるとき表示

[はい]をタッチする

お知らせ

● 保護件数は、本体メモリーとSDカードでそれぞれ最大20件です。保護件数がいっぱいになるとそれ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。
• 検索機能を使うと、保護画像だけをまとめて表示できます。（☞ 39ページ）

くらしモードについて 在宅/夜間/外出

くらしモードを使うと、簡単操作で、くらしの場面に適した動作に変更できます。

- カメラや窓センサーと連携すると、より便利に使うことができます。
  - カメラボタンを使って、一時的にセンサー検知を休止できます。（☞ 55ページ）
  - 在宅/夜間/外出にあわせて、窓センサーの報知レベルを変更できます。（☞ 下記）
- 画面や説明は、カメラと窓センサー利用時の状態を例にしています。

〈トップメニュー〉

タッチすると…

■ 在宅/夜間/外出モードでのお買い上げ時の動作

	ドアホン・カメラから呼び出しがあると…	窓が開いて、窓センサーが反応すると…
	（例）	
通常の動作モードです。 • くらしモードランプ **消灯**	 呼出音が鳴り、 映像が表示されます。	 窓が開くと、報知レベル 「低い」で動作します。
静かに過ごしたいときなどに便利なモードです。 • くらしモードランプ **青点灯**	 • 呼出音は鳴りません。 • 操作時のタッチ確認音も鳴りません。 • ドアホン通話時は、外に聞こえる送話音量が「小」になります。	
外出するときのモードです。 • くらしモードランプ **赤点灯**	 呼出音が鳴り、映像が表示されます。ドアホン親機の映像(画面)は、表示しないように設定することもできます。	 窓が開くと、報知レベル 「高い」で動作します。

- 窓センサーの報知レベルと動作について詳しくは（☞ 72ページ）
- 各モードの設定内容は変更することもできます。（☞ 44ページ）

くらしモードを切り替える

各モードの動作をご理解のうえ、くらしの場面にあわせて切り替えてください。

● 夜間モードの場合、毎日指定した時間帯に自動で切り替わるように、タイマー設定することもできます。(☞ 43ページ)

1

トップメニューで
[くらしモード]をタッチする

現在の設定モードのマークを表示
(例：在宅モード)

2

切り替えたいモードを選んでタッチする

(例：「在宅」から「外出」に切り替え)

● 確認メッセージが出たとき
➔ 表示に従って操作する

● 「ピー」と鳴って選んだモードに設定され、「くらしモードランプ」が変化する
- 在宅：消灯
- 夜間：青点灯
- 外出：赤点灯

選んだモードの現在の設定内容を表示

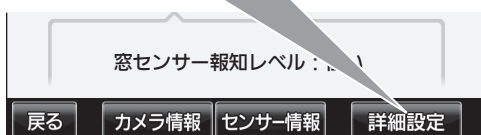
● 設定内容を変えるには
➔ **[詳細設定]**をタッチ(☞ 44ページ)

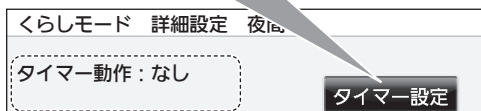
3 終わったら、[終 了] **を押す**

タイマー設定で、夜間モードにする

下記の操作で、夜間モードにしたい時間帯を設定してください。

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする

2 **[詳細設定]をタッチする**

3 **[夜間]をタッチする**

4 **[タイマー設定]をタッチする**

現在のタイマー設定の状態を表示

5 **[あり]をタッチする**

6 **[+]または[−]をタッチして時間帯を指定する**

● [+]または[−]をタッチし続けると数字が早く切り替わる

（例：22時から6時）

7 時間帯を指定したら、
[決定]をタッチする

●「ピー」と鳴り、タイマーが設定される

8 終わったら、[終了] **を押す**

タイマー設定を解除するとき

① **上記の手順1〜4を行い、手順5の画面で[なし]をタッチする**

② **終わったら、[終了]を押す**

くらし モード 各モードの設定内容を変える

各モードで設定できる内容とお買い上げ時の設定は、下表のとおりです。
必要に応じて設定を変更してください。

[ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

設定モード	設定できる内容	
在　宅	窓センサー報知レベル	OFF 、[低い]、 高い
夜　間	消音(呼出/タッチ/再生)	[する]、 しない
	ドアホン送話音量を小さく	[する]、 しない
	窓センサー報知レベル	OFF 、[低い]、 高い
外　出	着信時に画面を表示	[する]、 しない
	窓センサー報知レベル	OFF 、 低い 、[高い]

●窓センサー報知レベルの詳細は(☞ 72ページ)

●消音「する」のときに鳴らない音について

- ドアホン親機：ドアホンとカメラの呼出音、操作中にスピーカーから出る音(タッチ確認音や録画再生の音声など)
- 子機　　　　：ドアホンとカメラの呼出音のみ

電話/ファクスとの連携について

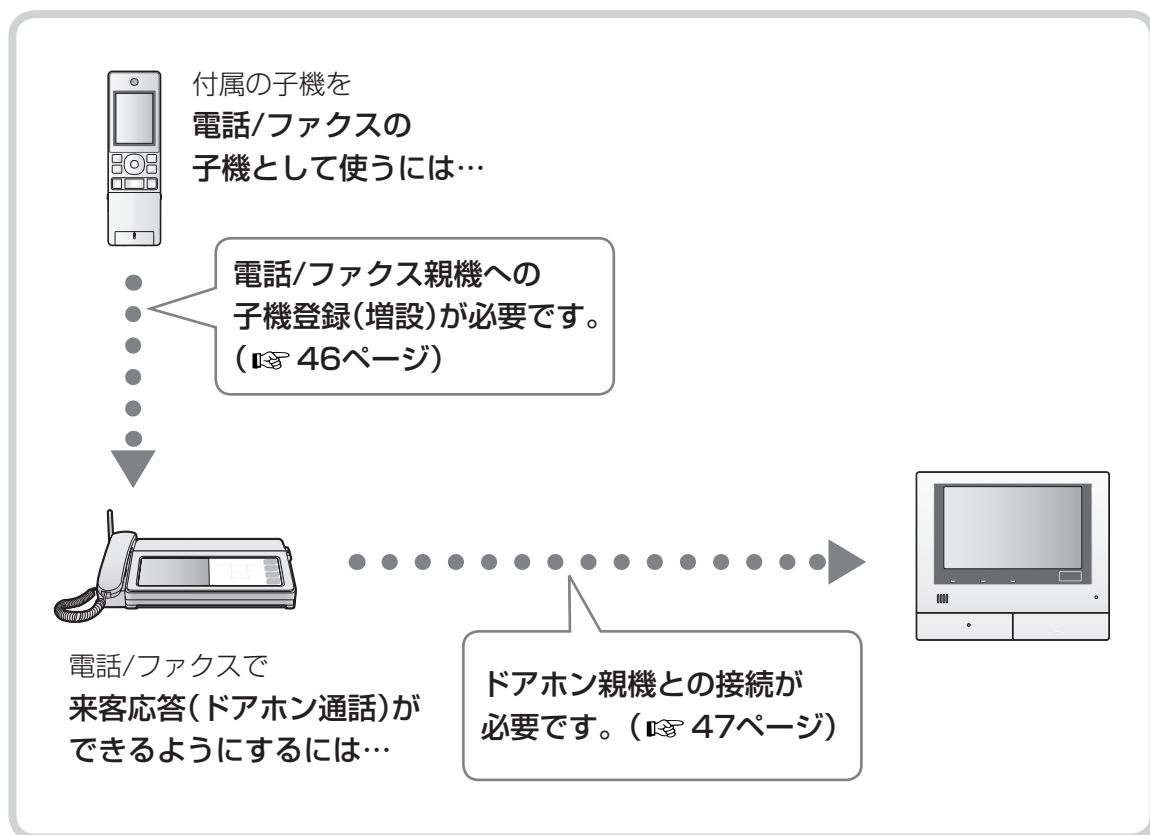
対応の電話/ファクスと連携すると、付属の子機(VL-WD608)を電話の子機として使ったり、電話/ファクスで来客応答(ドアホン通話)ができるようになります。

● **連携できる電話/ファクスは 1 台のみ。対応機種の一覧は(☞ 4ページ)**

付属の子機を
電話/ファクスの
子機として使うには…

電話/ファクス親機への
子機登録(増設)が必要です。
(☞ 46ページ)

電話/ファクスで
来客応答(ドアホン通話)が
できるようにするには…

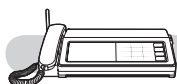
ドアホン親機との接続が
必要です。(☞ 47ページ)

お願い

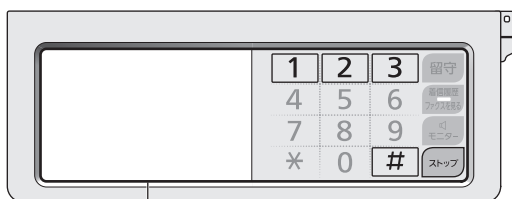
● **子機を電話/ファクス親機に登録してドアホン/電話両用で使うときは、設置場所にご注意ください。ドアホン親機と電話/ファクス親機が離れすぎていたり、間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えなくなります。(☞ 10、11ページ)**

子機(VL-WD608)で 電話ができるようにするには

付属の子機を電話/ファクス親機に登録する(増設)

電話/ファクス親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

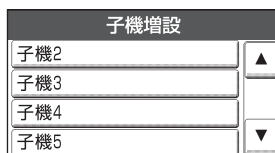
- 電話/ファクス親機の操作はKX-PD701の例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- 子機を初めて使うときは、増設の前に約15分間充電してください。(☞「子機編」17ページ)

電話/ファクス親機の操作

(KX-PD701)

タッチパネル(タッチして操作します)

1 電話機コードを抜く

- 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ で表示を消してください

2 機能 をタッチしたあと、# 1 2 3 をタッチする

子機増設
子機2
子機3
子機4
子機5

- 空いている番号のみ表示

3 増設する子機番号をタッチする

続けて、約2分以内に子機を操作する

付属の子機の操作

4 決定(メニュー)を押し、◀▶で[設定]メニューを開く

5 ▲▼で[子機増設]を選び、決定を押す

6 ▲▼で[電話/ファクス]を選び、決定を押す

7 決定(登録)を押す

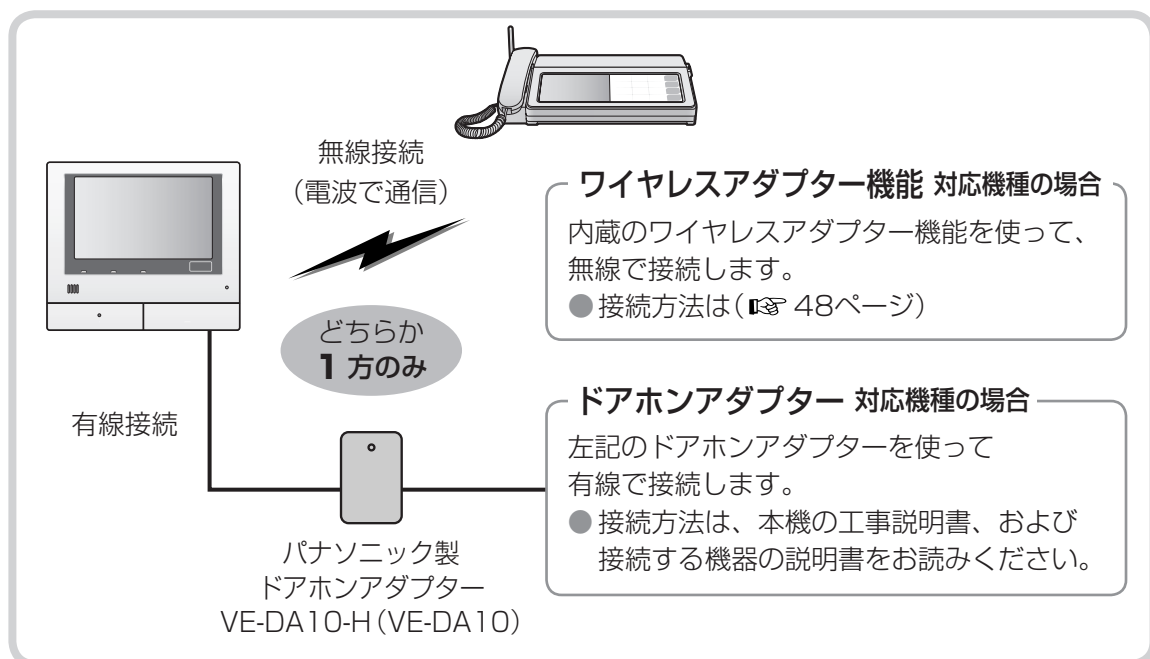
ファクス登録完了

- 終わったら、電話/ファクス親機の電話機コードを接続する

お知らせ

- 増設後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
  ➔ ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているためで、故障ではありません。
- 2台以上の子機(VL-WD608)をドアホン/電話両用で使う場合、子機はすべて1台の同じ電話/ファクス親機に登録してください。

電話/ファクスで 来客応答できるようにするには

ドアホン親機と電話/ファクス親機の接続が必要です。

■ ワイヤレスアダプター機能を使った接続について

親機同士の通信に電波を使うため、電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください。

● ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。

ドアホン親機と離れすぎていたり、100 m以内でも別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがあるとき（☞ 10、11ページ）は、電波が弱くなり、電話/ファクスでのドアホン通話ができないことがあります。

ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えません。
親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。

■ ドアホンアダプターを使った接続について

電話/ファクスで来客応答できるドアホンは2台までです。

3台目のドアホンを増設した場合、電話/ファクスでは３台目のドアホンとの通話はできません。

お知らせ

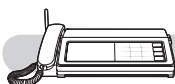
● 電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機と電話/ファクス間では、内線通話やドアホン通話の転送はできません。

● 接続後の使いかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

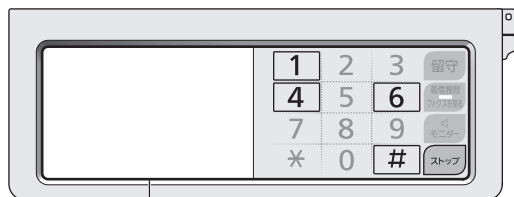
● ワイヤレスアダプター機能で接続すると、中継アンテナの登録が制限されます。
（☞ 103ページ）

電話/ファクスで来客応答できるようにするには（つづき）

ワイヤレスアダプター機能で接続設定をする

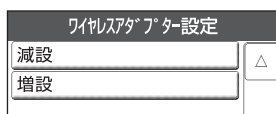
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PD701の例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

電話/ファクス親機の操作

（KX-PD701）

タッチパネル（タッチして操作します）

1 電話機コードを抜く

● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ で表示を消してください

2 機能 をタッチしたあと、# 1 6 4 をタッチする

ワイヤレスアダプター設定
減設
増設

3 増設 をタッチする

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する

ドアホン親機の操作

4 トップメニューで［設定/情報］をタッチする

5 ［設定を変更］をタッチする

6 ［登録/減設］をタッチする

7 ［登録］をタッチする

8 ［ワイヤレスアダプター機能］をタッチする

● 登録が完了すると、「登録完了」を表示
● 登録が終わったら、 終了 を押す

登録後に必ず行ってください

■すべてのドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
（この操作をしないと、電話/ファクス親機からドアホンへの呼びかけができません）

■電話/ファクス親機に電話機コードを接続する

■設置場所で電波を確認する
（☞ 86、87ページ Ⓓ）

お知らせ

● 電話/ファクス親機に「プロトコルエラー」と表示され、手順2の画面に戻ったとき
➔ 手順3からやり直してください。

● ドアホン親機に「登録できません」が表示されたとき（☞ 129ページ）

カメラ・テレビ・レコーダーとの接続について

ドアホン親機との間は、市販のLANケーブル（ストレートケーブル）やハブで接続します。

- 各機器を利用するにはドアホン親機への登録も必要です。あらかじめ、連携するまでの流れをご確認ください。（カメラ☞ 50ページ、テレビ/レコーダー☞ 63ページ）
- 下図は接続例です。〔　〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。
- ハブ、ブロードバンドルーター、LANケーブルは、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。

（背面）　LAN端子へ

LANケーブル

配線距離
100 m以内

ハブ

LAN
ケーブル

■ カメラを接続する場合

送電装置
（カメラに付属）

この間の接続については
カメラの説明書をお読み
ください。

カメラ

LAN端子へ

〔4台まで〕

■ テレビを接続する場合

LAN端子へ

LAN端子へ

〔2台まで〕

■ レコーダーを接続する場合

LANケーブル

LAN端子へ

〔1台のみ〕

インターネットに接続している場合

LAN端子へ

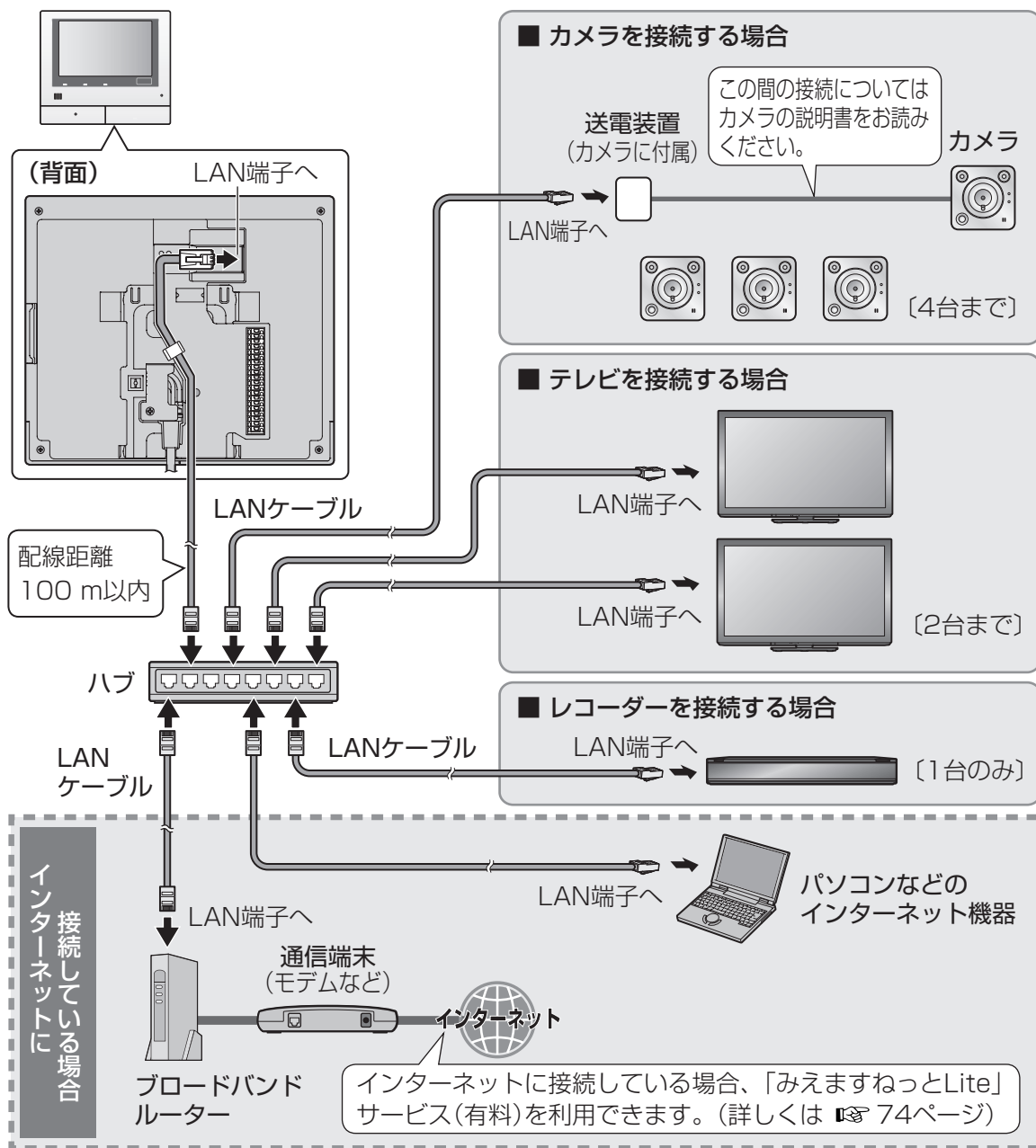
パソコンなどの
インターネット機器

LAN端子へ

通信端末
（モデムなど）

インターネット

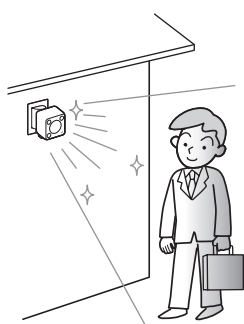
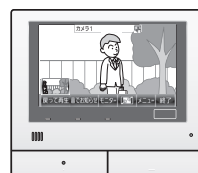
ブロードバンド
ルーター

インターネットに接続している場合、「みえますねっとLite」サービス（有料）を利用できます。（詳しくは ☞ 74ページ）

お知らせ

- 設置済みのドアホン親機に接続する場合は、ドアホン親機を壁掛け金具から取り外す必要があります。（取り外しかた☞ 工事説明書）
- ドアホン親機に連携させる機器が1台しかないときは、ドアホン親機と連携機器をLANケーブルで直接接続できます。

カメラとの連携について

対応のカメラと連携すると、カメラ側の様子が気になるときに映像を確認（モニター）したり、センサーが反応したときにドアホン親機や子機に呼出音と映像でお知らせします。

- 「みえますねっとLite」サービス（有料）を利用すると、センサー反応時の画像（静止画）を携帯電話で見ることもできます。（☞ 74ページ）
- **連携できるカメラは４台まで。対応機種の一覧は（☞ 4ページ）**
- カメラをテレビやレコーダーに登録（連携）している場合、本機で表示、録画されるカメラ映像の更新速度が遅くなることがあります。
- カメラの利用に関する詳細は、カメラの説明書をお読みください。

連携するまでの流れ

1	**接続例を確認し、ドアホン親機と仮接続する** ● カメラ側の説明書もお読みください。 ● 接続は、カメラの電源を切った状態で行ってください。	☞ 49ページ
2	**カメラをドアホン親機に登録する**	☞ 51ページ
3	**ドアホン親機にカメラの映像が映るかを確認する（カメラモニターの操作をする）**	☞ 53ページ
4	**カメラの設置場所で配線や設置を行う**	☞ カメラの説明書
5	**カメラの撮影範囲を確認する（録画のテスト）**	☞ 52ページ

カメラをドアホン親機に登録する

接続が終わったらカメラの電源を入れ、1分以上経過してから下記の操作で登録してください。

- 同時に複数のカメラを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- カメラの操作はVL-CM260の例です。カメラの説明書もお読みください。

ドアホン親機の操作

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[登録/減設]をタッチする**

4 **[登録]をタッチする**

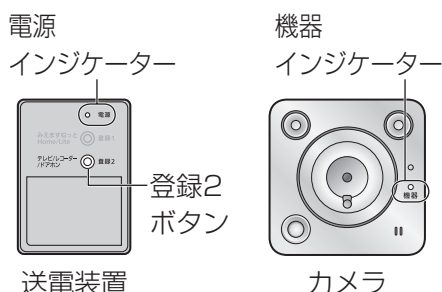
5 **[カメラ]をタッチする**

6 **登録するカメラ番号をタッチする**

続けて、約10分以内にカメラの操作をする

カメラの操作〈登録モードにする〉

7 **カメラを登録モードにするため、送電装置の登録2ボタンを約1秒以上押す**

- 登録モードになると、送電装置の電源インジケーターやカメラの機器インジケーターがオレンジ点滅する（約5分間）
  ※オレンジ点滅するまで、約1分程度かかることもあります

- 上記インジケーターのどちらかでオレンジ点滅し始めたことを確認してから、約5分以内に手順8の操作をしてください

ドアホン親機の操作

8 **[次へ]をタッチする**

- 登録が完了すると、「登録完了」と表示される

9 終わったら、［終　了］**を押す**

お知らせ

- カメラが登録モードになっている間（約5分間）は、センサー検知がはたらきません。
  （詳細は、カメラの説明書で「登録モード/通常モード」の説明をお読みください）
- 他機器（テレビやレコーダーなど）と連携・使用中のカメラを登録すると、カメラの「センサー選択」設定は、強制的に「ダブルセンサー」になります。
  ➔「外部センサー」を使用する場合は、ドアホン親機で設定し直してください。（☞ 59ページ）

カメラとの連携について（つづき）

センサー検知時の撮影範囲を確認する（録画のテスト）

カメラを設置したあと、下記の手順でカメラのセンサー検知時の撮影範囲を確認してください。

- 登録したカメラごとに確認してください。
- **カメラ(センサー検知)を「休止」にしていると録画のテストができません。くらしモードで、カメラが「入」になっていることを確認してください。（☞ 55ページ）**

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[接続機器の設定]をタッチする**

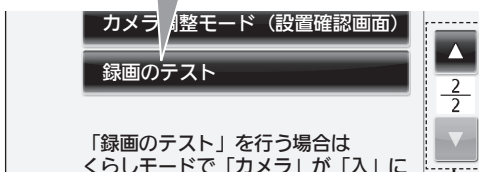
SDカード　接続機器の設定

4 **[カメラ]をタッチする**

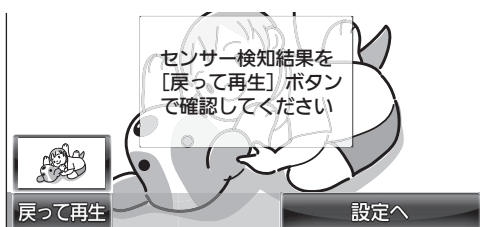
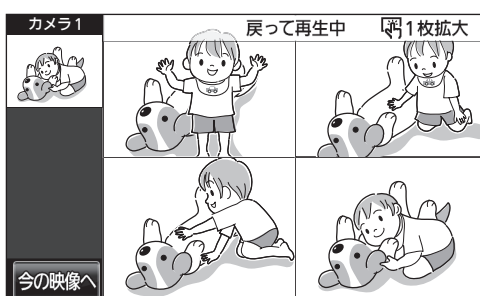
5 **確認したいカメラ番号をタッチする**

6 **[センサー設定]をタッチする**

7 **画面右端の ▼ をタッチしたあと、[録画のテスト]をタッチする**

前/次ページへ

- 現在のカメラ映像が表示される

8 約20分以内に
カメラ側でセンサーを反応させる

- 反応時の映像が一時的に録画され、**[戻って再生]**ができるようになる

9 **[戻って再生]をタッチして撮影範囲を確認する**

- 「戻って再生」の見かたは（☞ 54ページ）
- **見たい範囲が映っていないとき**
  ➔ カメラの設置場所や向きを調整して、再度、確認してください。

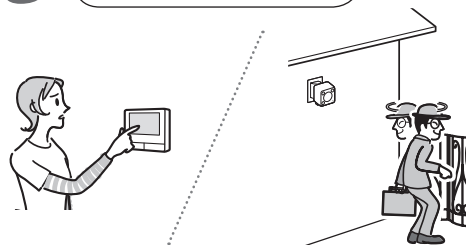
10 終わったら、［終　了］**を押す**

お知らせ

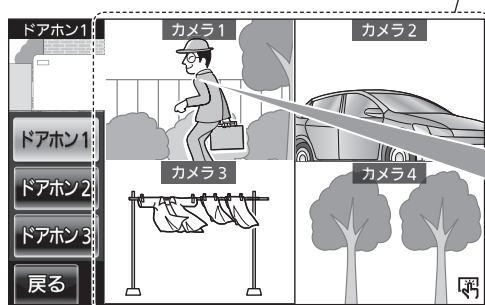
- 録画のテストでは、カメラ映像は約20分で自動的に終了します。確認途中で終了したときは、もう一度最初からやり直してください。

カメラ側の様子を見る（カメラモニター）

カメラ側の様子を、映像で確認できます。
- カメラ側の音は聞こえません。
  こちらの声もカメラ側には聞こえません。

1

トップメニューで
[モニター 様子を見る]をタッチする

2

〈モニター選択画面〉
例：ドアホン3台、カメラ4台

設置したカメラの映像を同時に表示
（カメラが１台のみの場合、この領域全体に映像を大きく表示）

モニターしたいカメラ映像をタッチする

3

- モニター映像が表示される

Ⓐ パン・チルト（VL-CM210のみ ☞ 56ページ）
Ⓑ カメラから「お知らせ音」を鳴らす（☞ 57ページ）
Ⓒ モニター映像の録画（☞ 58ページ）
Ⓓ ワイド/全体表示（☞ 56ページ）
Ⓔ 音や表示の調整（☞ 57ページ）

4

終わったら、［終 了］**を押す**

お知らせ

- モニター時間は約90秒です。
  ただし、モニター中に何か操作すると、最大3分まで延長されます。
- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。（☞ 61ページ）
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 84ページ）**

カメラのセンサーが反応したとき

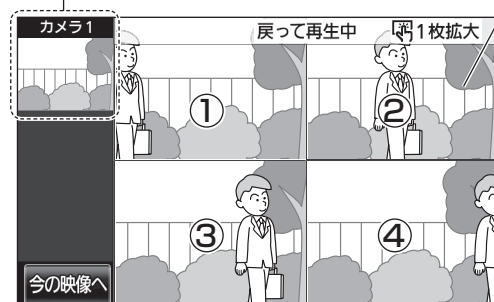
1 センサーが反応すると

呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

Ⓐ パン・チルト（VL-CM210のみ☞56ページ）
Ⓑ カメラから「お知らせ音」を鳴らす（☞57ページ）
Ⓒ モニターする（☞53ページ）
Ⓓ ワイド/全体表示（☞56ページ）
Ⓔ 音や表示の調整（☞57ページ）

● 映像は約30秒で終了しますが、すぐに終了するには ➔ [終 了] を押す

着信画面に誰も映っていないとき（戻って再生）

[戻って再生]をタッチする

● ドアホン親機に一時的に録画されたセンサー反応時の画像（最大4枚）を表示
①検知直前の画像
②～④検知後、約1秒おきの画像

● 見たい画像にタッチすると拡大表示（詳細は☞27ページ）

お知らせ

- ● センサー反応時の映像は、挿入したSDカードに自動で録画されます。（☞58ページ）
- ● **一度センサーが反応すると、約60秒間は次の反応を行いません。（秒数は、カメラの機種や設定によって変わることがあります）**
- ● **センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいとき**
  - • カメラの「呼出音量」を「切」にする（☞88ページ）
  - • 「カメラ呼出一斉消音」の設定をする（☞92ページ）
  - • くらしモードを「夜間」に切り替える（☞41、42ページ）
- ● 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。（☞61ページ）
- ● **着信中に別の呼び出しがあったとき（☞84ページ）**

カメラのセンサー検知を休止する

カメラの設置場所で作業をする場合など、一定時間、センサー検知を休止できます。

- **休止中は、室内への通知(呼出音や映像表示)や自動録画を行いません。**
  - **カメラをテレビやレコーダーなどにも連携してご使用のときは、テレビやレコーダーへの通知(表示や録画)もされなくなります。**
- **カメラが複数あるときは、すべてのカメラのセンサー検知が休止になります。**
- **「くらしモード」を「外出」に設定していると、センサー検知の休止はできません。**

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする

モニター 様子を見る ／ 子機と 話す ／ くらし モード ／ 録画の一覧 ／ 設定/情報 ／ お手入れ ／ 終了

2 今の検知状態「入」

くらしモード ／ 入 休止 ／ カメラ ／ 在宅 ／ 夜間 ／ 外出 ／ 戻る ／ カメラ情報 ／ センサー情報 ／ 詳細設定

[カメラ]をタッチする

3 カメラのセンサー検知を休止します。
自動録画も行いません。
休止時間を選んでください。

30分 ／ 1時間 ／ 2時間 ／ 4時間 ／ 8時間

休止したい時間をタッチする

- 設定が完了すると「ピー」と鳴り、表示が「休止」に変わる

くらしモード ／ 入 休止 ／ カメラ ／ 在宅 ／ 夜間 ／ 外出

4 終わったら、[終 了] **を押す**

■「入」(休止を解除)にするとき

休止時間を過ぎると自動で解除されますが、時間内に解除したいときは下記の操作をしてください。

① 休止中に上記の手順1、2を行い、センサー検知を「入」に戻す
② 終わったら、[終 了] を押す

カメラ情報を確認する

カメラの休止状態などを「カメラ情報」で確認できます。

① 上記の手順2で[カメラ情報]をタッチする
② 終わったら、[終 了] を押す

(例：カメラ4台を接続しているとき)

カメラの着信中や
モニター中に

音や表示を調整する

カメラ映像の表示範囲を切り替える

カメラの映像表示中は、ワイド/全体表示の切り替えができます。

● カメラ映像をズームすることはできません。

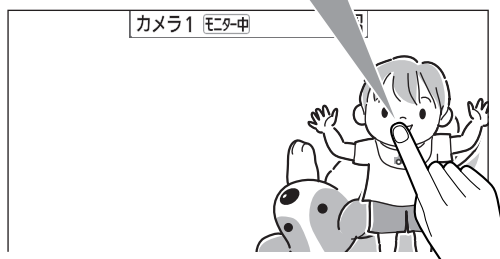
全体表示にするには
ここをタッチ

〈全体表示〉

ワイド表示にするには
ここをタッチ

カメラの向きを上下左右に動かす（パン・チルト：VL-CM210のみ）

映像にタッチして、カメラの向きを変えることができます。

カメラを向けたい位置をタッチする

● この操作でカメラの向きを変えても、画面を終了すると、元の位置に戻ります。

● カメラが戻る位置を変更するには、カメラの向きを変えたあと、その位置をホームポジションとして登録してください。（☞ 57ページ）

カメラからお知らせ音を鳴らす

必要に応じて、カメラから「お知らせ音」を鳴らすことができます。

[音でお知らせ]をタッチする

（例：モニター中）

お知らせ

- カメラの機能設定の「お知らせ音設定」に従って音が鳴ります。（☞ 61ページ）
  音量や音の種類を変えるには、設定を変更してください。

ホームポジションを登録する（VL-CM210のみ）

センサー反応時やカメラモニター時に最初にカメラを向ける位置をホームポジションとして登録できます。

1 **パン・チルト操作（☞ 56ページ）で登録したい位置を表示させる**

2 登録したい位置を表示中に
[メニュー]をタッチする

（例：モニター中）

3 メニュー｜暗く 明るさ 明るく｜ポジション登録

[ポジション登録]をタッチする

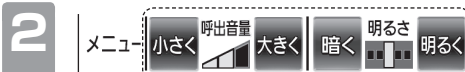
- 「登録しました」と表示される

明るさや呼出音量の調整

明るさは着信中・モニター中、呼出音量は着信中に下記の操作で調整できます。

1 **[メニュー]をタッチする**

（例：着信中）

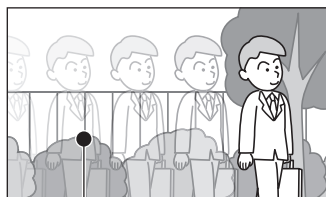
2

画面の明るさを変えるとき	[暗く] または [明るく] **タッチして調整する**
呼出音量を変えるとき（着信中のみ）	[小さく] または [大きく] **タッチして調整する** **「切」（鳴らない）にするには** 呼出音量 切 となるまで **[小さく]** をタッチし続ける ●「切」の解除 ➔ **[大きく]** をタッチする

カメラ映像の録画について

カメラ映像は、SDカードに動画で録画できます。（ドアホン映像と合わせて最大3000件）

● 録画の再生・画像検索・保護・消去のしかたは、ドアホン録画と同じです。（☞ 36〜40ページ）

センサー反応時の映像を自動で録画する（カメラ検知自動録画）

センサーが反応すると、反応時のカメラ映像を自動で録画します。
（☞ 93ページ「カメラ検知自動録画」：お買い上げ時の設定「する」）

お知らせ

● 「戻って再生」（☞ 54ページ）をした場合、モニター応答していなくても、録画した画像は確認済み扱いになります。

● **カメラが複数あるとき**
着信が重なった場合でも、複数のカメラの映像を同時に録画できます。
ただし、映像の更新速度は遅くなります。

モニター映像を手動で録画する

モニター時の映像を、必要に応じて手動で録画する機能です。

録画中は **録画●** が表示される

モニター映像を表示中に

[録画]をタッチする

● 最大約30秒の動画をSDカードに録画

カメラの機能を変える（機能設定一覧）

使いかたに合わせて、カメラの機能を変更できます。

● 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

ご使用の機種によっては一部の機能設定ができません。（カメラ側に機能がないため）
設定できる機能や各機能の詳細などは、カメラの説明書をお読みください。

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**［設定/情報］** ➡ **［設定を変更］** ➡ **［接続機器の設定］** ➡ **［カメラ］**

➡ 設定するカメラ番号を選ぶ(1～4) ➡ **項目名**（「センサー設定」など） ➡ **機能名**（「動作検知感度」など）

➡ 設定内容を選ぶ ➡ 終わったら、［終了］を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 センサー設定

［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
センサー選択	**［ダブルセンサー］**、 **外部センサー** 、 **OFF**（センサー反応しない） ● カメラの人感(熱)センサーや動作検知を使うときは「ダブルセンサー」、カメラのセンサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは「外部センサー」を選ぶ
人感(熱)センサー感度	**高感度** 、 **［標準］**、 **低感度** 、 **超低感度** 、 **検知しない** ● 反応しにくいときは「高感度」、反応しすぎるときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ
動作検知感度	**高感度** 、 **［標準］**、 **低感度** 、 **超低感度** ● 小さな動作も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ

カメラの機能を変える 機能設定一覧（つづき）

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **[接続機器の設定]** → **[カメラ]**

→ 設定するカメラ番号を選ぶ（1～4） → **項目名**（「画面設定」など） → **機能名**（「明るさ」など）

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、終 了 を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 センサー設定

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
動作検知範囲 VL-CM210は設定できません	●動作を検知しない範囲（エリア）を選ぶ（「×」部分は検知しない） カメラ１／センサー設定／動作検知範囲 動作を検知しないエリアをタッチし設定してください × × × 設定する 戻る **〈設定のしかた〉** ① 検知させたくないエリアをタッチして「×」にする（再度タッチをすると「×」が消える） ② **[設定する]**をタッチする 画面の範囲はイメージで実際の検知範囲とは異なります。設定後にカメラ映像を見ながら確認してください。
カメラ調整モード（設置確認画面）	**通常は「OFF」にしておいてください** **ON（カメラ設置調整用）、OFF（通常）** ●カメラを設置するときなど、カメラのセンサー検知範囲を確認するときに「ON」を選ぶ •「ON」を選ぶと、センサー検知してもドアホン親機や子機への通知（呼出音と映像表示）がされなくなります ➔ **カメラの調整が終わったら、必ず「OFF（通常）」に戻してください**
録画のテスト	●センサー検知時の撮影範囲を確認する（☞ 52ページ）

画面設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
明るさ	（映像が暗くなる） −4、−3、−2、−1、0（標準）、+1、+2、+3、+4 （映像が明るくなる） ●カメラ映像の明るさを調整する
逆光補正	ON 、OFF ●逆光補正をするときは、「ON」を選ぶ
照明 ライト付きのカメラのみ設定できます	自動（暗いあいだずっと点灯）※1、検知時のみ（いつでも）※2、検知時のみ（暗いときのみ）※3、検知（いつでも）＋モニター（暗いとき）※4、検知（暗いとき）＋モニター（暗いとき）※5、消灯 ※6 ●ライト付きカメラの場合に、ライトを点灯させる条件を選ぶ ※1：カメラの「明るさセンサー」で明るさを検知し、暗くなると自動的に点灯し続ける ※2：センサー検知時に、明るさに関係なく点灯する ※3：センサー検知時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ※4：センサー検知時は明るさに関係なく点灯し、モニター時はカメラ周辺が暗いと点灯する ※5：センサー検知やモニター時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ※6：常時消灯
カラーナイトビュー	利用しない 、自動設定 ●カメラ周辺が暗いときに、自動設定で映像を明るくするか、しないかを選ぶ

お知らせ音設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
お知らせ音入切	ボタン押下時と検知時に鳴る 、ボタン押下時だけ鳴る、検知時だけ鳴る 、 お知らせ音は鳴らない ●お知らせ音ボタン（ドアホン親機は[音でお知らせ]ボタン）を押したときや、センサー検知時に、カメラ側でお知らせ音を鳴らすかどうかを選ぶ
お知らせ音音量	大きめ 、標準、 小さめ ●お知らせ音の音量を選ぶ
お知らせ音種類	ピポ ピポ ピポ、 プルルルル プルルルル 、 ポゥ ポゥ ポゥ ポゥ 、わん わん 、 わん わん わん わん ●お知らせ音の種類を選ぶ

カメラの機能を変える (機能設定一覧) (つづき)

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **[接続機器の設定]** → **[カメラ]**

→ 設定するカメラ番号を選ぶ（1～4） → **項目名**（「その他の設定」など） → **機能名**（「プライバシーボタン」など）

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終 了] を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 カメラ情報

機能名	設定内容など
カメラ詳細情報	●カメラの機器名、型番、モデル名、製造元、MACアドレスを確認できる ●ドアホン親機とカメラの接続に異常があるときは、機器の状況（異常の内容）も表示される
カメラアドレス	●カメラのIPアドレス、自己診断情報、ステータス情報を確認できる
カメラ検知履歴	●センサーの検知履歴（最大27件）を確認できる

項目名 その他の設定

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
カメラ登録モード入	**登録モードにする** 、 **通常モードにする** ●カメラをテレビなどのほかの機器に登録するとき、「登録モードにする」を選んで一時的にカメラを登録モードにする （この設定をすると約5分間登録モードになり、その後、通常モードに戻る）
プライバシーボタン VL-CM210のみ	[**有効**]、 **無効** ●カメラのプライバシーボタンを押しても、かくれンズに設定できないようにするときは、「無効」を選ぶ
カメラ再起動	●カメラを再起動させる
設定と登録の初期化	●カメラの設定内容と登録情報を初期化し、お買い上げ時の状態に戻す （ドアホン親機からカメラの登録も解除されます）

テレビやレコーダーとの連携について

対応のテレビやレコーダーと連携すると、ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画することができます。

● **連携できるテレビは2台、レコーダーは1台のみ。対応機種の一覧は（☞ 4ページ）**

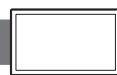
連携するには、LANケーブルによる接続と登録操作が必要です。

連携するまでの流れ

1	**接続例を確認し、ドアホン親機と接続する** ●テレビやレコーダー側の接続についての詳細は、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。	☞ 49ページ
2	**■テレビの場合** **①ドアホン親機をテレビに登録する** **②テレビで「ビエラリンク表示設定」をする** **■レコーダーの場合** **ドアホン親機をレコーダーに登録する**	☞ 64ページ ☞ 65ページ ☞ 66ページ
3	**テレビやレコーダーで、動作を確認する**	☞ 67ページ

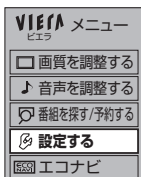
他機器との連携

テレビでドアホン映像を表示できるようにするには

ドアホン親機をテレビに登録する

接続が終わったらテレビの電源を入れ、3分以上経過してから下記の登録操作を始めてください。

●テレビの操作はTH-P50VT3(VT3シリーズ)の例です。テレビの取扱説明書もお読みください。

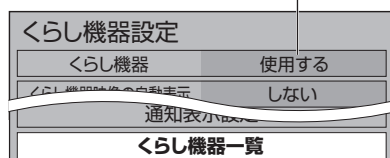
テレビの操作

1 テレビのリモコンで
[メニュー]を押して、[▼][▲]で「設定する」を選び、[決定]を押す

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「ネットワーク関連設定」を選び、[決定]を3秒以上押す**

4 **[▼][▲]で「くらし機器設定」を選び、[決定]を押す**

5 **[▼][▲]で「くらし機器一覧」を選び、[決定]を押す**

●「くらし機器」の項目が「使用する」のときに操作できます

ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

6 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

子を見る　話す　モード
録画の一覧　設定/情報　お手入れ　終了

7 **[設定を変更]をタッチする**

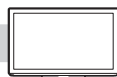
ドアホン親機の操作(つづき)

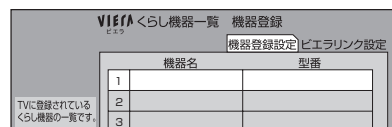
8 **[登録/減設]をタッチする**

9 **[登録]をタッチする**

10 **画面右端の ▼ をタッチしたあと、[AV機器]をタッチする**

●登録モードになる

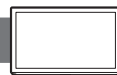
続けて、約5分以内に手順11、12の操作をする

テレビの操作

11 テレビのリモコンで**[緑]ボタンを押す**

12 **くらし機器の新規登録画面が出たら、[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す**

●登録が完了すると、手順11の画面にドアホン親機の情報が表示される

13 終わったら、**[元の画面]を押す**

14 **ドアホン親機の 終了 を押す**

● 「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見るには (ビエラリンク表示設定) ●

テレビの「ビエラリンク」メニューから、必要なときにドアホン映像を見るための設定です。
登録後(☞ 64ページ)に行ってください。

●テレビの操作はTH-P50VT3(VT3シリーズ)の例です。テレビの取扱説明書もお読みください。

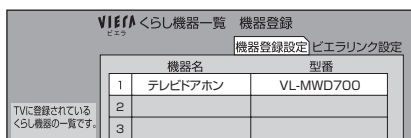
テレビの操作

1 **64ページの手順1～5を行い、テレビに「くらし機器一覧」画面を表示させる**

VIERA ビエラ くらし機器一覧　機器登録

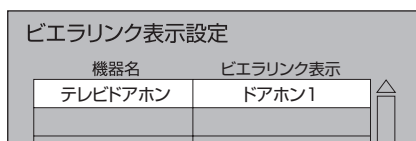
機器登録設定　ビエラリンク設定

TVに登録されている くらし機器の一覧です。

	機器名	型番
1	テレビドアホン	VL-MWD700
2		
3		

2 テレビのリモコンで
[赤]ボタンを押す

●「ビエラリンク設定」画面になる

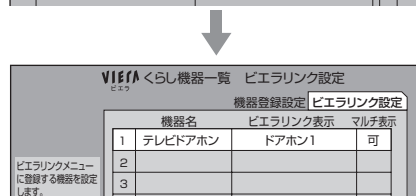
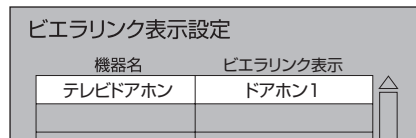
3 **[緑]ボタンを押す**

●設定できる機器の一覧が表示される

4 **[▼][▲]で「ビエラリンク」メニューに表示させたいドアホンを選び、[決定]を押す**

VIERA ビエラ くらし機器一覧　ビエラリンク設定

機器登録設定　ビエラリンク設定

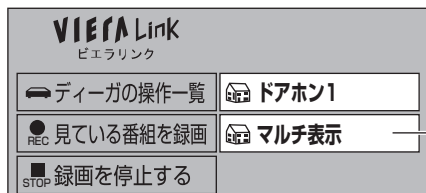
ビエラリンクメニューに登録する機器を設定します。

	機器名	ビエラリンク表示	マルチ表示
1	テレビドアホン	ドアホン1	可
2			
3			

●選択したドアホンが、「ビエラリンク」メニューに追加される
●終わったら、**[元の画面]**を押す

お知らせ

●「ビエラリンク」メニューに設定できる台数やメニューからの削除のしかたは、テレビの取扱説明書をお読みください。

「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見る

① テレビのリモコンで
[ビエラリンク]を押す

② **[▼][▲][◀][▶]で映像を見たいドアホンを選び、[決定]を押す**

■ ドアホンの映像について

●動画ではありません。(約1秒ごとに更新)
使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。

●マルチ表示対応のテレビにカメラも登録している場合、ドアホンとカメラの映像をマルチ画面で表示できます。(表示できるドアホン映像は「ドアホン1」のみ)

レコーダーでドアホン映像を録画できるようにするには

ドアホン親機をレコーダーに登録する

接続が終わったらレコーダーとテレビの電源を入れ、入力をレコーダーとの接続に合わせて切り換えておいてください(ビデオ1など)。(登録操作はレコーダーが停止中に行ってください)
●レコーダーの操作はDMR-BZT700の例です。レコーダーの取扱説明書もお読みください。

レコーダーの操作

1 レコーダーのリモコンで
[スタート]を押して、[▼][▲]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

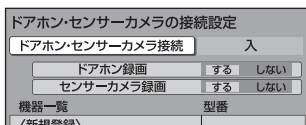
3 **[▼][▲]で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定]を押す**

4 **[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、[決定]を押す**

5 **[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、[決定]を押す**

ドアホン・センサーカメラの接続設定	
ドアホン・センサーカメラ接続	入
ドアホン録画	する しない
センサーカメラ録画	する しない
機器一覧	型番
〈新規登録〉	

6 **[▼][▲]で「入」を選び、[決定]を押す**
●メッセージを確認したら[戻る]を押す

7 **[▼][▲]で「〈新規登録〉」を選び、[決定]を押す**

ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

8 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

ドアホン親機の操作(つづき)

9 **[設定を変更]をタッチする**

10 **[登録/減設]をタッチする**

11 **[登録]をタッチする**

12 **画面右端の ▼ をタッチしたあと、[AV機器]をタッチする**
●登録モードになる

続けて、約5分以内に手順13の操作をする

レコーダーの操作

13 レコーダーのリモコンの
[▼][▲]で「する」を選び、[決定]を押す
●登録が完了すると、「登録が完了しました」と表示され、レコーダーの本体表示窓の"⌂ "が点灯する

14 **[戻る]を数回押して、設定を終了する**

15 **ドアホン親機の 終了 を押す**

テレビやレコーダーで動作を確認する

登録が終わったら、テレビやレコーダーで下記の準備を行い、正しく動作するか確認してください。

テレビ　：くらし機器を使用する設定にしておく/テレビ放送を表示する
レコーダー：ドアホン録画ができる設定にしておく(本体表示窓の“ ”が点灯する)
● **設定を確認したら、レコーダーの電源は切っておいてください。**

■ 確認のしかた

ドアホンの呼出ボタンを押す

ピーンポーン

ドアホン親機

(ドアホンの映像が送信される)

テレビの場合(例)

画面に通知メッセージが表示される

ドアホン1からの来客通知です。
リモコンの「決定」で表示　「戻る」で表示消去

テレビのリモコンで

[決定]を押す

ドアホン1

リモコンの
「決定」で全画面表示
「戻る」で表示終了

● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

レコーダーの場合(例)

録画が終了すると、
本体表示窓の“ ”が点滅する

ここでレコーダーとテレビの電源を入れ、入力をレコーダーとの接続にあわせて切り換える(ビデオ1など)

画面に通知メッセージが表示される

案内に従って、レコーダーのリモコンで操作する

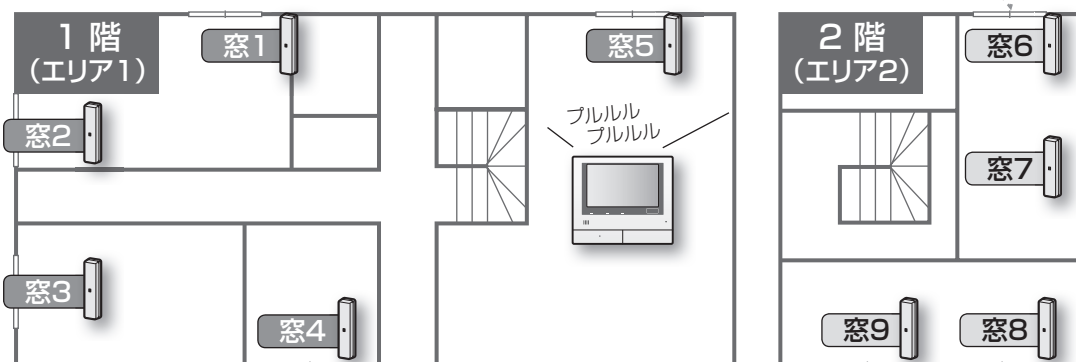
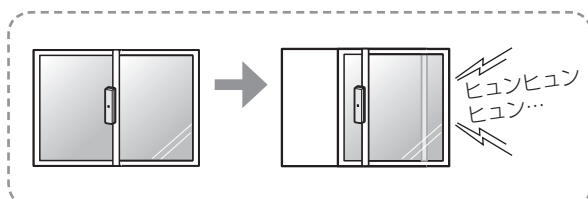
● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

お知らせ

- テレビやレコーダーの表示や操作について詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。
- テレビに表示されるドアホンの映像について(☞ 65ページ)
- レコーダーでの録画は最大約30秒です。レコーダーのみを登録してご使用の場合、ドアホンの映像は約0.1秒ごとに更新しながら録画されますが、登録されたテレビの台数や使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。
- ドアホン親機で、テレビやレコーダーの情報(MACアドレスやドアホンからの着信通知状況)を確認することもできます。(☞ 97ページ「登録機器一覧」)

窓センサーとの連携について

対応の窓センサーと連携すると、窓の開閉状態などを一覧で見ることができます。また、窓が開いてセンサーが反応したときに、ドアホン親機や子機に音や表示でお知らせします。

- 「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用して、窓センサーの反応通知を携帯電話に送ることもできます。(☞ 74～77ページ)
- **連携できる窓センサーは20台まで。**(3つの設置エリアに分けて管理できます)
  対応機種の一覧は(☞ 4ページ)
- **連携するには登録操作が必要です。**

連携するまでの流れ

1	窓センサーをドアホン親機に登録する	☞ 69ページ
2	窓センサーの設置場所で、ドアホン親機との電波状態(電波レベル)を確認し、できるだけ電波の強いところに窓センサーを設置する	☞ 窓センサーの取扱説明書
3	設置場所の窓を開けて、ドアホン親機に通知されるかを確認する	☞ 72ページ

窓センサーをドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約5分以内に窓センサーを操作してください。

- 同時に複数の窓センサーを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- **操作の前に、登録する窓センサーの本体カバーと電池カバーを開け、電池を外しておいてください。**

ドアホン親機の操作

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 [設定を変更]をタッチする

3 [登録/減設]をタッチする

4 [登録]をタッチする

5 画面右端の ▼ をタッチしたあと、[窓センサー]をタッチする

前/次ページへ

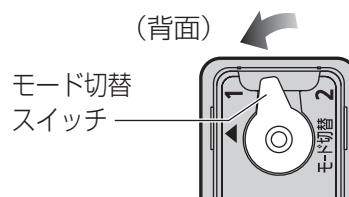
6 登録する窓番号を選んでタッチする

7 [次へ]をタッチしたあと設置エリアを選んでタッチする

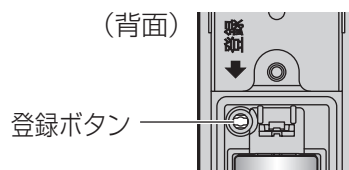
続けて、約5分以内に窓センサーを操作する

登録する窓センサーの操作

8 **① モード切替スイッチを「モード1」にする**

（背面）

② 電池を入れ、2分以内に登録ボタンを先端の細いもので3秒以上押す

- 電池を入れても「ピッ」と鳴らないときは（☞ 窓センサーの取扱説明書）
- 「ピッ ピッ ピッ」のあと、「ピー」と約1秒間鳴ったら登録完了

（背面）

9 終わったら、
ドアホン親機の 終 了 を押す

お知らせ

- 窓センサーの取扱説明書も、よくお読みください。
- 窓センサーを設置した場所がわかるように、設置した場所のエリア名を登録したり、設置エリアを変更できます。（☞ 70、97ページ）

窓センサーとの連携について（つづき）

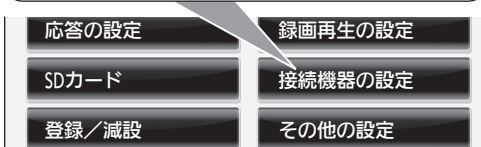
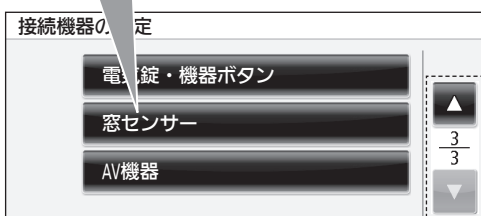
エリアを変更するとき

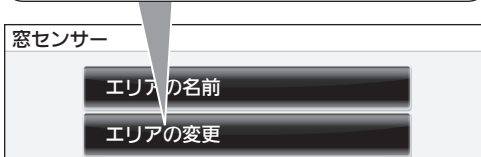
ドアホン親機に登録するときに選んだ窓センサーのエリアは、設置場所に応じて、下記の手順で変更できます。

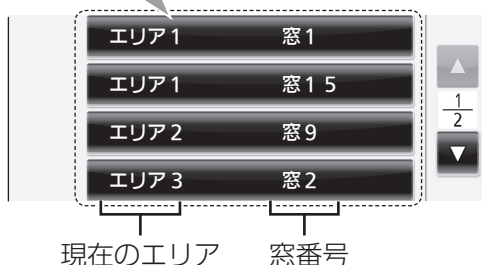
1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[接続機器の設定]をタッチする**

応答の設定	録画再生の設定
SDカード	接続機器の設定
登録／減設	その他の設定

4 **画面右端の ▼ を2回タッチしたあと、[窓センサー]をタッチする**

前/次ページへ

5 **[エリアの変更]をタッチする**

6 **エリアを変更したい窓センサー（窓番号）をタッチする**

現在のエリア　窓番号

7 **変更先のエリアをタッチする**

現在の設定値

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

8 終わったら、[終 了] **を押す**

窓の開閉状態を確認する（センサー情報を見る）

くらしモードの「センサー情報」画面で、現在の窓の開閉状態を確認できます。
また、必要に応じて、窓センサーが反応したときの履歴を確認することもできます。

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする

2 **[センサー情報]をタッチする**

● エリアごととの窓の開閉状態がまとめて表示される

（例）

くらしモード　センサー情報

エリア 1	すべて　ー閉ー	
エリア 2	◆開◆　電池切れ　圏外	あり
エリア 3	すべて　ー閉ー	

3 各エリア内の詳細を見たいときは、
見たいエリアをタッチする

（例）

● 指定したエリア内の状態が表示される

前/次ページへ

4 確認が終わったら、
ドアホン親機の [終 了] を押す

■ 窓の状態表示について

すべて ー閉ー	すべての窓が閉まっている状態	**圏外**	電波が届いていない状態 ➔ 窓センサーの電波状態（電波レベル）を確認してください （☞ 窓センサーの取扱説明書）
ー閉ー	窓が閉まっている状態		
◆開◆	窓が開いている状態	**電池切れ**	電池の交換が必要な状態 ➔ 電池を交換してください

窓センサーの反応履歴を見る

① **上記の手順 1、2 を行う**

② **[履歴表示]をタッチする**

（最新情報を99件まで記憶）

前/次ページへ

窓が開いたとき（報知レベルと動作について）

窓が開いたとき（窓センサー反応時）の動作は、報知レベルによって異なります。この報知レベルは、くらしモード（在宅/夜間/外出）で切り替えることができます。（☞ 41、42ページ）

報知レベル	窓が開いたときの動作	
	本 機	窓センサー
高 い くらしモードを **外出モード**に 設定したとき※	プルルルル プルルルル 窓が開きました エリア1　窓1 お知らせランプ点滅 ●音と表示でお知らせ（約3分） 音量：「大」（固定） ●ドアホン通話中や室内通話中は、通話が切れます。	ヒュンヒュン ヒュン… ●音でお知らせ（約30秒） 音量：「大」（固定）
低 い くらしモードを **在宅モード** または **夜間モード**に 設定したとき※	ポンポン ポンポン 窓が開きました エリア1　窓1 ●音（約3秒）と表示（約10秒）でお知らせ 音量：「小」 （「切」にもできます ☞ 88ページ） ●ドアホン通話など、ほかの操作は中断されません。	ピーピー ピーピー ●音でお知らせ（約3秒） 音量：「小」（固定）
OFF	●動作しません。 （センサー反応の履歴は残ります）	●動作しません。

※ 在宅/夜間/外出モードでの報知レベルの設定は、変更することもできます。（☞ 44ページ）
上記はお買い上げ時の設定でモードを切り替えたときのものです。

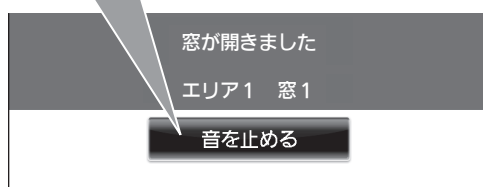
■光るチャイムやメロディサインなどを本機に接続しているとき

報知レベルを「高い」にすると、窓センサーが反応したときに本機に連動します。

■「みえますねっとLite」サービス（有料）を利用しているとき（☞ 74〜77ページ）

報知レベルを「高い」にすると、窓センサーが反応したときに携帯電話にも通知を送ることができます。

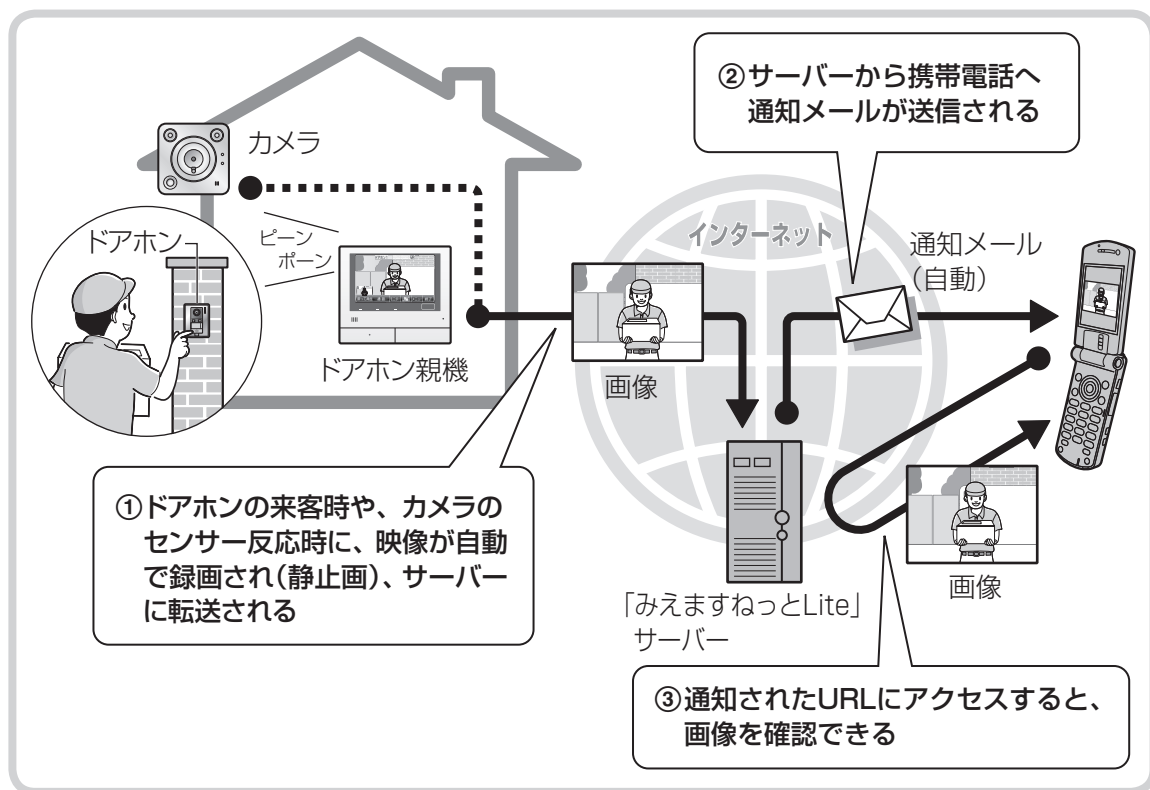
窓が開いたときの動作(音や表示)をすぐに終了したいとき

報知レベルが「高い」ときは、本機で約3分、窓センサーで約30秒、音が鳴り続けます。
(窓を閉めても音は止まりません)
ドアホン親機や子機のどちらかで下記の操作をすると、本機と窓センサーの両方の動作を終了できます。

お知らせ

● お知らせランプの点滅は、センサー反応時の音や表示を手動で終了しても消えません。トップメニューを表示して、お知らせを確認してください。(☞ 86ページ)
● 窓センサーの反応履歴(最新情報を99件まで)をあとで確認することもできます。(☞ 71ページ)
● 子機の動作について詳しくは(☞「子機編」52、53ページ)

携帯電話との連携について 「みえますねっとLite」サービス

「みえますねっとLite」は、ドアホンやカメラの画像（自動録画した静止画）を携帯電話で見ることができるサービス（有料）です。
ドアホン親機やカメラをこのサービスに申し込むと、下図のように連携できます。

- **連携できる携帯電話は1つの契約で4台まで。対応できる機種は（☞ 4ページ）**
- **サービスの詳細など、添付の「みえますねっとLiteガイド」もお読みください。**

■ サービスを利用するには（システム環境について）

市販のLANケーブルを使って、ドアホン親機やカメラをブロードバンド環境でインターネットに接続しておく必要があります。（接続例は ☞ 49ページ）

インターネットに接続するには、お使いの環境により、ブロードバンドルーターのDHCP機能を「有効」に設定するか、99ページの「PCモード起動（固定IP設定用）」でドアホン親機のIPアドレスを適切な固定IPアドレスに変更してください。

■ サービスの利用申し込みについて

- ドアホンの画像を携帯電話で見たいとき ➔ 「ドアホン親機」をサービスに登録する
- カメラの画像を携帯電話で見たいとき ➔ 「カメラ」をサービスに登録する

1つの契約で、**ドアホン親機とカメラを合わせて5台まで登録できます。**（2012年2月現在）

お知らせ

- ドアホン親機を窓センサー（☞ 68ページ）や警報器（☞ 80ページ）と連携している場合、「ドアホン親機」をサービスに登録すると、窓センサーなどの反応を携帯電話に通知することもできます。（☞ 77ページ「外部入力・窓センサーの通知」の設定）

ドアホン親機やカメラをサービスに申し込む(登録)

申し込む(登録する)機器をインターネットに接続後、携帯電話とドアホン親機で操作を行います。
●カメラ(ドアホン親機に登録済み)の申し込みも、ドアホン親機を使って行えます。

携帯電話の操作

1 申し込みたい機器にはり付けられたQRコードを携帯電話で読み取り、
サービス申し込みページへアクセスする

2 携帯サイトの案内に従って、携帯電話を操作する
●途中でドアホン親機の操作が必要になります。下記の手順3~8を行ってください

ドアホン親機の操作

3 トップメニューで
[設定/情報]をタッチして、[設定を変更]をタッチする

4 [その他の設定]をタッチして、[みえますねっとLite]をタッチする

5 申し込む機器を選んでタッチする

ドアホン親機の操作(つづき)

6 [みえますねっとLite登録]をタッチする

7 [はい]をタッチする

8 [はい]をタッチする
●申し込む機器の画像が、テスト用として専用サーバーに送信される

携帯電話の操作

9 引き続き携帯電話を操作して、申し込みを完了させる
●携帯電話に契約完了のメールが送信される

申し込みが終わったら

77ページの「みえますねっとLite情報表示」画面を表示させ、利用状況が「契約中」になっていることを確認してください。
●「契約中」になるまで(最大約10分)は、来客やセンサー反応があっても、サーバーへの画像送信を行いません。

■ドアホン親機やカメラ本体(または送電装置)にはり付けられたQRコードがないとき (下記のQRコードからアクセスしてください)

• ドアホン親機
• カメラ

■QRコードを読み取れない携帯電話をご使用のとき

➔下記の携帯電話専用の申し込みページからアクセスしてください。
• ドアホン親機(https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do)
• カメラ (https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do)

どちらも、途中でドアホン親機またはカメラ本体のMACアドレスの入力が必要です。MACアドレスは下記で確認できるので、事前にメモを取ってから、申し込み操作をしてください。
• ドアホン親機:
98ページ「ネットワーク情報」
• カメラ:
62ページ「カメラ詳細情報」

「みえますねっとLite」サービスの 設定変更や利用状況の確認

サービスに登録した機器(ドアホン親機、カメラ1～4)ごとに、設定変更や利用状況の確認ができます。
操作はすべてドアホン親機で行います。

操作のしかた (タッチして操作します)

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **[その他の設定]**

→ **[みえますねっとLite]** → 設定する機器を選ぶ(ドアホン親機、カメラ1～4) → **機能名**(「みえますねっとLite設定」など)

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終 了]を押す

機能によっては操作を繰り返す

■ドアホン親機・カメラ共通機能　　[　　]のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
みえますねっとLite設定	**利用する** 、 **[利用しない]** ●「利用する」：サービスを利用するときに選ぶ (75ページのサービス申し込みの際、ドアホン親機で「みえますねっとLite登録」の操作をすると、自動的に「利用する」に変更されます。) ●「利用しない」※1：ドアホンの来客時またはカメラのセンサー反応時の画像を「みえますねっとLite」サービスのサーバーに転送させたくない場合※2や、サービスを解約した場合に選ぶ
みえますねっとLite解除	●このドアホン親機またはカメラで「みえますねっとLite」サービスを利用しなくなった場合など、「みえますねっとLite」サービスからこのドアホン親機またはカメラの登録を解除する ・複数のドアホン親機またはカメラをご利用の場合、解除したドアホン親機またはカメラ以外は引き続き利用することができます。

※1 **この設定をしても、「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。**
契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。
● **解約は、携帯電話で下記の「みえますねっとLite」サービスのウェブサイトにアクセスして行ってください。**
- **ドアホン親機(https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do)**
- **カメラ　(https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do)**

※2 再度、ドアホン画像またはカメラ画像を転送させたい場合は、「利用する」に設定してください。

■ドアホン親機・カメラ共通機能

<table>
<tr><th>機能名</th><th>設定内容など</th></tr>
<tr><td>みえますねっと
Lite情報表示</td><td>●「みえますねっとLite」サービスの現在の利用状況（契約状態／更新時間／ビジー時間）を表示する
• 契約状態　：ドアホン親機またはカメラの申し込み（契約）状態を表示します。
<table>
<tr><td>—</td><td>「利用しない」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>未契約</td><td>契約（ドアホン親機またはカメラの登録）をしていない状態です。</td></tr>
<tr><td>契約中</td><td>契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。</td></tr>
<tr><td>仮契約</td><td>仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。</td></tr>
<tr><td>契約期限切れ</td><td>契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。</td></tr>
</table>
• 更新時間　：接続確認のため、ドアホン親機またはカメラが「みえますねっとLite」サーバーと定期通信を行う間隔を表示します。
• ビジー時間：「みえますねっとLite」サーバーに保存できる枚数を超えたときに、再度、保存できるようになる時間を表示します。</td></tr>
</table>

■ドアホン親機のみの機能

［網掛け］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

<table>
<tr><th colspan="2">機能名</th><th>設定内容など</th></tr>
<tr><td rowspan="2">外部入力・窓センサーの通知</td><td>外部入力</td><td>［送る］、送らない
●ドアホン親機を警報器（火災・地震）やコール機器と連携してご使用の場合、警報器の反応やコール機器からの呼び出しを携帯電話にメッセージで送るかどうかを選ぶ
（メッセージの例）
警報器が
反応しました</td></tr>
<tr><td>窓センサー</td><td>［送る］、送らない
●ドアホン親機を窓センサーと連携してご使用の場合、窓が開いたことを携帯電話にメッセージで送るかどうかを選ぶ
（窓センサーの報知レベルが「高い」設定のときのみ通知されます）
（メッセージの例）
エリア1
窓11
開きました</td></tr>
</table>

電気錠やエアコンなどと連携して使う

電気錠やエアコンなど(JEM-A対応機器)を本機と接続して下記の設定で連携すると、ドアホン親機や子機で各機器の操作(施錠/解錠やON/OFF)ができます。

- **連携できる電気錠などは2台まで。対応機種は(****☞ 5ページ****)**
- 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

ドアホン親機で電気錠・機器ボタンの設定をする

- お買い上げ時の設定：「なし」(未登録)

1 トップメニューで **[設定/情報]をタッチする**

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[接続機器の設定]をタッチする**

4 **画面右端の ▼ を2回タッチしたあと、[電気錠・機器ボタン]をタッチする**

前/次ページへ

5 **登録先の機器番号をタッチする**

6 **登録する機器名をタッチする**

(例)

現在の設定値

「電気錠」：電気錠の施錠/解錠
「機器」　：エアコンなどの機器のON/OFF

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、［終　了］ **を押す**

設定が終わると、画面の表示が下記のように変わります（例：電気錠2台を登録）

ドアホン親機のトップメニューやドアホン着信画面などで、**[終了]**ボタンが**[電気錠]**などの操作ボタンに変わります。

(例：トップメニュー)

1 2 電気錠

登録した機器名を表示

登録機器名	表示
電気錠のみ	電気錠
機器のみ	機器
電気錠と機器	錠・機器

機器番号
(登録した番号のみ表示)

子機では、下記のマークが表示されます。

(例：待ち受け画面)

機器 1 2

機器番号
(登録した番号のみ表示)

ドアホン親機で電気錠・機器を操作する

操作できる場面	■ドアホン着信中・通話中・モニター中 ■カメラ着信中・モニター中 ■トップメニュー表示中

● 下記の画面は、電気錠を2台登録してご使用の場合の例です。

（例：ドアホン通話中）

（例：トップメニュー表示中）

電気錠やエアコンなどの機器を操作（施錠/解錠またはON/OFF）したいときに

ここをタッチする

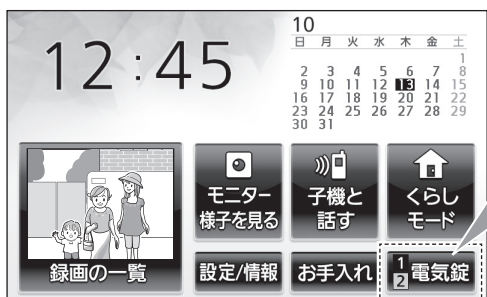
操作できる機器が2台あるとき

どちらかを選んでタッチする

（例：電気錠が２台あるとき）

現在の状態

（例：エアコンなどの機器が2台あるとき）

現在の状態

操作すると、電気錠・機器の状態表示が下記のように変化します

- **電気錠・機器1を施錠またはONにしたとき**

緑になる

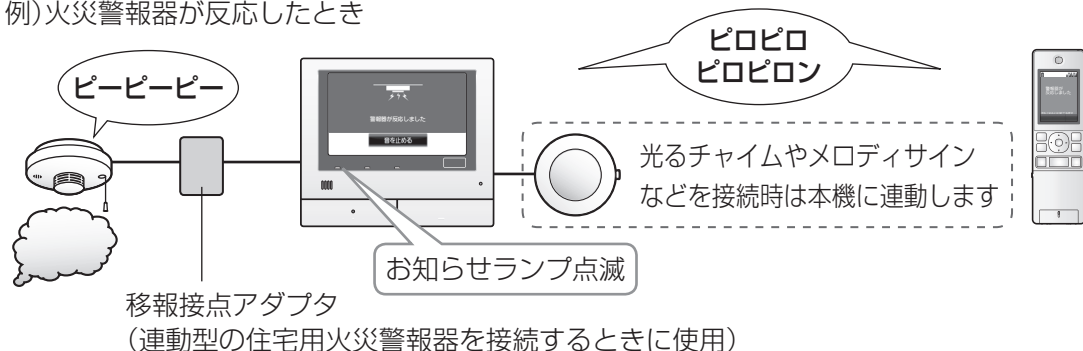
- **電気錠・機器1を解錠またはOFFにしたとき**

黒になる

● 子機の操作については（☞「子機編」56ページ）

電気錠やエアコンなどと連携して使う

警報器(火災・地震)やコール機器と連携して使う

警報器とコール機器のどちらかを接続したときは、ドアホン親機での**「外部入力」設定**(☞ 96ページ)**が必要です。**設定すると、警報器の反応やコール機器からの呼び出しの際、ドアホン親機や子機にも下記のようにお知らせします。

- **火災警報器は、ドアホン親機から約1 m以上離して設置してください。**
- 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。
- 通知音と画面表示は、警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終わるか、最大3分経過すると自動的に終了します。

■**通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

〈ドアホン親機〉**[音を止める]**をタッチする
〈子　機〉終了 を押す

どちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

- コール機器をご使用の場合、通知音と画面表示をすぐに終了したいときは下記の操作をしてください。
  ➔〈ドアホン親機〉**[終了]**をタッチする
  〈子　機〉終了 を押す

■**通知音と画面表示について**

接続機器	通　知　音	画面表示
警報器	ピロピロピロピロン 音量:「大」(固定)	警報器が反応しました
コール機器	プップー・プップー 音量:「大」(「小」「切」にもできます☞ 88ページ)	コールです

■**「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用しているとき(☞ 74~77ページ)**

警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあったときに携帯電話にも通知を送ることができます。

お願い

- 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

- 通話中に警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあると、通話が切れて通知音が鳴ります。
  - 子機で通話中の場合の動作については(☞「子機編」57ページ)
- 警報器やコール機器からの通知履歴をあとで確認することもできます。(☞ 86ページ Ⓒ)

光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う

光るチャイム、メロディサイン、回転灯のいずれかを本機に接続すると、下記の場合に本機に連動します。（接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください）

①ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき（☞ 26、54ページ）
②警報器（火災・地震）の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）
③窓センサー（報知レベル「高い」）が反応したとき（☞ 72ページ）

①については、下記の設定で、連動させるドアホンやカメラを指定することもできます。

連動させるドアホンやカメラを指定する（A接点出力設定）

お買い上げ時の設定はすべて「ON」（連動させる）です。連動させたくないドアホンやカメラを選んで、設定を「OFF」にしてください。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[接続機器の設定]をタッチする**

4 **画面右端の ▼ をタッチしたあと、[A接点出力]をタッチする**

前/次ページへ

5 **連動させたくない機器をタッチする**

6 **[OFF]をタッチする**

現在の設定値

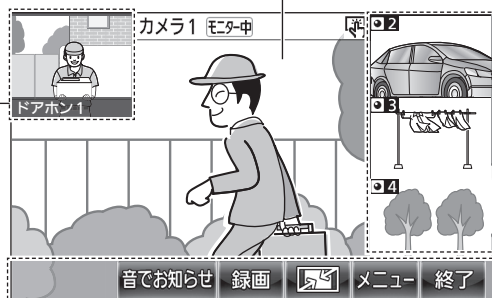
●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、
終 了 を押す

着信中・通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき

着信中・通話中・モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあったときは、
呼出音が鳴り、下記のような画面表示でお知らせします。

画面表示の例（主画面と副画面など）

(例1)カメラモニター中に別のカメラやドアホンから呼び出しがあったとき(詳しくは☞ 84ページ)

(例2)ドアホン通話中に別のドアホンから
呼び出しがあったとき
(詳しくは☞ 83ページ)

着信中のドアホンボタン
- タッチすると
  着信中のドアホンの画面に
  切り替わる

(例3)室内通話中にドアホンやカメラから
呼び出しがあったとき
(詳しくは☞ 85ページ)

着信をお知らせするボタン
- タッチすると
  着信中の機器の画面に
  切り替わる

お知らせ

- 画面表示や動作は、場面によって異なります。詳しくは83〜85ページをお読みください。
- 副画面は、[ボタン表示] をタッチすることで消すことができます。

ドアホン着信中に
別の呼び出し(着信)があったとき

- ドアホン同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先**になり画面が切り替わります。
- ドアホンとカメラの着信が重なった場合、**ドアホンが主画面、カメラが副画面**になります。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面**に並べて表示します。

別のドアホンからの着信の場合

あとから着信したドアホンの画面に切り替わる
(元のドアホン着信は終了する)

カメラからの着信の場合

着信中のカメラを副画面で表示する

副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる

ドアホンと通話中・モニター中に
別の呼び出し(着信)があったとき

- ドアホンからの着信の場合、着信中の**ドアホン名をタッチボタン**で表示します。
- カメラからの着信の場合、**着信中のカメラを副画面で表示**します。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面**に並べて表示します。

別のドアホンからの着信の場合

着信中のドアホン名をタッチボタンで表示する

ドアホンボタンをタッチすると、
着信中のドアホンの画面に切り替わる
(元のドアホン通話やモニターは終了する)

カメラからの着信の場合

着信中のカメラを副画面で表示する

■ ドアホン通話中の場合：
副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる(通話は継続する)

■ ドアホンモニター中の場合：
副画面をタッチすると、着信中のカメラの画面に切り替わる(モニターは終了する)

別の呼び出しがあったとき（つづき）

カメラ着信中に
別の呼び出し（着信）があったとき

- カメラとドアホンの着信が重なった場合、**カメラが副画面、ドアホンが主画面**になります。
- カメラ同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先（主画面）**になり、元のカメラ着信は副画面になります。

ドアホンからの着信の場合

着信中のドアホンを主画面、元のカメラ着信を副画面で表示する

副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる

別のカメラからの着信の場合

あとから着信したカメラを主画面、
元のカメラ着信を副画面で表示する

副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる

カメラモニター中に
別の呼び出し（着信）があったとき

- **着信中のドアホンやカメラを、副画面で表示**します。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面**に並べて表示します。

ドアホンからの着信の場合

着信中のドアホンを副画面で表示する

副画面をタッチすると、
着信中のドアホンの画面に切り替わる

（元のカメラモニターは終了する）

別のカメラからの着信の場合

着信中のカメラを副画面で表示する

副画面をタッチすると、
着信中のカメラの画面に切り替わる

（元のカメラモニターは終了する）

ドアホン通話転送中に 別の呼び出し（着信）があったとき

● 着信中であることを**タッチボタンで表示**します。

着信をお知らせするボタンを表示する

［ほかの着信あり］をタッチすると、通話転送が終了してドアホン通話画面に戻り、着信中の機器をタッチボタンや副画面で表示する

■別のドアホンからの着信の場合

■カメラからの着信の場合

● 上記画面での操作方法は、83ページの「ドアホンと通話中・モニター中に別の呼び出し（着信）があったとき」を参照ください。

室内通話中に 別の呼び出し（着信）があったとき

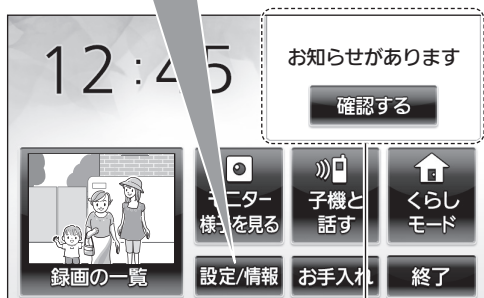
● 着信中であることを**タッチボタンで表示**します。

着信をお知らせするボタンを表示する

［ほかの着信あり］をタッチすると、着信中の機器の画面に切り替わる

（室内通話は終了する）

本機や連携機器の情報を見たいとき （情報表示画面）

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

この表示があるときは、**[確認する]**をタッチするだけで右記 Ⓐ の画面になります。

2 **[情報を見る]をタッチする**

3 **見たい情報を選んでタッチする**

4 確認が終わったら、［終 了］**を押す**

● 手順3で表示されるボタンやその詳細情報は、ご利用のシステムによって異なります。

Ⓐお知らせ画面

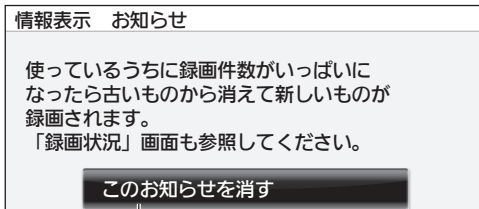
確認してほしいお知らせがあるときにその内容を表示します。

●案内に従って操作してください。

（例）

情報表示　お知らせ

使っているうちに録画件数がいっぱいになったら古いものから消えて新しいものが録画されます。
「録画状況」画面も参照してください。

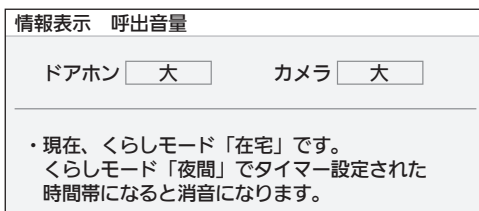
このお知らせを消す

ここをタッチすると、このお知らせが消えます。

Ⓑ呼出音量画面

ドアホンやカメラ（接続時）の、現在の呼出音量を表示します。

情報表示　呼出音量

ドアホン［大］　カメラ［大］

・現在、くらしモード「在宅」です。
　くらしモード「夜間」でタイマー設定された時間帯になると消音になります。

Ⓒ外部入力の履歴画面

警報器（火災・地震）またはコール機器との連携時、各機器からの通知履歴を表示します。（最新情報を45件まで）

情報表示　外部入力の履歴

2011/11/23 12:05 コール機器
2011/11/15　8:13 コール機器
2011/11/ 4　7:56 コール機器
2011/10/31 10:09 コール機器
2011/10/23　6:43 コール機器
2011/10/18 11:19 コール機器
2011/10/10 10:38 コール機器
2011/10/ 8 12:54 コール機器

1/2

前/次ページへ

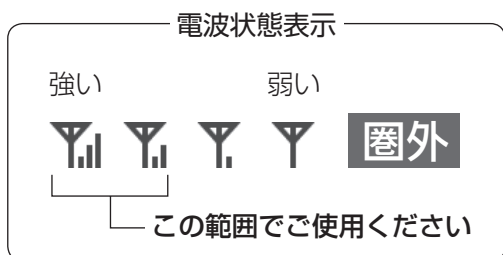
Ⓓ接続状態画面

①
②
③
① ワイヤレスアダプター機能(☞ 48ページ)で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を表示する

電波状態表示

強い　弱い

圏外

この範囲でご使用ください

●「圏外」のときは**電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません**
このとき画面は下記のようになります

詳しくは(☞ 133ページ)

② カメラを接続してご使用のとき、各カメラとの通信状態を表示する

○1 ─ カメラ番号
└ 通信状態(☞ 下記)

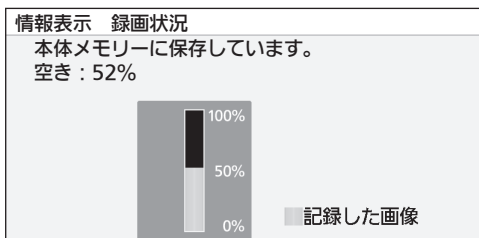
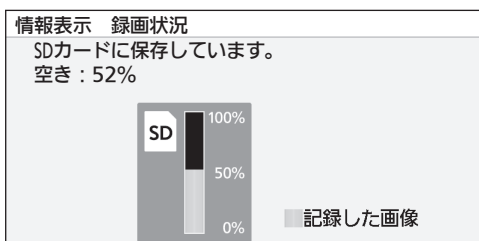
③ テレビやレコーダーを接続してご使用のとき、テレビやレコーダーとの通信状態を表示する

通信状態(☞ 下記)

○ ：通信できる状態
✕ ：通信できない状態
(接続またはテレビ/レコーダーの設定を確かめてください)
休 ：カメラのセンサー検知が休止中の状態

Ⓔ録画状況画面

現在の記録先と、その録画状況(空き容量の目安など)を表示します。

(本体メモリーの例)

(SDカードの例)

●録画がいっぱいになったとき
(☞ 34ページ)

お好み設定

呼出音量を変える

ドアホン親機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

・ドアホンからの呼び出し　：３段階＋「切」
・カメラからの呼び出し　：３段階＋「切」
・室内呼び出し（ドアホン室内呼）：３段階
・コール機器からの呼び出し　：2段階＋「切」
・窓センサー（報知レベル「低い」）からの呼び出し　：小＋「切」

1 トップメニューで **[設定/情報] をタッチする**

2 **[設定を変更] をタッチする**

3 **[呼出音の設定] をタッチする**

4 **[呼出音量] をタッチする**

5 **音量を変えたい項目をタッチする**

前/次ページへ

6 **音量を選んでタッチする**

（例）

現在の設定値

●選んだ音量で呼出音が鳴る

7 メッセージを確認して **[はい] をタッチする**

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

8 終わったら、［終　了］**を押す**

お知らせ

● ドアホン、カメラ、室内呼び出しの呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に変更することもできます。
- ドアホン着信中の操作（☞ 28ページ）
- カメラ着信中の操作（☞ 57ページ）
- 室内呼び出し着信中の操作
  ① ［呼出音量］をタッチする
  ② ［小さく］または［大きく］をタッチして調整する

お好み設定

呼出音の種類を変える

ドアホンやカメラからの呼出音の種類を変更できます。ドアホンの場合は鳴りかたの設定もできます。
●室内呼び出し(ドアホン室内呼)の呼出音は変えられません。

1 88ページの手順1～3を行う

2 [呼出音]をタッチする

3 呼出音を変えたい機器をタッチする

前/次ページへ

4 音を選んでタッチする

(例)

現在の設定値

●選んだ音が鳴る

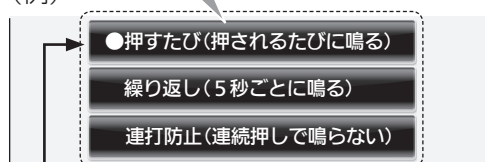
5 メッセージを確認して
[はい]をタッチする

●**ドアホンの場合**
次のメッセージが表示される(手順6へ)

●**カメラの場合**
「ピー」と鳴り、設定値が変わる(手順7へ)

6 ドアホンの鳴りかたを設定する

[了解]をタッチしたあと、
鳴りかたを選んでタッチする

(例)

現在の設定値

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、[終 了]を押す

呼出音の種類

■ **音の種類**(お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、ドアホン3「音3」、カメラ1～4「音A」)

ドアホンからの呼出音			
音1	ピーンポーン	音4	プルルルルルル…
音2	ピンポーンピンポーン	音5	ポンピンパンポン
音3	ポーンポーンポーン	音6	ピンパンピーピンパンピンポーン

カメラからの呼出音	
音A	ピポッ
音B	ポポポポポポ…
音C	ポーンポーン
音D	ピーンポーン

■ **ドアホンの鳴りかたの種類**(お買い上げ時の設定：ドアホン1～3「押すたび」)

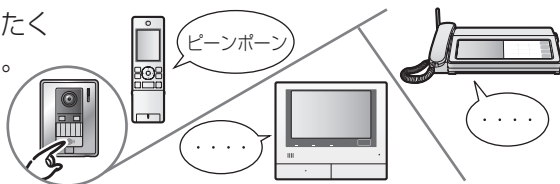
押すたび	ドアホンの呼出ボタンが押されるたびに鳴る
繰り返し※	ドアホンの呼出ボタンが押されると、約5秒間隔で繰り返し鳴る(着信終了まで)
連打防止	ドアホンの呼出ボタンが連打されても、連続して鳴らない(いたずら防止)

※ドアホン側で鳴る音や、他の機器との通話中やモニター中に鳴る音は、繰り返しません。

お好み設定

着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）

お買い上げ時、ドアホン親機や子機は、すべてのドアホンやカメラから着信する設定になっています。着信させたくない機器は、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

- 電話/ファクスやインターホンと連携しているときは、これらの機器に対してもドアホンの鳴り分け設定ができます。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[応答の設定]をタッチする**

4 **[鳴り分け]をタッチする**

5 **鳴り分けを設定する室内機器をタッチする**

電話/ファクスやインターホンの場合はここをタッチする

6 **[親機]や[拡張機器・ワイヤレスアダプター]を選んだとき**

手順7へ

[子機]を選んだとき

設定する子機をタッチする

（例：子機を6台登録している場合）

7 **着信させたくない機器をタッチする**

（例）

前/次ページへ

8 **[鳴らない]をタッチする**

現在の設定値

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

9 終わったら、［終　了］**を押す**

お知らせ

- 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
  - ドアホンとの通話中（モニター中）またはカメラモニター中
  - 室内呼び出し中、室内通話中

機能設定一覧

使いかたに合わせて、ドアホンの機能を変更できます。

●機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**［設定/情報］** → **［設定を変更］** → **項目名**（「最初の設定」など）

→ **機能名**（「着信画面設定」など） → 設定内容を選ぶ → 終わったら、終 了 を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 最初の設定

（網掛け）のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
日時設定	●現在の日付・時刻を設定する	23
ズーム位置設定	●「着信画面設定」（☞下記）を「ズーム」にしたときや、子機でドアホン映像を「ズーム」したとき、画面にどの位置をズームで映すかを設定する （ドアホン１～３で個別に設定できます）	25
着信画面設定	**ドアホン１～３： ズーム 、ワイド、 全体** ●ドアホンから呼び出されたとき（着信画面）の映像表示のしかたを選ぶ	24

項目名 呼出音の設定

（網掛け）のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
呼出音量	**ドアホン ：大、 中 、 小 、 切** **カメラ ：大、 中 、 小 、 切** **室内呼 ：大、 中 、 小** **外部入力（コール機器） ：大、 小 、 切** **窓センサー（報知レベル：低い） ：小、 切** ●ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ	88

機能設定一覧（つづき）

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **項目名**（「応答の設定」など）

→ **機能名**（「音声応答」など） → 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終 了]を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 呼出音の設定

□のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
呼出音	● ドアホンやカメラからの呼出音の種類を選ぶ（ドアホン1～3、カメラ1～4で個別に設定できます）	89
カメラ呼出一斉消音	**する**、**[しない]** ● カメラの呼出音を、ドアホン親機とすべての子機で鳴らしたくないときは「する」を選ぶ	92 上部

項目名 応答の設定

□のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
音声応答	**する**、**[しない]** ● ドアホンからの呼び出しや室内呼び出しに、[通 話]を押さずに音声で応答できるようにする（☞ 26ページ）には「する」を選ぶ • 音声応答設定後も、[通 話]を押して応答できます	92 上部
鳴り分け	**[鳴る]**、**鳴らない** ● 着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ（ドアホン親機や子機など、鳴り分けする室内機器を選んで設定します）	90
ボイスチェンジ	**[通常]**、**低め** ● ボイスチェンジしたときの声をさらに低くするには「低め」を選ぶ	92 上部

項目名 録画再生の設定

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法(ページ)
ドアホン 録画開始時間	標準(約2秒)、 **遅い** (約3秒) ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ(ドアホン１～３の個別設定はできません)	92 上部
ドアホン 着信自動録画	**ドアホン1～3：する、 しない** ● ドアホン着信時の自動録画(☞ 34ページ)をやめるときは、「しない」を選ぶ	
ドアホン 通話自動記録	**ドアホン1～3：する、 しない** ● ドアホン通話を自動的に録画・録音したいとき(☞ 35ページ)は、「する」を選ぶ	
カメラ 検知自動録画	**カメラ1～4：する、 しない** ● カメラのセンサー検知時の自動録画(☞ 58ページ)をやめるときは、「しない」を選ぶ	
録画状況確認	● 現在の記録先と、その録画状況(空き容量の目安など)を表示する (本体メモリーの例) 録画状況確認 本体メモリーに保存しています。 空き：52% 100% 50% 0% 記録した画像 (SDカードの例) 録画状況確認 SDカードに保存しています。 空き：52% SD 100% 50% 0% 記録した画像	
画像全消去 本体メモリー / SDカード	**すべての画像を消去 、 保護画像を残して消去** ● 本体メモリーまたはSDカード内の画像を、一斉に消去するときの方法を選ぶ	

機能設定一覧（つづき）

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **項目名**(「接続機器の設定」など)

→ **機能名**(「ドアホン接続」など) → 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終了]を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 SDカード

機能名	設定内容など	設定方法(ページ)
フォーマット	●他の機器で使っていたSDカードを本機で使える状態にする	107
本体からSDカードへのコピー	●本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする	108

項目名 接続機器の設定

[　]のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法(ページ)
カメラ	●カメラに関する各種設定を行う	59～62
ドアホン接続	ドアホン1：[あり]、自動判定、なし ドアホン2：あり、[自動判定]、なし ドアホン3：あり、[自動判定]、なし ●使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ	94上部

項目名 **接続機器の設定**

（網掛け）のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
ドアホンの名前	ドアホン1～3：ドアホン○（ドアホン番号（1～3））、玄関、門、勝手口 ●設置場所に応じて、ドアホン1～3の名前を選ぶ 設定した名前は、次のときに表示されます • ドアホン親機や子機で、モニター先の機器を選ぶとき • ドアホン親機で、ドアホンの着信中/通話中/通話転送中/モニター中/録画再生中	94 上部
子機の名前	子機1～6：子機、子供部屋、書斎、寝室、洋室、和室、リビング、キッチン ●設置場所に応じて、子機1～6の名前を選ぶ 設定した名前は、次のときに表示されます • ドアホン親機や子機で、室内呼び出しやドアホン通話転送の相手先を選ぶとき • ドアホン親機で、子機の着信中/通話中	
ドアホン照明自動点灯	ドアホン1～3：（来客時）する、しない （モニター時）する、しない ●来客時またはモニター時にドアホン側が暗い場合、自動でドアホンの照明（LEDライト）を点灯させるかどうかを選ぶ	

機能設定一覧（つづき）

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **項目名**（「接続機器の設定」など）

→ **機能名**（「A接点出力」など） → 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終了]を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 接続機器の設定

[ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
外部入力	警報器 、 コール機器 、 [なし] ● ドアホン親機の外部入力端子に接続する機器を選ぶ	96 上部
A接点出力	ドアホン1～3、カメラ1～4： [ON]、 OFF ● ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器（光るチャイムなど）をドアホンやカメラの呼び出しに連動させたくないときは、「OFF」を選ぶ	81
拡張機器	インターホン 、 [ドアホンアダプター] ● ドアホン親機の拡張端子に接続する機器を選ぶ	96 上部
電気錠・機器ボタン	電気錠・機器1～2： 電気錠 、 機器 、 [なし] ● 電気錠以外のJEM-A対応機器（エアコンなど）を接続して使うときは「機器」を選ぶ	78

項目名 接続機器の設定

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名		設定内容など	設定方法(ページ)
窓センサー	エリアの名前	エリア番号(1～3) エリア1～3：**[エリア○]**、居間、洋室1、洋室2、洋室3、和室1、和室2、和室3、寝室、キッチン、廊下、階段、1階、2階、倉庫、事務所 ●設置場所に応じて、窓センサーのエリアの名前を選ぶ	96 上部
	エリアの変更	●窓センサーのエリアを変更する	70
AV機器	登録機器一覧	●テレビやレコーダーと連携してご使用のとき、現在登録されているテレビやレコーダーの詳細情報を確認できる	96 上部

項目名 登録/減設

機能名	設定内容など	設定方法(ページ)
登録	●各機器の登録(増設)/減設をする • 子機 • カメラ • 中継アンテナ • ワイヤレスアダプター機能に対応した電話/ファクス • AV機器(テレビやレコーダー) • 窓センサー	(登録/減設) 100/106 51/106 104/106 48/105 64、66/106 69/106
減設		

機能設定一覧（つづき）

設定の変えかた（タッチして操作します）

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **項目名**（「その他の設定」など）

→ **機能名**（「タッチ確認音」など） → 設定内容を選ぶ → 終わったら、[終了]を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 その他の設定

[　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
お知らせランプ点滅	[する]、しない ●新しいお知らせや新しく録画した未確認画像があるときに、お知らせランプを点滅させるかどうかを選ぶ	98上部
タッチ確認音	[ON]（出す）、OFF（出さない） ●タッチしたときに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ	98上部
みえますねっとLite	●「みえますねっとLite」サービスに関する登録や、各種設定を行う（サービスの詳細は☞74ページ）	75～77
ネットワーク情報	●ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を確認できる	98上部

項目名 **その他の設定**　　　のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法（ページ）
設定の初期化	**設定の初期化＋本体メモリー画像消去**、**設定の初期化のみ** ● ドアホン親機をお買い上げ時の状態に戻すとき、どちらかを選ぶ（譲渡・廃棄・返却するときは、「設定の初期化＋本体メモリー画像消去」を選んでください） **下記の項目は初期化されません** • 「SDカード」に関する設定やお知らせ • 「カメラ」に関する設定 • 「みえますねっとLite」に関する設定のうち、「ドアホン親機」の「外部入力・窓センサーの通知」を除いた項目 • ドアホン親機に登録した、子機、カメラ、中継アンテナ、ワイヤレスアダプター機能、窓センサー、AV機器の登録情報	98 上部
ソフトウェアの更新通知	**する**、**しない** ● 本機をインターネットに接続して使う場合、ソフトウェアの更新通知をするか、しないかを選ぶ （機能の詳細は☞ 12ページ）	
PCモード起動（固定IP設定用）	**通常は使わないでください** **（パソコンで本機のIPアドレスを変更するためのモード）** 詳しい内容と設定は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/）を参照してください。	
展示モード（販売店専用）	**通常は使わないでください** **（店頭販売時の展示用などに使うモード）** **ドアホン自動呼出なし**、**ドアホン自動呼出あり**、**商品説明**（専用のSDカードが必要）、**しない**	

必要なとき

子機を増やす 増設

別売の子機(☞ 114ページ)を、付属と合わせて6台まで増やせます。

● ドアホン/電話両用子機(例:VL-WD608)の場合

- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
- 電話機能を使うには電話/ファクス親機に

それぞれ登録が必要です※

※電話/ファクス親機への登録(☞ 46ページ)

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

ドアホン親機の操作

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[登録/減設]をタッチする**

4 **[登録]をタッチする**

5 **[子機]をタッチする**

6 **増設する子機の名前をタッチする**

● 子機の名前は、あとで変更できる
(☞ 95ページ「子機の名前」)

7 **増設する子機番号をタッチする**

続けて、約2分以内に子機を操作する

ドアホン親機に登録する（つづき）

● 子機の操作はVL-WD608の例です。増設する子機の取扱説明書もお読みください。

増設する子機の操作

8

子機の画面に「増設してください」が表示されているとき

F2（増設）を押す

子機増設
ドアホン
電話/ファクス

既に電話/ファクス親機に登録済みのとき

① 決定（メニュー）を押し、◀▶で［設定］メニューを開く

② ▲▼で［子機増設］を選び、決定を押す

9

▲▼で［ドアホン］を選び、決定を押す

10

決定（登録）を押す

登録完了

11

終わったら、

ドアホン親機の 終 了 を押す

子機を増やす（増設）

中継アンテナを使用する 増設

子機や窓センサーがドアホン親機から離れていたり、壁などの障害物(☞ 10、11ページ)があって、下記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ「KX-FKD1」を設置すると改善できることがあります。

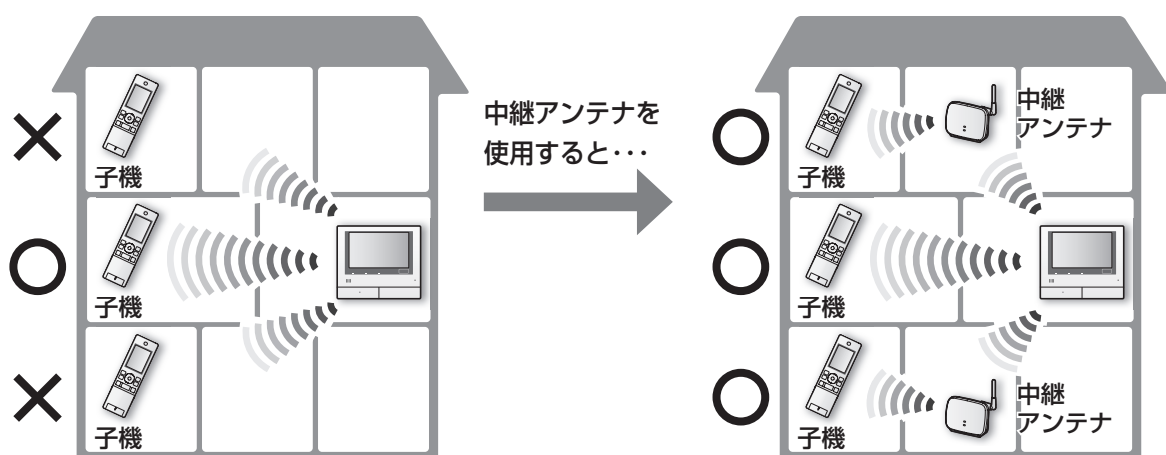
- 子機での通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- 「圏外」で使えないとき

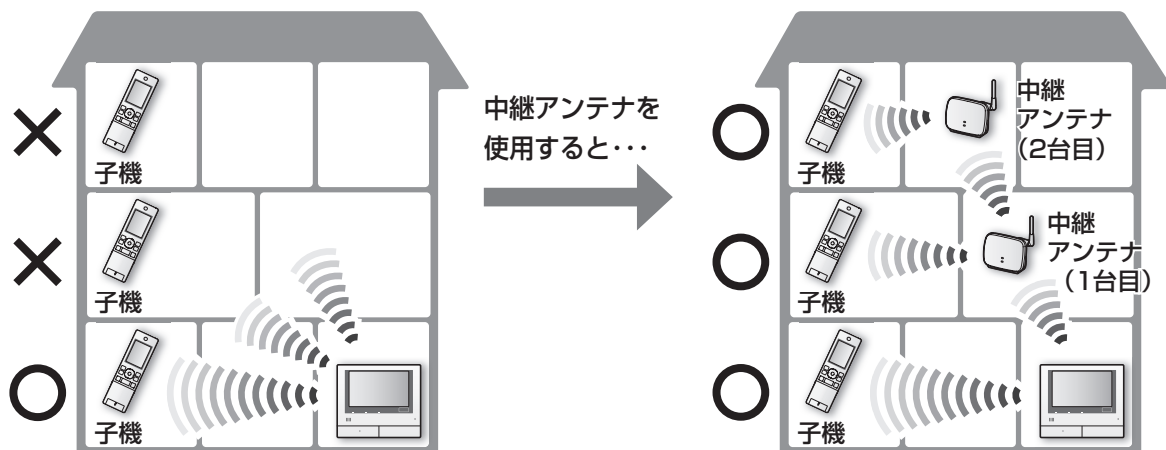
● **設置は2台まで。1台につき、複数の子機や窓センサーへ電波を中継できます。(☞ 下記「設置例」)**

● 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。ドアホン親機に登録(☞ 104ページ)したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

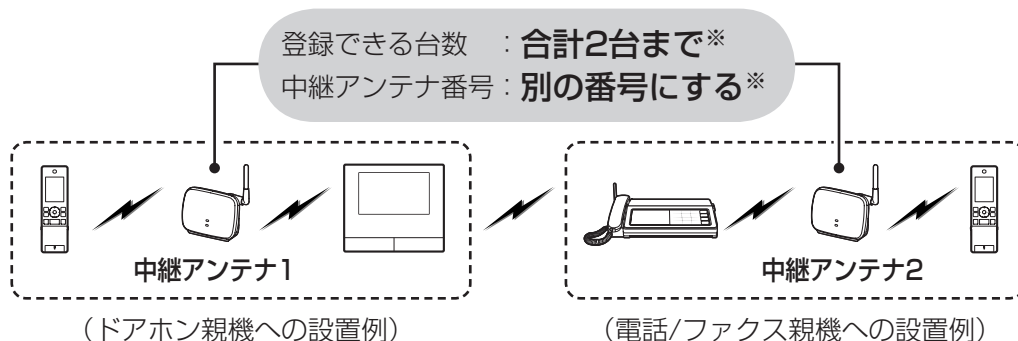
〈電波のイメージと中継アンテナの設置例〉

■ 1台ずつ単独で使う(単独接続)

ドアホン親機の電波を別方向に伸ばします。

■ 2台を連結して使う(連結接続)

2台の中継アンテナを連結接続して、ドアホン親機の電波をより遠くまで伸ばします。

■連携した電話/ファクス側でも、中継アンテナを使うとき

子機(VL-WD608)を電話/ファクス親機に登録したり、ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で接続(☞ 48ページ)すると、親機同士を電波で接続します。この場合、下記の設置例のように中継アンテナの登録が制限されます。

（ドアホン親機への設置例）　（電話/ファクス親機への設置例）

※3台以上登録しているときや、同じ番号になっているときは、ドアホン親機の画面表示でお知らせします。(☞ 133ページ)

- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 1台の子機をドアホン/電話両用で使う場合、両方の親機から電波が届きにくい場所に子機を設置すると、中継アンテナが2台必要です。(ドアホン親機と電話/ファクス親機それぞれに登録が必要なため)
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

中継アンテナを使用する 増 設 (つづき)

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。

ドアホン親機の操作

1 トップメニューで
[設定/情報] をタッチする

2 [設定を変更] をタッチする

3 [登録/減設] をタッチする

4 [登録] をタッチする

5 [中継アンテナ] をタッチする

6 増設する中継アンテナ番号をタッチする

中継アンテナ 1
中継アンテナ 2

7
1台目を増設する場合

手順8へ

2台目を増設する場合

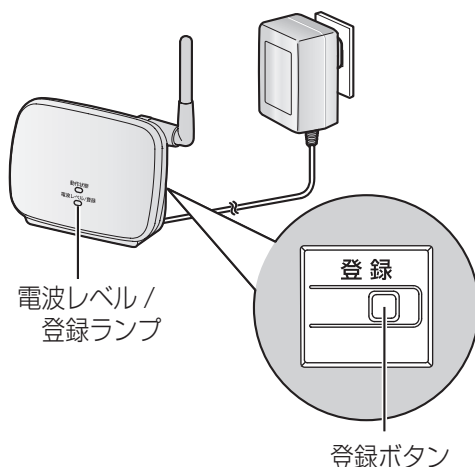
使いかた(☞ 102ページ)に応じた接続方法をタッチする

単独で接続
連結で接続

続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

8 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す

● 電波レベル/登録ランプが緑点滅する

● 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる

(電波状態によっては、緑点灯にならない場合もあります。
(☞ 中継アンテナの取扱説明書))

9 終わったら、
ドアホン親機の 終 了 を押す

お知らせ

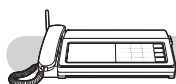
● 設置のしかたなど、詳しくは中継アンテナの取扱説明書をお読みください。
● 離れなど距離が遠い場合には、中継アンテナを使用しても、通話の途切れや映像の乱れを改善できないことがあります。

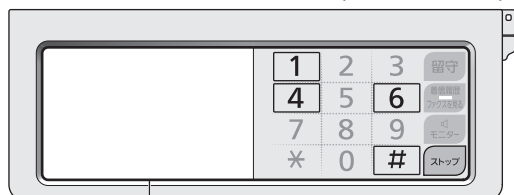
必要なとき

使わなくなった機器を減設する

電話/ファクスの減設（ワイヤレスアダプター機能解除）

電話/ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PD701の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。

電話/ファクス親機の操作

（KX-PD701）

タッチパネル（タッチして操作します）

1 [機能] をタッチしたあと、

[#] [1] [6] [4] をタッチする

2 [減設] をタッチする

3 [はい] をタッチする

4 [ストップ] をタッチする

ドアホン親機の操作

5 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

6 **[設定を変更]をタッチする**

7 **[登録/減設]をタッチする**

8 **[減設]をタッチする**

9 **[ワイヤレスアダプター機能]をタッチする**

10 メッセージを確認して **[はい]をタッチする**

11 終わったら、[終了] **を押す**

使わなくなった機器を減設する（つづき）

● 子機・カメラ・中継アンテナ・窓センサー・テレビ・レコーダーの減設 ●

ドアホン親機で下記の操作をしてください。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 **[設定を変更]をタッチする**

3 **[登録/減設]をタッチする**

4 **[減設]をタッチする**

5 **減設する機器の種類をタッチする**

前/次ページへ

●テレビやレコーダーの場合は、2ページ目の「AV機器」を選ぶ

6 表示された一覧から、
減設する機器をタッチする

（例：子機減設の場合）

●**中継アンテナの減設について**
2台を連結接続していたときは、遠い方からしか減設できません

7 メッセージを確認して **[はい]をタッチする**

8 終わったら、 終　了 **を押す**

ドアホン/電話両用で使っていた子機の減設について

●**電話の子機としての利用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。**
- 減設のしかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

●**ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。**

（例）ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき
➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更（☞「子機編」70ページ）

「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が「圏外」となって使えないことがあります。

お願い ●誤動作防止のため、減設した子機の電池パックは外してください。

必要なとき

SDカードを操作する

フォーマットする

パソコンなどの他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機で使用できない場合があります。必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。

フォーマットすると、SDカードに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なデータは事前にパソコンなどに保存してください。

1 フォーマットしたい
SDカードを入れる（☞ 22ページ）

2 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

3 **[設定を変更]をタッチする**

4 **[SDカード]をタッチする**

5 **[フォーマット]をタッチする**

6

フォーマットすると
データがすべて消去されます。
よろしいですか？
はい　いいえ

[はい]をタッチする

SDカードを取り出さないでください。
カードをフォーマットしています。
時間がかかる場合があります。

- フォーマット中はSDカードランプが点滅
- 完了すると、「フォーマットしました」を表示

7 終わったら、[終 了] **を押す**

お願い

- SDランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ（☞ 17ページ）を押したりしないでください。（データが破壊されることがあります）

SDカードを操作する（つづき）

本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする

ドアホン親機の本体メモリーに記録した録画データ(最大50件)を一度にコピーできます。

- コピーには、2 GB以下のSDカードも使用できます。（16 MB以上の空き容量が必要です）
- コピーしたデータは、SDカードの「PRIVATE」フォルダー下にある「BACKUP」フォルダーに保存されます。（☞ 110ページ）同じSDカードに再度コピーを行う場合、すでに「BACKUP」フォルダーにある録画データはすべて消去されます。（上書きコピー）

1 コピー用の **SDカードを入れる**（☞ 22ページ）

2 トップメニューで **[設定/情報]をタッチする**

3 **[設定を変更]をタッチする**

4 **[SDカード]をタッチする**

5 **[本体からSDカードへのコピー]をタッチする**

6

本体メモリーの画像をSDカードへコピーしますか?

すでにコピー先にあるデータは
すべて消去されます。

はい　いいえ

[はい]をタッチする

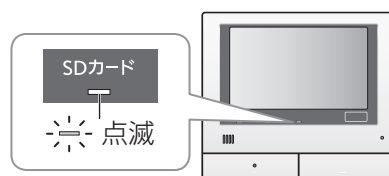
本体メモリーの画像をSDカードへ
コピーしています。

- コピー中はSDカードランプが点滅
- コピーが終わると、「SDカードへのコピーが完了しました」を表示

7 終わったら、[終 了] **を押す**

- SDカードを取り出すときは（☞ 22ページ）

お願い

- SDランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ（☞ 17ページ）を押したりしないでください。（データが破壊されることがあります）

パソコンで再生する

パソコンのSDカードスロットやパソコンに接続されたSDカードリーダーにSDカードを入れて、SDカードに記録されている画像(静止画、動画)をパソコンで再生できます。

- 静止画(JPEG 形式)は、JPEG 形式に対応した画像閲覧ソフトで再生できます。
- 動画(Motion JPEG 形式)は、QuickTime Player で再生できます。(Windows® 7 の場合は、Windows Media® Player でも再生できます)

対応OS※	Windows® XP
	Windows Vista®
	Windows® 7
	Mac OS® X

※再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

再生操作のしかたは、パソコンの説明書をお読みください。

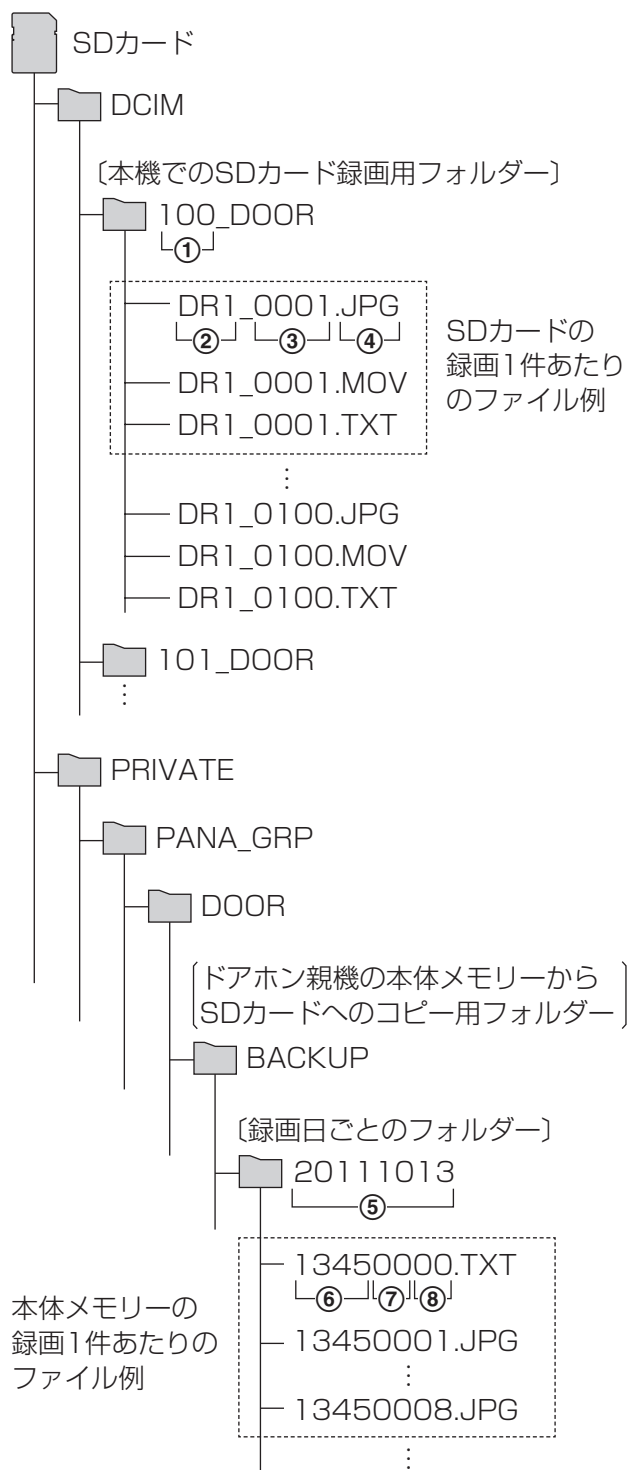
- Microsoft® Windows® XP operating system をWindows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® operating system をWindows Vista と表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 operating system をWindows 7 と表記しています。

SDカードを操作する（つづき）

SDカードのフォルダー構造とファイル形式について

本機にSDカードを入れるとSDカードに以下のフォルダーが作成され、SDカードに直接録画するデータと、本体メモリーからコピーしたデータを、それぞれ別のフォルダーに保存･管理できます。

● **パソコンでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更しないでください。**（本機で再生できなくなります）

```
SDカード
├ DCIM
│ 〔本機でのSDカード録画用フォルダー〕
│ ├ 100_DOOR
│ │  └①┘
│ │ ├ DR1_0001.JPG   ┐
│ │ │ └②┘└③┘└④┘   │ SDカードの
│ │ ├ DR1_0001.MOV   │ 録画1件あたり
│ │ ├ DR1_0001.TXT   ┘ のファイル例
│ │ ⋮
│ │ ├ DR1_0100.JPG
│ │ ├ DR1_0100.MOV
│ │ └ DR1_0100.TXT
│ └ 101_DOOR
│   ⋮
└ PRIVATE
  └ PANA_GRP
    └ DOOR
      〔ドアホン親機の本体メモリーから SDカードへのコピー用フォルダー〕
      └ BACKUP
        〔録画日ごとのフォルダー〕
        └ 20111013
          └──⑤──┘
          ├ 13450000.TXT   ┐ 本体メモリーの
          │ └⑥┘└⑦┘└⑧┘    │ 録画1件あたりの
          ├ 13450001.JPG   │ ファイル例
          │ ⋮              │
          ├ 13450008.JPG   ┘
          ⋮
```

フォルダー
↓
（フォルダーアイコン） ###### ← フォルダー名

① **フォルダー番号**（100～129）
- 他の機器で記録済みのSDカードをご使用の場合、フォルダー番号は100～999まで

② **撮影機器名**
- DR1～DR3 ：ドアホン１～3
- CM1～CM4 ：カメラ１～4

③ **ファイル番号**
- 同一番号で録画１件
- 同一フォルダー内に作成されるファイル番号は0001～0100まで

④ **ファイルの種類**

JPG ：静止画（JPEG 形式）
MOV：動画（Motion JPEG 形式）
TXT ：録画情報（TEXT 形式）

⑤ **録画した日付**
（例：2011年10月13日）

⑥ **録画した時刻**
（例：13時45分）

⑦ **カウンタ番号**（00～49）

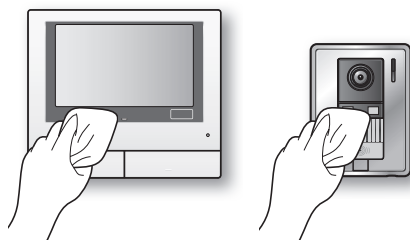
⑧ **録画1件あたりの画像番号**

00　　　：録画情報ファイルを表す
01～08：８枚中の画像番号を表す

必要なとき

お手入れ

お手入れするときは

柔らかい布で、からぶきする

●汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

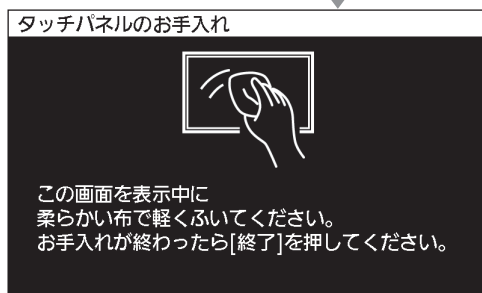
■ **ドアホン親機の電源プラグをふくとき**

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ **ドアホン親機のタッチパネルをふくとき**

●トップメニューの[**お手入れ**]をタッチすると電源プラグをコンセントから抜かずに画面のお手入れができます。

(終わったら、 終 了 を押す)

●タッチパネルの表面の汚れなどをふき取る場合は、乾いた柔らかい布を使い、爪を立てずに指の腹で押さえ軽くふいてください。

上記画面を表示中(約90秒間)、画面のお手入れができます。

お願い

●お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。
(変色、変質の原因になります)

仕　様

ドアホン親機（モニター親機）

項目	仕様
電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.9 W 動作時　　：約10 W
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	約183 ×210 × 29 （突起部除く）
質　量	約865 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	7.0型ワイドIPS-TFT カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け（壁掛け金具付属）
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
A接点出力※1	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
外部入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メイク時　：500 Ω以下 • ブレイク時：15 kΩ以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下

項目		仕様
LANインターフェース		100BASE-TX 対応 （ケーブル：カテゴリー5）
SDカードについて	**対応カードの種類**	SDメモリーカード※2： 2 GB SDHCメモリーカード※3： 4 GB～32 GB SDXCメモリーカード： 48 GB、64 GB
	画像ファイルの記録方式	静止画：JPEG 形式 動画　：QuickTime Motion JPEG 形式
	フォーマット	SDメモリーカード： FAT16 SDHCメモリーカード： FAT32 SDXCメモリーカード： exFAT

● **SDカードの容量と録画件数の目安については**
（☞ 33ページ）

※1 次の場合に出力されます。
- ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき（☞ 26、54ページ）
- 警報器（火災・地震）の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき（☞ 80ページ）
- 窓センサー（報知レベル「高い」）が反応したとき（☞ 72ページ）

※2 miniSDメモリーカード/microSDメモリーカードも使えます。
（専用アダプターの装着が必要）

※3 miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカードも使えます。
（専用アダプターの装着が必要）

ドアホン（カメラ玄関子機）

電　源		ドアホン親機より供給
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）		約131 × 99 × 25 （突起部除く）
質　量		約170 g
使用環境条件		周囲温度：-10 ℃～+50 ℃ 湿度　　：90 % 以下
画　角	ワイド	左右 約170°、上下 約95°
	ズーム	左右 約85°、上下 約45°
	全　体	左右 約170°、上下 約115°
取付方法		露出型： JIS1 個用スイッチボックス （カバー付き）適合
外観材質		難燃樹脂
最低被写体照度		1ルクス （カメラから約50 cm以内）
照明方法		LEDライト（照明用ランプ）
防水性		IPX3※4 （旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」）

※4 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
※5 充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
※6 電話/ファクス親機に増設時のみ
※7 スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使う場合は、連続使用時間が短くなります。
※8 使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC 100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

子　機（ワイヤレスモニター子機）

■本 体

電　源	専用ニッケル水素電池 （品番：KX-FAN55） （DC 2.4 V）（650 mAh）
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	約173 × 52 × 30 （突起部除く）
質　量	約165 g（電池パック含む）
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	2.4型TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式 （ドアホン通話）	音声交互自動切替方式
使用時間※5	連続使用時間： • ドアホン通話 （スピーカーホン）：約2時間 • 外線通話※6 （受話口での通話）：約5時間※7 待ち受け時間：約100時間
充電時間※8	約10時間
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

■充 電 台

電　源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）
消費電力	待ち受け時：約0.25 W （子機を充電台から外しているとき） 充電時　　：約0.65 W
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	約43 × 81 × 76 （突起部除く）
質　量	約166 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下

別売品（価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください）

記載した情報は2012年2月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

■増設用のドアホン（玄関子機）

製品名		品番
カメラ玄関子機	露出型（広角撮影タイプ）	VL-V571L-S※1
	露出型	VL-V521L-S
		VL-V564-K、VL-V565-K
	埋込型	VL-V552-S
音声玄関子機	露出型	VL-V500-K

※1　付属のドアホンと同じ仕様です。
　　その他のドアホンは仕様や機能が異なります。**（ワイド/ズームの切り替えはできません）**

■増設用の子機

製品名		品番
ワイヤレスモニター子機	ドアホン/電話両用	VL-WD608※2
	ドアホン専用	VL-WD609

※2　付属の子機と同じ仕様です。

■その他

製品名	品番
ワイヤレスモニター子機用電池パック	KX-FAN55※3
中継アンテナ	KX-FKD1

※3　お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります。

電話/ファクス、窓センサー、センサーカメラなど、
本機と連携して使える機器の一覧は（**☞ 4ページ****）**

商標・ライセンスについて

商標などについて

- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- 子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

商標・ライセンスについて（つづき）

ライセンスについて

本製品には thttpd-2.25b、NetBSD、OpenSSL Project、Arcfour、MD5 message-digest algorithm で第三者よりライセンスされたソフトウェアが含まれており、下記の条件のもとに使用が許諾されています。

LICENSE ISSUES
This product uses some parts of thttpd-2.25b, NetBSD, OpenSSL Project, Arcfour, MD5 message-digest algorithm.
The use of parts described above are licensed under the conditions below.

<<thttpd-2.25b>>

<<NetBSD>>
This product uses a part of NetBSD kernel.
The use of a part of NetBSD kernel is based on the typical BSD style license below.

ライセンスについて（つづき）

<isys_vsscanf.c> Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
<nce_util_strtol.c> Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Parts of the NetBSD Kernel are provided with the licenses that are slightly different from the above Berkeley-formed license. Please refer the source code of the NetBSD Kernel about the details.
The source code of the NetBSD Kernel is provided by the NetBSD CVS Repositories (http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/), and this product includes parts of the source code in the following directories.
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/

<<OpenSSL Project>>
<md32_common.h>
Copyright (c) 1999-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact licensing@OpenSSL.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.OpenSSL.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

<md5_dgst.c>
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

<md5_local.h>
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

ライセンスについて（つづき）

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

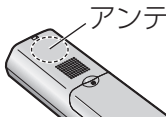
The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

<<Arcfour>>
Copyright (c) April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<<MD5 message-digest algorithm>>
MD5C.C - RSA Data Security, Inc., MD5 message-digest algorithm
Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose.
It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

困ったとき

<table>
<tr><th colspan="2">こんなとき(症状など)</th><th>原 因 と 対 応</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="8">画面表示(ドアホン映像)</td><td>映像がゆがんで見える</td><td>●カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>背景が緑っぽく映る</td><td>●夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがありますが、故障ではありません。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>夜間の映像が暗く
顔が識別できない</td><td>●「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか？
➔ 設定を「する」にしてください。
●ドアホンの照明(LEDライト)点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。
➔ 補助灯などの設置をお勧めします。</td><td>95
－</td></tr>
<tr><td>人の顔が暗く映る</td><td>●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
➔ 映像表示中に、逆光補正をしてください。</td><td>28</td></tr>
<tr><td>映像がはっきりしない
・焦点が合わない</td><td>●ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか？
➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。
●ドアホンのレンズカバーが結露していませんか？
➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。</td><td>111
－</td></tr>
<tr><td>映像全体が白っぽい、
または黒っぽい</td><td>●明るさの設定は適切ですか？
➔ 映像表示中に、明るさを調節してください。</td><td>28</td></tr>
<tr><td>映像が白っぽい、
または
白い線や輪が表示される</td><td>●ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。
(故障ではありません)
➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>画面全体がちらつく</td><td>●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？
➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。
(故障ではありません)</td><td>－</td></tr>
</table>

困ったとき（つづき）

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示（ドアホン映像／その他）	**夜間に録画されたドアホン画像が暗い**	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「ドアホン録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	93
	青画面(画像なし)が録画されている	●音声専用のドアホンを接続していませんか？ ➔ 自動録画機能により、呼び出し時に表示される青画面が録画されます。 「ドアホン着信自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「しない」にすることをお勧めします。	93
ドアホン通話／室内通話	**通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない**	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。 ●子機との通話の場合 • 子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ (アンテナ部) ➔ アンテナ部から手を離してください。 • 子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	27 – 10 11 102
	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
ドアホン通話／室内通話	相手に、こちらの声がまったく聞こえない（こちらには相手の音声が聞こえる）	●プレストーク通話になっていませんか？（ を表示） ➔ プレストーク通話では、[通話]を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	27
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く（約１秒以上）伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	26
カメラモニター	カメラモニターで映像が表示されない	●カメラがかくれンズ設定中または登録モード中になっていませんか？ ➔ カメラの機種によっては、上記の場合に映像が表示されません。（詳細は☞ カメラの説明書） カメラ側でかくれンズ設定を解除、または通常モードに戻ったことを確認してから、モニター操作（☞ 53ページ）をやり直してください。	–
呼出音	ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。 ●くらしモードが「夜間」になっていませんか？ ➔ 夜間モードの詳細設定の「消音」設定を確認してください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。 ●カメラの場合、ドアホン親機の「カメラ呼出一斉消音」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「カメラ呼出一斉消音」設定を確認してください。	88 44 90 92

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
電話／ファクスとの連携	**ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで** **• ドアホンの呼出音が鳴らない** **• ドアホン通話が途切れる**	●ワイヤレスアダプターの設定（増設）は完了していますか？ ➔ 設定を完了してください。 ●ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。 別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。 ●上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ（☞ 17ページ）を先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画した画像、登録した設定内容などは消えません）	48 87
警報器（火災・地震）やコール機器との連携	**警報器の反応やコール機器の呼び出しがドアホン親機や子機に通知されない** **• 通知音が鳴らない** **• 通知画面が出ない**	●ドアホン親機の「外部入力」の設定が「なし」になっていませんか? ➔ ドアホン親機で、「外部入力」の設定を確認してください。 ●配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	96 –
	地震警報器（デジタルなまず）が反応しているのに、ドアホン親機や子機では、通知音や通知画面がすぐに（約5秒間で）終了してしまう	●デジタルなまず（SH200-J）の外部接続端子は2ポートあり、接続するポートによってドアホン親機と子機への通知時間が変わります。 ➔ 詳しくはデジタルなまずの説明書をお読みください。	–

こんなとき(症状など)		原因と対応	ページ
カメラ/テレビ/レコーダーとの接続(通信)について	カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない	●ドアホン親機に、各機器が登録されていますか? ➔ 登録しないと通信できません。各機器を登録してください。	51 64~67
		●ドアホン親機と各機器間のLANケーブルが、正しく接続されていますか? ➔ 各機器の説明書も参照のうえ、正しく接続されているか確認してください。	49
		➔ テレビやレコーダーとの通信ができない場合はテレビやレコーダー側で、ドアホン親機とのネットワーク接続や設定も確認してください。	–
		●ハブをご使用の場合、ハブのLinkランプが消灯していませんか? ➔ 電源や接続を確認してください。	–
		●ルーターをご使用の場合は次のことを確認してください。 • ルーターの電源が入っていますか? ➔ ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、各機器のIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホン親機と通信ができるようになります(IPアドレスの取得には、3分程度かかる場合があります)。 ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。	–
		• ルーターを再起動したり電源を入れ直すと、各機器との通信ができなくなることがあります。 ➔ ルーターの電源が入っていることを確認し、ドアホン親機のリセットスイッチ(☞ 17ページ)を先端の細いもので押して再起動してください。 (ドアホン親機に録画した画像、登録した内容などは消えません) 次に、カメラ、テレビ、レコーダーの電源を入れ直してください。	–
		〈上記の確認後もカメラとの通信ができないとき〉 ●カメラの設定画面やカメラ本体の初期化ボタンで、カメラをお買い上げ時の状態に戻していませんか? ➔ ドアホン親機で、カメラを登録し直してください。	51

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	カメラモニターはできるが、センサー反応時の通知がこない	●カメラ（センサー検知）を「休止」にしていませんか？ ➔ くらしモードで、カメラの状態を確認してください。 ●カメラの「センサー選択」設定が、「OFF」（センサー反応しない）になっていませんか？ ➔「OFF」以外に変えてください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、カメラからの着信を「鳴らない」に設定していませんか？ ➔「鳴り分け」設定を確認してください。 ●カメラをテレビやレコーダーと連携させていて、テレビやレコーダーの操作で、カメラに登録していたドアホン親機を削除していませんか？ ➔ 誤って削除したときは、いったんドアホン親機からカメラを減設し、再度カメラをドアホン親機に登録し直してください。	55 59 90 106 51
	車が通るたびにセンサーが反応する	●撮影範囲に車や車のヘッドライトが映ると、動作を検知して反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても、人感（熱）センサーが温度変化を検知すると反応します。 ➔ できるだけ、カメラを車道に向けないように設置するか、角度を調節してください。 ➔ 動作検知の場合、カメラによってはドアホン親機で「動作検知範囲」設定ができる機種もあります。その場合は、車や車のヘッドライトが映る範囲を検知しないよう設定を変更してください。 ➔ 人感（熱）センサーの場合、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、検知範囲の調整ができます。（詳細は☞ カメラの説明書）	– 60 –
	正面方向から近づいてくる人を検知できない	●カメラのセンサーは、横からの動きは検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなっています。 ➔ できるだけ、カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。 ➔ 正面方向から近づいてくる人を検知して映したいときは市販の外部人感センサーをご使用ください。（詳細は☞ カメラの説明書）	– –
	人が通っていないのに人感（熱）センサーが反応する	●換気扇やエアコンの室外機、給湯器などから吹き出る風や、風で動くような植木や洗濯物などがあると、人が通っていなくても反応することがあります。 ➔ カメラの設置場所を変えるか、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、人感（熱）センサーの検知範囲を調整してください。（詳細は☞ カメラの説明書）	–

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	**センサーが反応しない** • **人感(熱)センサーや動作検知がはたらかない**	● センサー検知後、約60秒間は検知を行いません。(秒数は、カメラの機種や設定によって変わることがあります) ● カメラ(センサー検知)を「休止」にしていませんか? ➔ くらしモードで、カメラの状態を確認してください。 ● カメラの「センサー選択」設定が、「OFF」(センサー反応しない)または「外部センサー」になっていませんか? ➔ 「ダブルセンサー」に変えてください。 ● カメラにかくれンズ機能がある場合、かくれンズ設定中になっていませんか? ➔ かくれンズ設定中はセンサー検知を行いません。カメラ側で設定を解除してください。(詳細は ☞ カメラの説明書)	55 59 –
	人感(熱)センサーが誤動作する	● カメラを下記のような場所に設置すると、誤動作することがあります。 • 直射日光のあたるところ • 冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しいところ • 油汚れがついたり、蒸気がかかるところ • 携帯電話など強い電波を発する製品の近く • 外灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ • 検知範囲に洗濯物、カーテン、植木、車などの動くものがあるところ • 検知範囲内に、交通量の多い道路があるところ ● 犬、猫など、小動物に対しても反応することがあります。 ● 冬場など、気温が低いと検知距離(5 m)が長くなり、検知しすぎることがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「人感(熱)センサー感度」設定を、より低い感度に変更してください。 ● センサー検知範囲に雨や雪が入ると反応することがあります。	– – 59 –
	人感(熱)センサーが反応しない	● 人感(熱)センサーは、暗くなると動作するようになっていますので、明るい環境では反応しません。 ● 下記の場合は、反応しないことがあります。 • 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき • 人感(熱)センサーに雪が付いたとき • 正面方向から人が近づいてきたとき(☞ 124ページ「正面方向から近づいてくる人を検知できない」) ● 夏場など、気温が高いときは検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「人感(熱)センサー感度」設定を、より高い感度に変更してください。	– – 59

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	**人感（熱）センサーが反応しにくくなった**	●人感（熱）センサーの表面が汚れていませんか？ ➔ 表面を柔らかい乾いた布でふいてください。	–
	動作検知が反応しない	●被写体の動きが小さい場合には、検知しないことがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を、より高い感度に変更してください。	59
		〈ライト付きのカメラの場合〉 ●カメラのLEDライトが点灯したときは、誤検知防止のため、最大2秒間は動作検知しません。	–
	動作検知が誤動作する	●動作検知範囲に洗濯物、カーテン、植木など、風で動くものや、車などの交通量の多い道路があると、誤動作することがあります。また、犬や猫などの小動物にも反応することがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を変更してください。カメラによっては「動作検知範囲」設定で検知範囲を調整できる機種もあります。その場合は設定を変更してください。	59 60
		●雪や雨が降っていると、反応することがあります。	–
カメラの映像表示について／録画について	**映像が適切な明るさにならない**	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 ➔ 約１秒ほどお待ちください。自動で補正されます。	–
	被写体がぶれる	●動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（故障ではありません）	–
		●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、シャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません）	–
	映像に白点または色のついた光の点が表示される	●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が表示されることがあります。（故障ではありません） ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません）	–
	映像表示や録画が中断された	●カメラの機種によっては、撮影中に登録モードやかくれンズ設定になると、画像送信を終了します。 このため、映像表示や録画が中断することがあります。 （詳細は☞ カメラの説明書）	–

こんなとき(症状など)		原因と対応	ページ
その他	・画面に「展示モード」と表示されている ・呼出音が定期的に鳴る ・通話ができない	● ドアホン親機の機能設定で「展示モード(販売店専用)」が設定されています。 ➔ 機能設定の「その他の設定」の中にある「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」にしてください。	99
	停電のとき使えますか?	●使えません。ドアホン親機は、日時が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、日時を設定し直してください。	23
	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ(☞ 17ページ)を先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)	−
	ドアホン親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか? ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	−
		●電源直結工事をして、ご使用のとき ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	−

困ったとき（つづき）

<table>
<tr><th colspan="2">こんなとき(症状など)</th><th>原 因 と 対 応</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>その他</td><td>ドアホン親機で
タッチパネル上の
ボタンにタッチしても
• 反応しない
• 別のボタンが反応する</td><td>●反応しない場合
• タッチパネルが汚れていませんか?
➔タッチパネルのお手入れを行ってください。
• お手入れをしても改善しない場合は、タッチパネルの調整が必要です。（調整のしかた☞ 下記）
●別のボタンが反応する場合
• タッチパネルの調整が必要です。
（調整のしかた☞ 下記）

〈タッチパネルの調整のしかた〉
➔ ① ドアホン親機の [終 了] を押しながら
[通 話] を3回押す
（画面表示：タッチパネル調整／左上の「+」をタッチしてください）
② 画面の指示に従って+マークを指でタッチする（5か所）
③ [決定]をタッチする
（画面表示：調整結果を保存しますか？ ／ 決定 ／ 中止）</td><td>111
–

–</td></tr>
</table>

こんな表示が出たら

	表示	原因と対応	ページ
使い始めや機器登録のとき	時計を設定してください 日時を設定する	●日時が設定されていません。 または、停電などにより、設定した日時が消えています。 ➔ 設定してください。	23
	登録できません	●ワイヤレスアダプター機能で電話/ファクスを登録時、またはカメラ/窓センサー/子機/中継アンテナを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。 ➔ カメラ登録の場合、ドアホン親機の操作途中でカメラを登録モードにします。 登録モード(カメラの機器インジケーターなどがオレンジ点滅)になったことを確認してから、約5分以内にドアホン親機の残りの操作をしてください。	48 51 69 100 104
	登録できるAV機器が見つかりませんでした	●テレビやレコーダーを登録時、指定時間内に登録操作が完了していません。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。	64 66
SDカード関連	■SDカード挿入時 SDカードを取り出さないでください。 録画情報を確認しています。 時間がかかる場合があります。 50%	●SDカード内の情報を確認中です。 パソコンなどでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更したときは、不要になったデータの消去と管理情報の更新を行うため、確認に時間がかかることがあります。 ➔ パソコンなどで、SDカードのフォルダーやファイルの消去、名前の変更はしないでください。	–
	■SDカード挿入時 このSDカードは 本機で使用できないフォーマットです。 お知らせを確認して、フォーマットしてください。 了解 ■お知らせ画面 このSDカードは 本機で使用できないフォーマットです。 本体メモリーにドアホン録画します。 SDカードのフォーマット	●フォーマットされていないSDカード、またはパソコンなどの他の機器でフォーマットされたSDカードのため、本機でフォーマットしないと使えません。 ➔ 本機で使用できるフォーマットのSDカードを入れてください。 ➔ このSDカードを使用するには、本機でのフォーマットが必要です。 左のお知らせ画面からフォーマットするか、機能設定の「フォーマット」でフォーマットしてください。	– 107

こんな表示が出たら（つづき）

	表　示	原因と対応	ページ
SDカード関連	■SDカード挿入時 このカードには録画できません。 容量２GB以上のSDカードを挿入してください。 「本体からSDカードへのコピー」はできます。 了解 ■お知らせ画面 このSDカードは2GB未満です。 動画録画には使用できません。 本体メモリーにドアホン録画します。	●2 GB未満のSDカードのため、録画用には使用できません。 ➔ 録画する場合は、本機で使用可能な2 GB以上のSDカードを入れ直してください。 ●本体メモリーの録画データをコピーする場合はこのSDカードが使用できます。	20 108
	■SDカード挿入時 このSDカードは空き容量が不足しています。 「本体からSDカードへのコピー」はできます。 不要なデータを削除してから再度挿入するか 本機でフォーマットしてください。 了解 空き容量によって、出ない場合もあります。 ■お知らせ画面 SDカードの空き容量が不足しています。 本体メモリーにドアホン録画します。	●挿入されたSDカードは、パソコンなど、本機以外で保存されたデータがいっぱいのため、本機で使用するための容量が不足しています。 ➔ パソコンなど、データを保存した機器で不要なデータを削除してから再度入れ直してください。 ➔ または、本機でフォーマットしてください。	– 107
カメラ関連	■センサー休止/解除の設定時 設定できないカメラがありました。 カメラ情報画面で確認してください。 了解 ■お知らせ画面 カメラのセンサー検知を休止できない カメラがありました。 カメラ情報画面を確認してください。 カメラ情報 「開始できない」と表示される場合もあります。	●LANケーブルが接続されていない、または接続したカメラの電源が入っていないため、センサーの休止または休止解除の設定ができていないカメラがあります。 ➔ 画面表示に従って操作し、[カメラ情報]画面を表示すると、詳細を確認できます。 ●カメラにかくれンズ機能があり、かくれンズ設定中になっています。 ➔ カメラ側で設定を解除してください。 （詳細は☞ カメラの説明書）	55 –

	表示	原因と対応	ページ
カメラ関連	カメラ番号（1～4） カメラ①に接続できません	●ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 ➔ 123ページの「カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください。	―
	通信できません	●カメラとの通信で、次のことが考えられます。カメラ側の状態を確認してください。 • カメラの電源が切れている ➔ カメラの電源を入れてください。 • カメラ側にない機能を設定しようとした（☞ 59～62ページ） • カメラにかくれンズ機能があり、かくれンズ設定中になっている ➔ カメラ側で設定を解除してください。（詳細は☞ カメラの説明書） • テレビでカメラ映像を動画表示中に、ドアホン親機でカメラの機能設定をしようとした ➔ テレビ側で動画表示中は、機能設定ができません。	―
ネットワーク接続	■ ネットワーク接続時 IPアドレスが重複しています。 IPアドレス設定を変更してください。 了解 ■ お知らせ画面 IP重複 ドアホン親機のIPアドレスを確認し ほかのネットワーク機器と重複しないように 再設定してください。 ネットワーク情報	●ドアホン親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 ➔ 98ページの「ネットワーク情報」でドアホン親機のIPアドレスを確認し、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。 ➔ 左のお知らせ画面の場合は、画面に表示された**[ネットワーク情報]**をタッチしてドアホン親機のIPアドレスを確認し、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。	― ―

こんな表示が出たら（つづき）

	表示	原因と対応	ページ
窓センサー関連	■くらしモード切り替え時 閉じていないセンサーがありました。 センサー情報画面で確認してください。 了解 ■お知らせ画面 報知レベル「高い」または「低い」に設定時 閉じていないセンサーがありました。 センサー情報画面を確認してください。	●くらしモードの切り替え（☞ 42ページ）で窓センサーの報知レベルが「OFF」以外になったとき、 • 開いている窓がある • 電池切れ • 圏外 のいずれかの理由で報知できない窓センサーがあると、表示されます。 ➔ 画面表示に従って[センサー情報]画面を表示し、詳細を確認してください。	71
その他	■お知らせ画面 警報器の反応が継続しています。 確認してください。 コール機器の入力が継続しています。 確認してください。	●接続した警報器（火災・地震）やコール機器側で反応や呼び出しが続いていませんか？ ➔ 警報器やコール機器を確認してください。 ●警報器（火災・地震）やコール機器側で反応や呼び出しが続いていない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	– –
	鳴らない　鳴らない 着信中の機器があります。 親機では「鳴らない」設定です。 他の子機あてにお客様です。 親機では「鳴らない」設定です。 カメラセンサーが反応しました。 親機では「鳴らない」設定です。	●「鳴り分け」の設定（☞ 90ページ）で、ドアホン親機では「鳴らない」ように設定したドアホンやカメラから着信中です。 ➔ ドアホン親機で、この着信に応答することはできません。	–

その他

表　示	原因と対応	ページ
番号は、「1」「2」「1, 2」のいずれかを表示 中継アンテナ1の登録が 電話とドアホンで重複しています。 中継アンテナを減設する	●中継アンテナの登録で次のことが考えられます。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機に別々に登録している2台の中継アンテナが、同じ番号になっている ➔ 同じ番号では使えません。ドアホン親機からいったん中継アンテナを減設し(☞ 下記)、別の番号で登録し直してください。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機に、合計3台以上の中継アンテナが登録されている ➔ 合計で2台までしか使えません。2台以下になるよう、ドアホン親機または電話/ファクス親機から減設してください。 (ドアホン親機からの減設は☞ 下記) **〈ドアホン親機からの減設のしかた〉** ①左の画面で[**中継アンテナを減設する**]をタッチする ②106ページの手順6～8の操作で減設する	— —
■ **お知らせ画面** ワイヤレスアダプターが圏外です。 電話／ファクスの電源を確認して 【電話／ファクスを探す】ボタンを 押してください。 電話／ファクスを探す ■ **接続状態画面** ワイヤレスアダプター 圏外 電話／ファクスを探す	●電話/ファクス親機から電波が届いていないため、電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。 ➔ 電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、左の画面で[**電話/ファクスを探す**]をタッチしてください。 (電話/ファクス親機の電波を探します) ➔ 上記の操作を行っても「圏外」になるときは、電話/ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。 47ページを参照のうえ、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。	— —

保証とアフターサービス （よくお読みください）

ご相談の前に

① 119～133ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
http://panasonic.jp/com/support/tvdfon

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　　－

お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン
品　番	VL-SWD700KL
故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、付属の電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は、次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、このワイヤレスモニター付テレビドアホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**（パナは 365日）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は…………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お願い

● 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

● 修理を依頼する前に、12 ページの「個人情報について」を必ずお読みください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

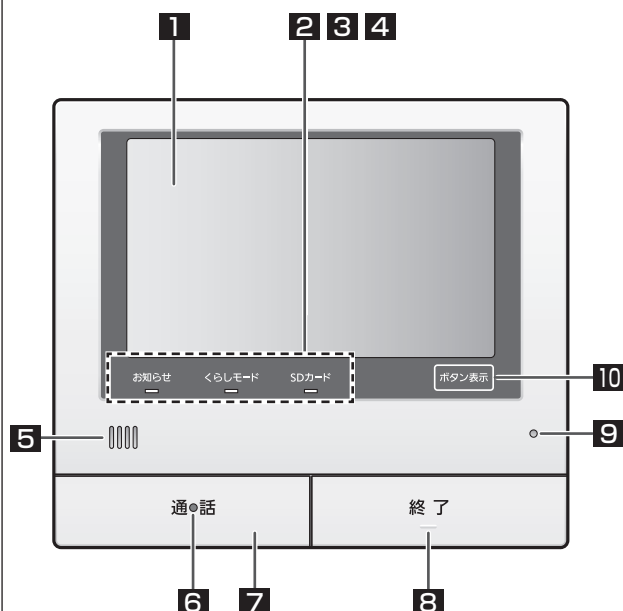
地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青　森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山　梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

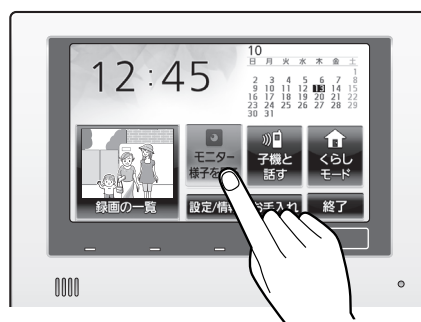
Quick Reference Guide

Parts Descriptions

Main Monitor Station

1 Display (Touch Screen)

To use the touch screen

Touch the desired item as shown below.

- A confirmation tone is heard and the touched item is highlighted.

2 お知らせ Notification indicator
- Flashes when there are unviewed images.

3 くらしモード Living mode (Home, Night, Out) indicator

4 SDカード SD card indicator

5 Speaker

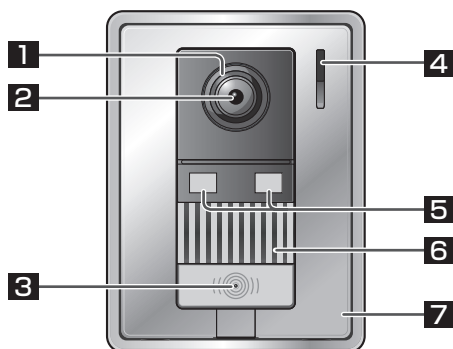
6 Talk indicator

7 Talk button

8 OFF button

9 Microphone

10 Guidance off button
- Hides the button guidance that overlaps the image.

Door Station

1 Lens cover

2 Camera lens

3 Call button & indicator

4 Microphone

5 LED lights

6 Speaker

7 Panel

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns on, press 通 話 (7).

To monitor outside images

Touch the display (touch screen) (1). ➔ Touch［モニター 様子を見る］.

(To talk to the visitor, press 通 話.)

● When an optional camera or more than one optional doorphone is connected

After touching［モニター 様子を見る］, touch the desired doorphone (［ドアホン1］, ［ドアホン2］ or［ドアホン3］), then touch the doorphone image.

To monitor camera images

Touch the display (touch screen). ➔ Touch［モニター 様子を見る］.

➔ Touch the desired camera image.

To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns on, touch［モニター］.

To record a displayed image manually

Touch［録画］while monitoring an outside image.

To play back recorded images when the notification indicator flashes and 新着の未確認あり is displayed

Touch the display (touch screen). ➔ Touch［録画の一覧］. ➔ Touch［再生］.

➔ The recorded images are automatically played back.

To call the sub monitor station

Touch the display (touch screen). ➔ Touch［子機と話す］, and speak to the other party.

➔ After the other party answers, start talking.

● When more than one optional sub monitor station is registered

After touching［子機と話す］, touch the image of where the desired sub monitor station is located, and speak to the other party.

さくいん

数字・アルファベット

あ　行

か　行

さ　行

た　行

機能設定の機能名から探す

機能設定の機能名をまとめて記載しています。

ドアホン親機の機能設定

カメラの機能設定

別売品については
114ページをご覧ください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

■ 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

■ This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

本機(VL-V571L 除く)は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。本機(VL-V571L 除く)を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-365 (パナは 365日)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554 (パナは イイヨ)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用の ワイヤレスモニター付テレビドアホン の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源を入れても動かないことがある。 ●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ●電源プラグやコードが熱を持っている。 ●日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。 ●その他の異常や故障がある。	事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号

Printed in Vietnam

PNQX3631WA SS0611MT3024